

教 育 要 覧

平 成 2 6 年 度



山岳博物館2階展示室

大 町 市 教 育 委 員 会



市 章

制定：昭和29年12月21日

「大町市」の頭文字「大」の字を図案化したもの。中央の山型は当市が北アルプスの玄関口であり、山岳観光都市であることを披歴し、さらに将来の発展と繁栄を燕が上昇する姿に託しています。

大町市民憲章

- 1 厳しい風雪に耐えてたくましく
心優しく生きる市民です
- 2 麗しい風土と歴史をもち
土の香り高い文化を築く市民です
- 3 豊かな自然と環境を守り育て
教養と創造を重んじる市民です
- 4 つねに自治に励み
役割と責任を持ち合う市民です
- 5 郷土を愛し自己をみがき
未来をつくる幸せを喜び合う市民です

昭和52年7月2日



目 次

I	概 要	1
1	大町市の沿革.....	2
2	位置と地勢.....	3
3	人口と世帯数.....	4
4	教育委員、理事者及び関係市議会議員.....	6
5	関係委員会等.....	7
6	教育委員会の組織.....	8
7	教育委員の事務分掌.....	9
8	教育予算.....	12
	（1） 一般会計当初予算.....	12
	（2） 教育費当初予算.....	13
9	教育行政のあゆみ.....	14
II	学 校 教 育	27
1	市内小中学校.....	29
	（1） 小学校.....	29
	（2） 中学校.....	29
	（3） 中間教室.....	29
	【学校概要】	
	大町東小学校.....	30
	大町西小学校.....	34
	大町南小学校.....	38
	大町北小学校.....	42
	八坂小学校.....	48
	美麻小中学校.....	52
	第一中学校.....	58
	仁科台中学校.....	62
	八坂中学校.....	66
2	学校施設.....	70
3	学校別児童生徒及び学級数.....	71
4	小中学校教職員数.....	73
5	外国人英語指導助手.....	74
6	通学区.....	74

	(1) 小学校	74
	(2) 中学校	74
7	就学指導委員会取扱件数	75
8	就学援助	76
	(1) 要保護及び準要保護児童生徒援助費	76
	(2) 特別支援教育就学奨励費	76
	(3) 遠距離通学費補助	77
9	中学校卒業後の状況	78
	(1) 年度別状況	78
	(2) 学校別状況	78
	(3) 進学状況	79
	(4) 就職状況	79
10	奨学金	80
	(1) 奨学金の貸し付け	80
	(2) 貸付数	80
11	私学振興	81
	(1) 私立幼稚園就園奨励費補助	81
	(2) 私立幼稚園運営費補助	81
	(3) 私学に対する父母負担の軽減	81
12	教員住宅	82
Ⅲ	生涯学習推進と社会教育	83
1	生涯学習・社会教育	86
	(1) 重点施策	86
	(2) 主な事業	86
2	青少年	88
	(1) 重点施策	88
	(2) 主な事業	88
3	文化財	95
	(1) 平成26年度事業計画	95
	(2) 指定文化財	96
4	人権教育	107
	(1) 重点課題	107
	(2) 平成26年度人権教育推進事項	107
	(3) 平成26年度人権教育推進計画	111
	(4) 人権教育・啓発推進体制	112
5	公民館	113
	(1) 施設と機構	113

	(2) 平成26年度事業計画	114
	(3) 講座・学級の開設状況	114
	(4) 利用状況	116
6	図書館	117
	(1) 基本方針	117
	(2) 重点目標	117
	(3) 施設	117
	(4) 平成26年度事業計画	118
	(5) 平成26年度子どもの読書活動推進計画	119
	(6) 蔵書構成	120
	(7) 利用状況	121
7	山岳博物館	122
	(1) 施設	122
	(2) 資料	122
	(3) 平成26年度事業計画	122
	(4) 平成25年度実施事業	123
	(5) 利用状況	125
8	民族資料館	127
	(1) 施設	127
	(2) 展示室	127
	(3) 利用状況	128
9	文化会館	129
	(1) 施設	129
	(2) 平成26年度事業計画	130
	(3) 平成25年度実施事業	130
	(4) エコーホール利用状況	130
	(5) サン・アルプス大町利用状況	131
10	女性未来館ピュア	132
	(1) 施設	132
	(2) 平成25年度実施事業	132
	(3) 施設利用状況	133
11	大町市文化財センター	134
12	国重要文化財旧中村家住宅	134
13	社会教育施設一覧表	135
IV	社会体育	136
1	社会体育	137
	(1) 平成26年度重点目標	137

(2) 事業計画	138
(3) 体育施設	140
(4) 体育施設の利用状況	141
(5) スポーツ大会等開催状況	143
(6) スポーツ教室の開催状況	144
2 勤労青少年ホーム	145
(1) 施設	145
(2) 平成25年度利用状況	145

V 関係委員名簿 147

1 社会教育委員	
2 大町公民館運営審議会委員	
3 平公民館運営審議会委員	
4 常盤公民館運営審議会委員	
5 社公民館運営審議会委員	
6 美麻公民館運営審議会委員	
7 八坂公民館運営審議会委員	
8 図書館協議会委員	
9 山岳博物館協議会委員	
10 文化会館運営委員会委員	
11 女性未来館ピュア運営委員会委員	
12 文化財審保護議委員会委員	
13 青少年問題協議会委員	
14 就学相談委員会委員	
15 スポーツ推進審議会委員	
16 スポーツ推進委員	
17 解放子ども会運営委員会委員	
18 同和教育集会所運営委員会委員	
19 人権教育推進協議会委員	
20 学校人権教育研究委員会委員	
21 企業人権教育推進協議会役員	
22 生涯学習のまちづくり推進本部委員	
23 美術振興専門委員	
24 八坂・美麻山村留学推進協議会役員	

I 概 要



1 大町市の沿革

今から約900年前、伊勢の内宮御陵として仁科御厨（みくりや）が設定されたとき、この地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしつつ勢力を得、周辺地域の開発にも力を入れて領地を拡大し、皇室御陵仁科庄として支配するようになった。

仁科氏は社の館之内に居を構えていたが、鎌倉時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るに至った。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化を取り入れて、この地方の開発に力を注ぎ、仁科神明宮本殿および中門（国宝）に代表される優れた文化財を残している。

しかし今から400年前、戦国時代の終わり近くに至って、武田信玄のためその家系を絶たれた。信玄はその子盛信を遣わして仁科の名跡を継がせたが、天正10年高遠城で敗死してからまもなく松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすこととなった。江戸時代、松本藩では北安曇地域に大町・池田・松川の3組を置いて治めており、大町平（大町村・高根新田村および平地区9か村）と八郷（社地区8か村）とが大町組に、常盤地区5か村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。

仁科氏が領有していた時代から、この地域には、日本海と松本方面を結ぶ糸魚川街道が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていた。それらの物資の集散地であつた大町は、宿駅的性格を基に商業都市として栄えた。

明治維新後、大町市域は一時松本県に属したが、明治4年筑摩県が成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることになった。同8年、村々の合併の議が進み、大町村と高根新田町が合併して大町村、社地区の9か村が社村、平地区の9か村が平村、常盤地区5か村が常盤村となった。同22年には町村制が実施され、昭和29年7月1日、町村合併促進法により、1町3か村の合併が成立し大町市が誕生した。

平成に入り旧合併特例法の期限が平成17年3月31日と定められたのに伴い、平成18年1月1日、大町市、八坂村、美麻村の1市2村が合併し、新「大町市」が誕生した。

2 位置と地勢

位置	東経 137° 51' 3"	北緯 36° 30' 10"
面積	565.15 k m ²	
海拔	726 m	

(測点 大町市役所)

大町市は長野県の西北部、松本平の北側に位置している。

当市一帯の地形は、東西両山地とその間に挟まれた帯状の中央低地(安曇平)で構成され、糸魚川静岡地質構造線に沿って何回か繰り返された垂直的断層によって形成された。現在の地形の原型は洪積世(約 100 万年前)に起こった陥没によって形成され、このとき木崎湖・中綱湖・青木湖のいわゆる仁科三湖も形成されたものと考えられている。

通称中山山地と呼ばれる東部山地は、第三期の水成岩(約 3,000 万年前)を基盤として、造られ、鷹狩山・霊松寺山のようになだらかな起伏を持っている。

西部山地(北アルプス一帯)は、古生代の水成岩(約 3 億年前)を基盤とした険しい地形で、槍ヶ岳をはじめとして、鹿島槍ヶ岳・針の木岳など 2,800m 以上の高峰が連なっている。日本には断層地形が非常に多いといわれているが、北アルプスはその中でも最高最大の断層地形が展開しており、市街地からこれらの雄大な地形を望むことができる。

中央低地はおう盛な堆積作用を持った高瀬川の沖積地を主体として、鹿島川・籠川・乳川などによって形成された扇状地と結合して形成された複合扇状地で、古くから活発な土地利用が行われ、市街地を含めた宅地・農地などはこの中央低地に集中している。

中央低地を流れる高瀬川の左岸には段丘や中山山地の崩土崖錐層(社方面)が発達し、これらの台地は西部山地と平野部の接点で起こった活発な堆積作用により東偏して流れる高瀬川によって区画されている。

右岸は、自然堤防となった河岸で保護され、安定した砂れきの沖積地(常盤方面)は農地・宅地などに利用されている。

これらの中央低地に挟んだ東西両山地は地形・地質のうえで対照的であり、地質時代のごく最近までは相当の地質変動があったと考えられ、現在も緩慢な地殻運動が続けられている。

3 人口と世帯数

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
昭和5年	3,884	19,073	9,302	9,771
10	4,163	21,457	11,133	10,324
15	4,567	23,711	11,669	12,042
20	5,492	28,827	13,253	15,574
25	5,749	30,508	14,118	16,390
30	6,229	30,722	14,715	16,007
35	7,508	35,151	17,745	17,406
40	7,700	32,085	15,143	16,942
45	8,122	31,899	15,181	16,718
50	8,983	33,844	16,518	17,326
55	9,605	32,966	15,981	16,985
60	9,565	32,451	15,647	16,804
平成2年	9,710	31,597	15,223	16,374
7	9,941	31,020	15,068	15,952
8	10,014	30,903	15,038	15,865
9	10,177	30,888	15,027	15,861
10	10,324	30,950	15,067	15,883
11	10,460	30,994	15,048	15,946
12	10,403	31,016	15,068	15,948
13	10,452	30,949	14,993	15,956
14	10,422	30,661	14,860	15,801
15	10,425	30,439	14,720	15,719
16	10,596	30,198	14,678	15,520
17	10,970	30,324	14,668	15,656
18	11,812	32,227	15,574	16,653
19	11,871	31,860	15,409	16,451
20	11,909	31,488	15,225	16,263
21	11,927	31,148	15,049	16,099
22	11,966	30,737	14,870	15,867
23	12,007	30,456	14,737	15,719
24	11,820	30,021	14,535	15,486

年次	世帯数	人口	男	女
25	11,790	29,606	14,347	15,259
26	11,825	29,328	14,204	15,124

4 教育委員、理事者および関係市議会議員

(1) 教育委員

役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
委員長	藤井 一男	平22.2.6 再任 平26.2.6	大町市大町6912-1	委員長就任 平23.8.25
同職務代理者	川上 茂代	平21.5.17 再任 平25.5.17	大町市常盤7701-9	同職務代理者就任 平23.8.25
委員	黒田 幸雄	平23.8.13	大町市社5628-9	
委員	仲原 直美	平26.9.26	大町市美麻3388-5	
教育長	荒井 今朝一	平21.4.1 再任 平25.4.1	大町市平3745	教育長就任 平21.4.1

(2) 理事者

役職名	氏名	就任年月日	住所
市長	牛越 徹	平18.7.14	大町市常盤5740-2
副市長	吉澤 義雄	平26.8.12	大町市大町5445-7

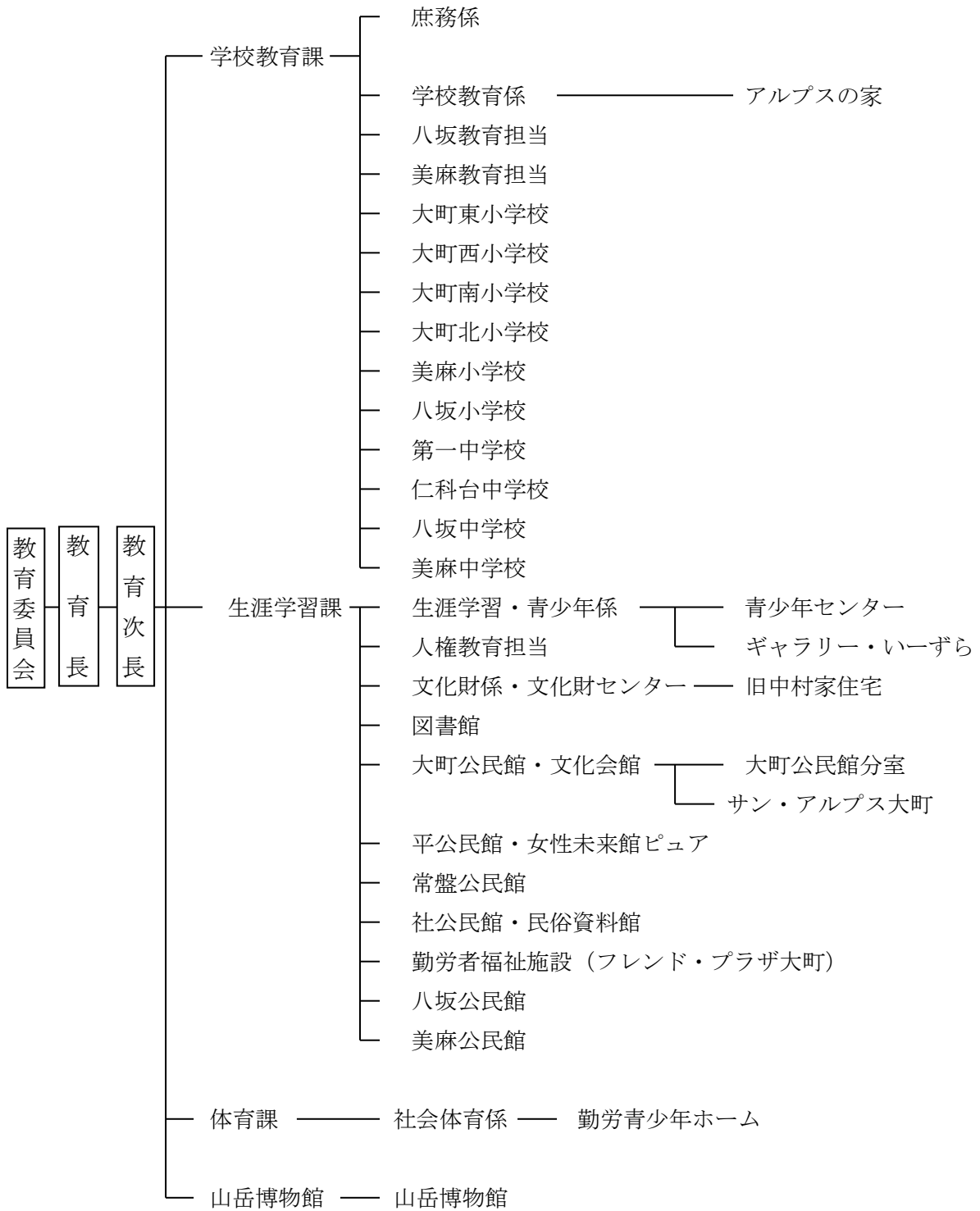
(3) 教育委員会関係市議会議員

役職名	氏名	住所
議長	小林 治男	大町市大町4387-1
総務文教委員長	堀 堅一	大町市大町5039-2
〃 副委員長	神社 正幸	大町市大町3246-2
委員	岡 秀子	大町市大町2652-1
委員	八木 聡	大町市大町2062
委員	小林 治男	大町市大町4387-1
委員	荒澤 靖	大町市平5510

5 関係委員会等

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
社 会 教 育 委 員 会	大町市社会教育委員設置条例	10 以内	2
大町公民館運営審議会	大町市公民館条例	10 "	2
平 常 盤	"	7 "	2
社 会 教 育 委 員 会	"	7 "	2
八 坂	"	7 "	2
美 麻	"	7 "	2
図 書 館 協 議 会	市立大町図書館設置および管理に関する条例	7 "	2
山 岳 博 物 館 協 議 会	市立大町山岳博物館条例	15 "	2
文 化 会 館 運 営 委 員 会	大町市文化会館条例	10 "	2
女性未来館ピュア運営委員会	大町市女性未来館ピュア設置および管理に関する条例	8 "	2
文 化 財 保 護 審 議 会	大町市文化財保護条例	7	2
青 少 年 問 題 協 議 会	大町市青少年問題協議会条例	若干名	2
就 学 相 談 委 員 会	大町市就学相談委員会設置条例	22 以内	2
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会	大町市スポーツ推進審議会条例	10 "	2
ス ポ ー ツ 推 進 委 員 会	大町市スポーツ推進委員に関する規則	20	2
学校施設開放運営協議会	大町市立小・中学校の施設の開放に関する規則	15 以内	
解放子ども会運営委員会	大町市解放子ども会運営委員会規程		1
人 権 教 育 推 進 協 議 会	大町市人権教育推進協議会規約		2
学校人権教育研究委員会	大町市学校人権教育研究委員会設置要綱		1
企業人権教育推進協議会	大町市企業人権教育推進協議会会則		2
同和教育集会所運営委員会	大町市同和教育集会所設置および管理に関する条例	10 以内	2
生涯学習のまちづくり推進本部	大町市生涯学習推進のまちづくり推進本部設置要綱		2
八坂、美麻山村留学推進協議会	大町市八坂・美麻山村留学推進協議会規約		2

6 教育委員会の組織



7 教育委員会の事務分掌

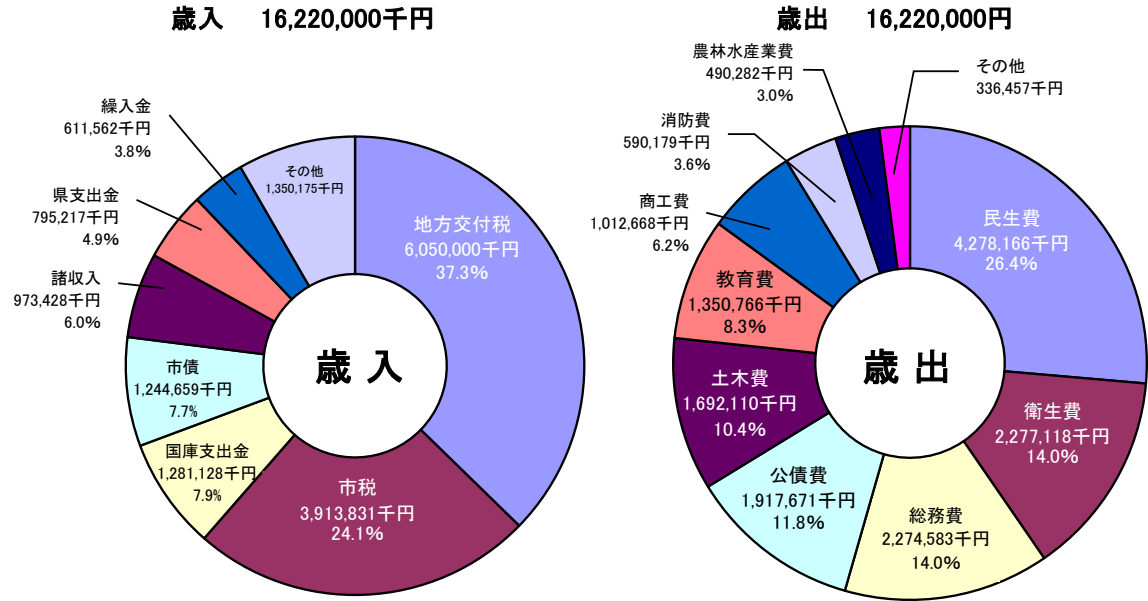
		事 務 分 掌
学校教育課	庶務係	1. 公印の管守 2. 教育委員会の会議 3. 教育委員会規則等 4. 公告式 5. 請願および陳情 6. 寄付採納 7. 栄典 8. 教育財産（整理簿） 9. 教育委員会職員の人事等 10. 公務災害 11. 県費負担教職員の人事内申等 12. 学校医等 13. 児童生徒の就学援助 14. 就学資金 15. 文書の受付及び発送 16. 公文書の公開 17. 個人情報の保護 18. 私学助成 19. 教育行政に関する相談 20. 教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価
	学校教育係	1. 学校の組織編制 2. 児童生徒の就学 3. 通学区域 4. 学校施設の整備及び維持管理 5. 教育支援委員会 6. 教育課程等 7. 教科書及び教材備品 8. 学校災害共済 9. 学校事故報告 10. 学校給食 11. 教員住宅 12. 中間教室
	八坂教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理 7. 学校給食共同調理場の運営
	美麻教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理

		事 務 分 掌
生涯学習課	生涯学習 ・青少年係	1. 生涯学習推進（推進プラン） 2. 生涯学習のまちづくり推進本部 3. 社会教育計画（事業） 4. 社会教育委員 5. 社会教育関係施設・係の連絡調整 6. 社会教育関係団体の指導助言 7. コミュニティ施設整備支援 8. 大町公民館分室 9. 蔵の音楽館 10. 文化・芸術の振興 11. 美術振興専門委員会 12. ギャラリー・いーずら 13. 成人式 14. 科学振興 15. 信濃木崎夏期大学 16. エネルギー博物館 17. 青少年教育 18. 青少年問題協議会 19. 青少年センター 20. 青少年補導委員協議会 21. 青少年育成市民会議 22. 子ども会育成連絡協議会 23. 青少年関係団体 24. 読み聞かせ（読書推進） 25. 子どもセンター事業
	人権教育担当	1. 人権教育の総合的な計画及び推進 2. 人権教育関係機関、団体との連絡調整 3. 学校及び地域への人権教育 4. 解放子ども会 5. 同和教育集会所 6. 企業内の人権教育 7. 人権教育推進協議会 8. 人権問題についての対応
	文化財係	1. 文化財 2. 文化財保護審議会 3. 埋蔵文化財発掘調査 4. 文化財センター 5. 旧中村家住宅
社会教育施設	公民館	1. 公民館運営審議会 2. 分館の運営活動の援助及び指導 3. 社会教育団体の連絡調整 4. 公民館講座の推進 5. 地区別体育事業 6. 館報の発刊 7. 文化祭 8. 視聴覚教室 9. 生活改善 10. 人権教育 11. 分館長会 12. 生涯教育 13. 文化団体の育成
	図書館	1. 閲覧および貸出し 2. 資料の受入れ整理 3. 図書館協議会 4. 大北図書館協会 5. 関係グループの育成等 6. 調査相談（レファレンス） 7. 園文庫 8. 障害者サービス 9. 広報
	文化会館	1. 自主事業 2. 文化会館運営委員会 3. 文化会館ホールアシスタント 4. 芸術文化団体の育成 5. 施設の貸し出し 6. 文化事業の共催および後援
	勤労者福祉施設	1. 運営、管理

		事 務 分 掌
	女性未来館 ピ ュ ア	1. 女性未来館ピュア運営委員会 2. 職能講座 3. 家庭生活講座 4. 婦人問題講演会 5. 余暇活動の援助 6. 女性団体・サークルの育成 7. 職業・家庭生活等の相談 8. 託児業務
	民俗資料館	1. 案内窓口 2. 常設展示 3. 資料の受入れ 4. 特別展示
	八坂情報コミュニティーセンターアキツ	1. 運営、管理
体 育 課	社会体育係	1. 総合計画 2. 社会体育施設の整備および維持管理 3. 社会体育施設および学校施設の開放 4. 学校施設開放運営協議会 5. スポーツ大会等の計画、運営 6. スポーツ推進委員 7. 市民の保健、体力づくり 8. B & G海洋センター 9. スポーツ大会等の奨励および指導 10. 体育関係団体 11. スポーツ傷害保険
山岳博物館	山岳博物館	1. 案内窓口 2. 「情報シート」の販売 3. 山岳博物館協議会 4. 嘱託員会 5. 常設展示 6. 特別展 7. 調査研究 8. 資料の収集・整理・保管 9. 各種パンフレット・リーフレットの編集 10. 教育資料（手引・解説書）の作成 11. 「山と博物館」の発刊 12. 資料の受贈・受託 13. 資料の特別利用 14. 友の会等関係団体との提携 15. 付属園の動物飼育

8 教育予算

(1) 平成26年度一般会計当初予算



(単位 千円)

歳 入				歳 出			
区 分	予 算 額	構 成 比		区 分	予 算 額	構 成 比	
1 市 税	3,913,831	24.1 %		1 議 会 費	172,463	1.1 %	
2 地 方 譲 与 税	179,000	1.1		2 総 務 費	2,274,583	14.0	
3 利 子 割 交 付 金	7,000	0.0		3 民 生 費	4,278,166	26.4	
4 配 当 割 交 付 金	4,000	0.0		4 衛 生 費	2,277,118	14.0	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,500	0.0		5 労 働 費	128,993	0.8	
6 地 方 消 費 税 交 付 金	421,600	2.6		6 農 林 水 産 業 費	490,282	3.0	
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,900	0.0		7 商 工 費	1,012,668	6.2	
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	38,000	0.2		8 土 木 費	1,692,110	10.4	
9 地 方 特 例 交 付 金	9,000	0.1		9 消 防 費	590,179	3.6	
10 地 方 交 付 税	6,050,000	37.3		10 教 育 費	1,350,766	8.3	
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,600	0.0		11 災 害 復 旧 費	1	0.0	
12 分 担 金 及 び 負 担 金	184,104	1.1		12 公 債 費	1,917,671	11.8	
13 使 用 料 及 び 手 数 料	284,759	1.8		13 予 備 費	35,000	0.2	
14 国 庫 支 出 金	1,281,128	7.9					
15 県 支 出 金	795,217	4.9					
16 財 産 収 入	14,410	0.1					
17 寄 付 金	302	0.0					
18 繰 入 金	611,562	3.8					
19 繰 越 金	200,000	1.2					
20 諸 収 入	973,428	6.0					
21 市 債	1,244,659	7.7					
歳 入 合 計	16,220,000	100.0		歳 出 合 計	16,220,000	100.0	

(2) 平成26年度教育費当初予算 (歳出)

(単位 千円)

項	目	本年度予算額
1 教育総務費		123,972
	1 教育委員会費	3,785
	2 事務局費	120,187
2 小学校費		320,249
	1 小学校管理費	172,978
	2 小学校教育振興費	147,271
3 中学校費		150,965
	1 中学校管理費	68,714
	2 中学校教育振興費	82,251
	3 中学校建設費	0
4 社会教育費		381,741
	1 社会教育総務費	95,333
	2 青少年費	6,016
	3 公民館費	101,666
	4 図書館費	38,412
	5 文化会館費	124,042
	6 文化財保護費	16,272
5 保健体育費		254,331
	1 体育振興費	49,041
	2 体育施設費	70,712
	3 学校給食費	134,578
6 山岳博物館費		119,508
教育費合計		1,350,766
5 労働費		14,179
1 労働諸費	2 労働施設費	14,179

※18年度から事業費予算に変更となりました。

9 教育行政のあゆみ

- 昭和 29. 5.24 大町、平村、常盤村および社村が合併の調印
7. 1 市制施行
- 教育委員に西沢録四郎、平林悦夫、遠藤嘉久、平林忠雄、宮田清の各氏就任
8. 8 市民登山(白馬岳 34 人)。第 1 回町民登山(鹿島槍ヶ岳 17 人)以来毎年実施 ～
9 日
- 11.24 図書館内に PTA 母親文庫北安曇配本所開設
30. 3.25 教育委員に清水敬一郎、平林悦夫、中村勝則、阿部西与、原又雄の各氏就任
- 5.27 「大町市中学校制度確立に関する意見書」を市議会で議決
- 10.15 小中学校の完全給食を実施
31. 6.18 常盤中学校の普通教室・管理棟が新築落成(工事費 1,425 万円)
8. 8 菅沢幸雄、阿部西与、平林悦夫、中村勝則、竹内周也の各氏教育委員に任命
- 8.15 市公民館、文部省から準優良公民館として表彰される
11. 8 第 1 回市文化祭
32. 1.22 大町中学校制度審議会が大町市中学校制度に関して答申
- 3.27 山岳博物館指導の大映映画「白い山脈」(動物記録映画)完成。文部省特選
8. 8 三沢巖氏教育委員に任命
11. 1 山岳博物館第二期建物、東山樋沢の現在地に落成開館(工事費 360 万円)
33. 1.13 大町市中学校制度推進特別委員会は大町地区に 1 校新設することの必要を市
議会へ報告、市議会これを了承
- 8.11 幡野茂道氏教育委員に任命
- 12.11 子ども劇場(民間)を開設
34. 2.23 中学校の4校を統合し、第一中学校(新設)・第二中学校・第三中学校とすることを
市議会で議決
- 3.12 上原遺跡を買収、復元に着手
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる。第一中学校は校舎が新築され
るまで旧平中学校と第二中学校で学習する
- 6.10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基礎計
画ができる
- 7.10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
8. 8 一志五郎氏教育委員に任命
- 8.30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費 180 万円)
9. 9 第 12 回県美術展(大町公民館) ～13 日
- 10.30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費 120 万円)
35. 3.31 第一中学校普通教室の北校舎西側が完成
- 総合グラウンドの野球場完成(工事費 2,800 万円)
- 8.22 片倉甫氏教育委員に任命

- 10.15 総合グラウンドのテニスコート・バレーコート完成(工事費 105 万円、皇太子殿下ご成婚記念)
- 36. 3.10 上原遺跡の堅穴保存工事完成(工事費 5 万円)
第一中学校北校舎東側完成
- 3.27 皇太子殿下山岳博物館などご視察
- 3.29 第一中学校普通教室・特別教室・管理棟落成(工事費 6,140 万円)
- 4. 1 第一中学校新校舎に移転し、実質統合中学校となる
山岳博物館が高山植物コマクサの低地栽培に成功
- 6.15 秩父宮妃と高松宮ご夫妻が山岳博物館にご見学
- 12. 1 第一中学校体育館落成(工事費 2,288 万円)、(第一中学校建設工事が完了)
- 37. 4. 5 山岳博物館の北ア動物生態グループがライチョウの生態研究結果を学会に発表
- 4.10 皇居外苑保存会からコブハクチョウ一つがいが贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を造って放鳥
- 6. 8 第 3 回全日本学生ワルデルング(鹿島大谷原)
- 11. 1 山岳博物館の裏山にカモシカ園を造り、カモシカ「岳子」を放し飼い
- 38. 1.25 矢口亨氏教育委員に任命
- 2.12 山岳博物館が北アルプス爺ヶ岳で冬期ライチョウ調査
- 5.14 内川金市氏教育委員に任命
- 6.10 針ノ木自然園総合学術調査(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)
- 39. 1. 第三中学校給食室完成
- 5.13 木崎湖「白鳥の池」でコブハクチョウがふ化
- 10.19 西山千明氏、荒井録良氏教育委員に任命
- 40. 3. 1 山岳博物館が秩父宮記念学術賞受賞
- 4. 1 仁科台中学校発足。仁科台中学校大町部校、同常盤部校となる
- 9. 1 山下利彦氏教育委員に任命
- 41. 4.15 山岳博物館にカモシカ放養園が完成
- 8.22 矢口けさ江氏教育委員に任命
- 42. 3.31 仁科台中学校完成(工事費 2 億 7,500 万円)
- 4. 2 中学校 2 校制に伴う新学区による第一中学校の開校式
- 4. 3 仁科台中学校新校舎で開校式
- 7.27 仁科台中学校体育館完成
- 8.10 五十嵐水卯氏教育委員に任命
- 43. 9.24 大町小学校校舎 1 棟全焼
- 12.22 第一中学校技術棟完成
- 44. 3. 7 百瀬渉氏教育委員に任命
- 11.11 松本明氏教育委員に任命
- 12.10 文化財審議委員会発足
- 45. 1.31 大町小学校校舎 2 棟完成(工事費 4,980 万円)
- 3.22 平小学校の野口分校(明治 5 年開設)、源汲分校(明治 8 年開設)閉校

- 8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
- 10.12 大町図書館落成開館(工事費 2,484 万円)
- 11. 2 第一中学校開校 10 周年記念式典
- 46. 8. 4 第一中学校プール完成
- 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
- 10.26 大町小学校開校 100 周年記念式典
- 47. 5. 公民館運営審議会に諮り同和教育事業推進のための年次計画を決定
市内小中学校へ同和教育研究委員を委嘱、学校同和教育の取り組みに着手
- 6.26 同和对策審議会発足
- 8.24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
- 11.20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
- 48. 3. 常盤小学校松林の間伐を行い、遊歩道を設けて「健康の森」とする
- 3.25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」を中国へ贈る
- 3.31 宮下正治氏、横沢監物氏教育委員に任命
- 4. 1 同和对策課を設置、大町市小学校同和教育計画を作成
- 7.30 市民プール完成(工事費約 2,000 万円)
- 49. 1. 5 運動公園建設着工
- 4. 1 教育委員会事務局に社会体育係設置
- 6. 2 常盤小学校東校舎焼失
- 8.22 西山正氏教育委員に任命
- 9. 同和教育推進協議会を設立
- 50. 1. 4 教育委員会内に同和教育係を設置、同和教育指導員 2 名を配置
- 4. 1 大北視聴覚ライブラリー開設
- 7. 1 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明施設完成
- 8.10 鈴木忠博氏教育委員に任命
- 10. 1 第 24 回長野県公民館大会(大町小学校) ～2 日
- 12. 1 常盤小学校校舎 5 教室完成
- 51. 2.14 第 1 回部落解放市民大会
- 3.31 第一中学校技術棟 2 階増築完成
- 4. 1 少年育成補導センターを教育委員会事務局内に設置
美麻南・北小学校統合により美麻小学校
- 6. 第 1 回同和教育指導者養成講座(常盤地区)
- 7.16 上條為人氏、横沢茂氏教育委員に任命
- 10.31 仁科台中学校開校 10 周年記念式典
- 52. 3.22 平小学校閉校
- 3.31 清水利和氏教育委員に任命
- 4. 1 県からの派遣社会教育主事(スポーツ担当)として花岡実教諭着任(3 年間)
美麻南・北中学校統合により美麻中学校(小中併設校)
- 4. 4 北小学校開校
- 5.13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育 21 年 3 か月)

- 6. 企業同和教育連絡協議会設立
- 7. 2 市民憲章を制定
- 7.21 新市庁舎が完成(総工費 11 億 8,000 万円)
- 7.30 国体リハーサル大会の全国選抜少年団サッカー大会 ～31 日
- 11. 解放子ども会設置
- 53. 1.23 常盤小学校で毎週月曜日、弁当持参による米飯給食開始
- 3. 小中学校同和教育計画書を改訂
- 3.10 北小学校校歌・校旗できる
- 4. 同和教育推進教員を配置、市内 6 校を同和教育指定校に指定
- 4. 1 学校体育施設の一般開放始まる
- 部落解放都市宣言
- 大町総合病院に院内学級開設
- 青少年育成会連絡協議会を設置
- 6. 第 1 回市内教職員同和教育研究会
- 7. 9 運動公園陸上競技場(第 3 種公認)完成
- 8. 2 市公民館平支館、旧平小学校へ移転
- 8.15 成人式を夏に変更
- 9.24 遠藤正賢氏教育委員に任命
- 10. 隣組同和教育講座を開設
- 10.15 第 33 回国民体育大会やまびこ国体 ～20 日
- 10.16 やまびこ国体サッカー競技大会
- 10.19 常陸宮両殿下サッカー競技ご観覧
- 11. 5 第 1 回全国健康マラソン大会
- 54. 4. 1 同和教育集会所開設
- 6.20 図書館 2 階へ学習室・収蔵庫を増築完成
- 7. 常盤小学校第 1 グラウンドの高低差 90cm をなくす工事を行う
- 7.23 常盤小学校プール完成
- 9.26 西公園グラウンド夜間照明点灯式
- 11. 9 市史編纂(さん)室設置
- 11.16 仁科神明宮遷宮祭 ～18 日
- 11.29 B&G 財団大町海洋センターオープン
- 55. 4. 市内学校同和教育研究委員会に高校も参加、幼・保・小・中・高一貫の学校同和教育を推進
- 7.25 平グラウンドの夜間照明点灯
- 10. 1 市公民館常盤支館、旧第三中学校へ移転
- 10.31 第一中学校開校 20 周年記念式典
- 56. 2.13 B&G 大町海洋センター武道館完成
- 3.31 社小学校閉校
- 4. 1 一志開平氏教育委員に任命
- 4. 4 東小学校開校

- 4.22 パンダ「ランラン」のはく製を山岳博物館で公開(貸し出し第1号)
～5月5日
- 12.20 北小学校給食棟完成
57. 2. 1 砂田繁雄氏教育委員に任命
- 3.13 東小学校校歌発表会
- 3.16 仮称大町西小学校プレイルーム・特別教室完成
4. 1 常盤小学校プレハブ校舎特別教室分新設
- 4.28 (財)大町エネルギー博物館開館(工事費 3 億 2,000 万円)
6. 5 山岳博物館第三期建物落成開館(工事費 4 億 9,300 万円)
7. 9 B&G 大町海洋センター多目的広場完成(旧社小跡地)
- 7.13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
- 8.18 仮称大町西小学校高学年棟完成
58. 3. 小中学校同和教育指導書を作成
4. 企業同和教育推進連絡協議会を企業同和教育推進協議会に改称
4. 1 市役所出張所(平・常盤・社)を廃止、平・常盤・社に独立公民館を設置
- 5.17 春の花壇コンクールで、第一中学校、文部大臣賞受賞
- 6.25 仮称大町西小学校管理棟完成
- 8.12 北小学校 2 教室増築工事完成
- 8.17 仮称大町西小学校給食棟完成
11. 6 第1回常盤少年駅伝大会
59. 3.18 仁科台中学校、花壇コンクールで、文部大臣奨励賞受賞
4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)開館(工事費 3 億 500 万円)
西小学校開校
図書館に障がい者用便所を増築、完成
5. 2 運動公園に全天候テニスコート開設
- 6.28 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明灯増設
7. 1 市制 30 周年記念式典
市史第 1 巻・第 5 巻刊行
7. 9 西小学校プール完成
- 9.26 第一中学校大規模改修工事(校舎)終了
- 10.10 第 1 回大町健康シティーマラソン
- 10.26 ニホンカモシカ 2 頭、オーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、
ウィーン市のシェーンブルン宮殿動物園へ贈る
- 11.30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(工事費 1,359 万円)
- 12.27 仮称大町南小学校プレイルーム棟完成
60. 2.15 シェーンブルン動物園へ贈った雌カモシカの死亡により、再び雌1頭贈る
- 2.18 大町市とインスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
- 3.22 仮称大町南小学校普通教室棟完成
4. 1 教育委員会事務局に課制を敷き、学校教育課と社会教育課が発足

- 民俗資料館が開館(工事費 1 億 3,000 万円)
 解放子ども会指導委員会を解放子ども会運営委員会に統合
 青少年センターを教育委員会事務局内に設置(旧少年育成補導センター)
 少年教育電話相談開設
- 4.27 アルプスマーモットふたつがいがインスブルック市から山岳博物館に到着、一般公開開始まる
7. 3 青少年育成市民会議発足
- 8.10 B&G 財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
- 8.17 第一中学校大規模改修工事終了(配線工事ほか)
- 8.19 仮称大町南小学校給食棟・特別教室棟が完成、使用開始
9. 1 市史第 2 巻・第 4 巻刊行
11. 1 長野建設労働者研修福祉センター・愛称「サン・アルプス大町」開館(工事費 3 億 5,000 万円)
61. 1.20 仮称大町南小学校管理棟完成
3. 1 市史第 3 巻刊行(全 5 巻完結)
- 3.15 市制 30 周年記念「大町一きのう、きょう、あした」、県自作教育ビデオ最優秀賞
- 3.24 オオライチョウ 1 つがいがインスブルック市から山岳博物館に到着(雌は輸送中に死亡)
4. 1 働く婦人の家、長野建設労働者研修センター補助執行
- 4.20 運動公園野球場落成記念・高等学校招待野球
- 5.10 オオライチョウの卵(5 個)をインスブルック市アルペン動物園長持参(ふ化せず)
- 5.28 大町公民館・文化会館(複合施設)開館(総事業費 16 億 8,800 万円)
- 7.25 第 7 回北信越国民体育大会・山岳競技の部 ～27 日
- 8.10 夏期巡回 NHK ラジオ体操会
- 8.29 第 7 回北信越国民体育大会・サッカー競技 ～31 日
- 9.26 西山謙次氏教育委員に任命
- 9.27 仮称大町南小学校体育館完成(工事費 1 億 8,900 万円)
11. 1 北小学校開校 10 周年記念式典
11. 2 仁科台中学校開校 20 周年記念式典
- 12.30 重要文化財若一王子神社本殿防災施設完成(工事費 1,291 万円)
62. 1.14 仮称大町南小学校屋外環境整備等完成(工事費 3,439 万円)
- 2.11 第 1 回綱引きトーナメント
- 3.20 運動公園弓道場・相撲場完成(工事費 1,860 万円)
- 3.27 南小学校開校祝賀式(総工事費 11 億 2,600 万円)
- 3.30 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.1 発刊
4. 3 南小学校開校・入学式
4. 6 加藤寿々子氏、著名作家書簡等を市へ寄贈
- 4.20 運動公園多目的広場完成(工事費 5,710 万円)
5. 5 オオライチョウの卵(9 個)アルペン動物園長持参、30 日ふ化(雌雄各 2)

- 8.13 藤沢彌五衛氏教育委員に任命
- 8.28 第一中学校校舎、体育館大規模改修完了(工事費 4,015 万円)
- 9.20 アルペン動物園開設 25 周年記念行事に市民訪問団参加(13 人) ～30 日
- 11. 3 加藤朝鳥・寿々子両氏にかかわる「著名作家書簡展」文化会館で開く
- 63. 3.30 第一中学校玄関ポーチ、校名板設置(工事費 98 万円)
- 「市内遺跡分布調査報告書」発刊
- 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.2 発刊
- 3.31 「社会教育計画」発刊
- 「来見原遺跡調査報告書」発刊
- 4. 南小学校、体力づくり推進校として文部省指定(3 年)
- 4.25 同和教育相談員(4 人)設置
- 7.23 チョモランマ／サガルマタ友好登山記念講演会(文化会館)
- 8. 1 外国青年英語指導助手招致、アラン・ラインSTEIN氏(米)発令(3.3.31 まで)
- 9.28 運動公園マレットゴルフ南コース完成
- 10.25 県宝若一王子神社三重塔防災施設完成
- 11. 6 運動公園総合体育館完成(工事費 9 億 8,448 万円)
- 12.20 北小学校みどりの少年団結団式
- 平成元 1.21 総合体育館落成記念全日本バレーボール男女選抜リーグ大町大会
- 1.28 運動公園を主会場に「大町雪と氷の博覧会」が開かれる(延べ 6 万 7,000 万人が来場) ～30 日
- 1.31 「大町市の文化財」発刊
- 3.31 「小海戸発掘調査報告書」発刊
- 4. 1 教育委員会事務局に体育課、文化財係設置
- 勤労青少年ホームを補助執行
- 4. 2 矢口格氏教育委員に任命
- 5.13 附属資料館完成により、夏期大学の再建終わる(総事業費 3 億 4,000 万円)
- 5.17 金田國武氏教育委員に任命
- 5.25 北小学校、春の花壇コンクールで環境庁長官賞受賞
- 7. 山岳博物館で英文パンフレット製作
- 7.15 大町高校初の学校開放講座(書道に 37 人受講)
- 9.13 仁科台中学校大規模改造工事終了
- 9.28 文化会館、北小学校を会場に県公民館大会開催 ～29 日
- 10. 1 共同福祉施設「フレンド・プラザ大町」開館 教育委員会が補助執行
- 10.29 常盤小学校(南小学校)開校 100 周年記念式典
- 12.22 美術博物館構想懇話会が、美術館・歴史民俗博物館構想を市長に報告
- 2. 2. 6 石曾根佐和江氏教育委員に任命
- 3. 2 重要文化財盛蓮寺観音堂防災施設完成(総事業費 1,081 万円)
- 3. 8 シャモア(アルプス・カモシカ)3 頭がインスブルック市から山岳博物館に到着(雄 1、雌 2)

- 3.15 市科学振興賞 第1回授与式
- 3.31 「海の口・一津遺跡調査報告書」発刊
- 7.30 文化公園完成(2億300万円)
- 10. 8 仁科台中学校大規模改造(体育館ほか)終了
- 10.19 県視聴覚放送教育研究大会(第一中ほか)750人 ～20日
- 10.21 県PTA連合会研究大会大北大会(文化会館)
- 10.28 東小学校開校10周年記念式典
- 11. 2 第一中学校開校30周年記念式典
- 12. 1 生涯教育リーダーバンク設立
- 3. 3.25 保健センター・大町公民館分室完成(5億900万円)
東京・立川市と姉妹都市提携
- 4. 1 子どものための郷土冊子発刊、4～6年生に配布
仁科台中学校運動部活動研究推進校として文部省指定(3年間)
- 6.15 IOC総会で長野が1998年冬期五輪開催都市に決まる
- 6.19 暴力追放市民協議会設立総会
- 8. 1 外国人英語指導助手にジョン・クーパー氏(英)発令(5.7.31まで)
- 9.30 仁科台中学校大規模改造工事(技術・家庭科棟)終了
- 10.19 北小学校5年3組、『いいとこカルタ』の作成などで地域づくり大賞を受賞
- 11. 1 山岳博物館開館40周年。記念式典、特別展など実施。インスブルック・アルペン動物園からオオヤマネコ1つがい贈られる
- 4. 2.14 市婦人団体連絡協議会発足
- 3.31 「中城原・南入日向・西の原遺跡調査書」発刊
- 4.28 エネルギー博物館開館10周年
- 7.14 常盤公民館竣工式(工事費 3億4,600万円)
- 7.26 大町野外美術展「'92夏 アルプス wa ミュージアム」、大町スキー場で開催
～8月25日
- 8. 1 山本茂實文化講演会および「葺」の仲間作品展
- 9. 1 学校週5日制スタート(月1回第2土曜日)
- 9. 7 紀宮清子親王山岳博物館ご来館
- 9.16 皇太子殿下(徳仁親王) //
- 9.22 仁科台中学校大規模改造工事(理科・廊下棟)終了
- 12.15 中学校コンピューター導入
- 5. 2.26 山岳博物館展示改修完成(改修費5,489万円)
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」発刊
- 3.31 第2期「社会教育計画」策定、発刊
郷土学習冊子改訂
- 4. 1 大町市子ども会育成連絡協議会を設置(旧青少年育成会連絡協議会)
- 4. 2 牛越充氏教育委員に任命
- 5.17 佐々木敬次氏教育委員に任命

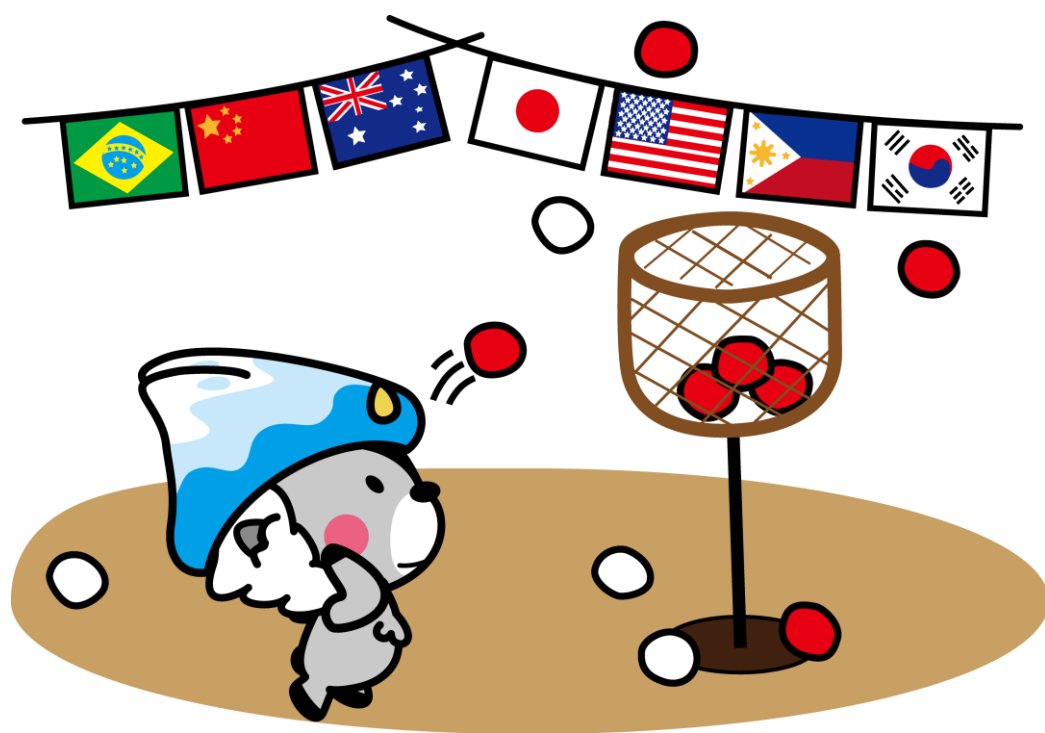
- 6. 2 カモシカ 2 頭をオーストリアのシェーンブルン動物園へ贈呈
- 7.19 外国人英語指導助手布林デーキャサリン・トムシ氏(加)発令
- 9. 3 長野県女と男ふれあいフェスティバル開催
- 9.14 仁科台中学校大規模改造工事(管理棟)終了
- 10. 8 長野県社会教育委員研修会開催
- 10.26 生涯学習推進の基本的な考え方、体制について社会教育委員が答申
- 6. 2.24 「山岳博物館総合案内書」発刊
- 3.10 「5,000 年前のムラ跡の調査概要報告書(後山・大行原遺跡)」発刊
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」No.2 発刊
- 「1,700 年前のムラ跡の調査概要報告書(中城原遺跡)」発刊
- 3.24 西小学校体育館竣工式(事業費 4 億 700 万円)(起工 5.6.21・竣工 6.2.25)
- 4. 1 社会教育課を生涯学習課に、社会教育係を生涯学習係、同和教育係を同和推進係に改称(同和対策を補助執行)
- 大町公民館分室に社会教育指導員設置
- 7.18 生涯学習推進プラン策定委員会発足(17 名、委員長に菅沢徹夫氏)
- 9.20 女性行動計画策定委員会発足(10 名、委員長に牛越充教育長)
- 9.26 西澤徳市氏教育委員に任命
- 10. 1 市民意識調査「女性プランにあなたの声を」を実施
- 10.15 第 1 回生涯学習推進フォーラム開催(サン・アルプス、岡本包治氏講演)
- 10.29 アルプスマーモット 1 つがいがアルペン動物園から山岳博物館に到着
- 11.11 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 12.27 運動公園屋内体育館完成
- 7. 3.10 「5,500 年前の耳飾り製作ムラ跡の調査概要報告書(藪沢 I・II 遺跡)」発刊
- 3.15 「居谷里湿原保存調査報告書」発刊
- 3.18 「中城原 II(中城原遺跡報告書)」発刊
- 3.23 市制 40 周年記念国際交流事業大町市少年少女合唱団インスブルック訪問
～30 日
- 3.31 大町市生涯学習推進プラン「いきいき学習エンジョイライフ大町」策定、発刊
おおまち女性プラン「ともに生きる喜びめざして」策定、発刊
- 4. 1 教育次長および青少年女性係を新設
- 6.23 生涯学習のまちづくり推進本部発足
- 6.28 女性問題懇話会発足
- 8. 生涯学習のまちづくり出張講座開設
- 8.13 遠藤正人氏教育委員に任命
- 9.23 第1回ロマン街道「塩の道」産業と文化フェスティバル開催 ～24 日
- 10.23 大町市文化会館開館 10 周年記念式典
- 11. 生涯学習リーダーバンク開設
- 11.20 山岳博物館イヌワシ舎竣工(1,066 万円)
- 11.26 第 1 回男女共生フォーラム開催
- 8. 3. 6 「大町市指定文化財調査書第 2 版大町市の文化財」発刊

- 4. 1 学校教育指導員を配置
- 9.30 「大町市の絵馬」発刊
- 11. 2 大町北小開校 20 周年記念式典
- 9. 1.14 大町南小児童クラブ開所(常盤公民館)
- 4. 2 荒井和比古氏教育委員に任命
- 4. 7 「ギャラリー・いーずら」オープン
- 10. 3. 「郷土学習冊子」新訂版発行
- 3. 新図書館竣工
- 5. 学社融合推進委員会設置
- 10. 4 第 3 期「大町市社会教育計画」策定
- 11. 3 幸町教員住宅竣工(12 戸)
- 11.10. 1 新図書館オープン
- 人権擁護審議会設置
- 12. 1. 大町市人権教育のための国連 10 年推進本部設置
- 5. 人権と暮らしに関する意識調査実施
- 8.31 第 1 回ライチョウ会議
- 13. 4. 2 丸山一由氏教育委員に任命
- 4.22 平運動場整備竣工式。記念ソフトボール大会
- 5.17 中山弘幸氏教育委員に任命
- 7. 1 市内全小中学校に学校評議員会設置
- 8. 6 宇宙飛行士(若田光一氏)講演会(文化会館)
- 9.24 山岳博物館創立 50 周年記念登山。爺ヶ岳
- 9.28 第 15 回全日本シニアソフトボール大会開催(48 チーム) ～30 日
- 10. 「第 2 次大町市生涯学習推進プラン」発刊
- 10.13 山岳博物館 50 周年記念式典、シンポジウム(文化会館)
- 10.28 チルドレンズミュージアム開催(サンアルプス)
- 11.20 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 14. 2. 6 横澤幸子氏教育委員に任命
- 3.15 山岳文化都市宣言
- 3.16 山岳博物館展示改修完成(改修費 3,980 万円)
- 4. 6 こども体験学習号(バス)運行開始
- 5.24 第 20 回全国シニアソフトボール大会開催(96 チーム) ～27 日
- 6. 同和対策「特別措置法」失効に伴い、関係する市条例、規則等を改正
- 9.26 眞嶋強志氏教育委員に任命
- 15. 3. . 「人権教育のための大町市行動計画」策定
- 4. 第 4 期「大町市社会教育計画」発刊
- 8.13 矢口博文氏教育委員に任命
- 16. 4. 1 働く婦人の家を「女性未来館ピュア」に名称変更する
- 4. 4 大町市蔵の音楽館竣工
- 5.15 大町市文化会館スケートボードパーク竣工

- 7. 6 第一中学校全面改築工事起工式
- 7.26 外国人英語指導助手ウィリアム・ハビントン、タミー・クライトン(加)発令
- 10.16 市制施行 50 周年記念式典
- 17.11.25 第一中学校新校舎開き
- 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併 新大町市誕生
 - 1.24 大町高校と大町北高校の存続を守り育てる市民会議設立
 - 2.11 合併記念式典(文化会館)
 - 2.22 県立高校の発展と存続を願う会県庁包囲行動(県庁)
 - 3.24 青色パトロール車出発式
 - 3.27 新児童センター完成
 - 5.27 第 30 回長野県知事杯争奪選手権マレットゴルフ大会(運動公園)
 - 6.10 第 44 回北信越壮年ソフトボール大会(~11)
 - 第 10 回北信越シニアソフトボール大会(~11)
- 10.28 大町北小学校 30 周年記念式典
- 11.10 仁科台中学校 40 周年記念式典
- 11.25 八坂中学校 60 周年記念式典
- 11.26 美麻小中学校 30 周年記念式典
- 12.22 第一中学校竣工式
- 19. 3 「第 3 次大町市生涯学習プラン」発刊
 - 4 第 5 期「大町市社会教育計画」発刊
- 19.12.25 美麻公民館移転
- 20. 3.30 「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」策定
 - 8. 5 仁科台中学校全面改築工事起工式
- 21. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命
 - 4. 文部科学省人権教育総合推進地域事業指定(3年間)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命
 - 7.27 外国人英語指導助手ソン ティリム発令
 - 8. 3 「 チェロ アントニー発令
- 11. 6 大町南小 120 周年記念式典(新型インフルエンザ流行のため印刷物等の配布)
- 12.18 仁科台中学校新校舎開き
- 22. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命
 - 9.26 布施知子氏教育委員に任命
 - 12.14 仁科台中学校完成式
- 23. 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命
- 23.11.3 山岳博物館 60 周年記念式典(JAホール アプロード)
- 24.3. 第 6 期「大町市社会教育計画」発刊
 - 4.20 山岳図書資料館開館
- 25.4.1 荒井今朝一氏教育委員に任命(再任)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命(再任)
 - 7.29 外国人英語指導助手クリーバ ブリトニー発令

- 26.2. 6 藤井一男氏教育委員に任命(再任)
- 3.29 山岳博物館リニューアルオープン
- 26.4.1 美麻小学校及び美麻中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化、小中一貫教育導入)
- 8.3 外国人英語指導助手マッケイクリストファー発令
- 9.26 仲原直美氏教育委員に任命
- 10.11 大町市制施行60周年・合併10年記念『未来を担う子どもたちの芸術交流事業』
(小学校児童絵画展、中学生吹奏楽演奏、和太鼓演奏)実施

II 学 校 教 育



学 校 教 育

基 本 方 針

これからの学校教育は、生涯学習の基礎づくりをすることを前提において、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応しうる心豊かでたくましい人間性を培うことを目標とします。そのために、以下のことを視点にすえて具現を図っていきます。

- 1 常に、自発的・創造的に学び続ける強い意志と態度を育むために、一人ひとりが自分の課題をもち、自ら追求する問題解決的な学習や体験学習をとおして、学び方が身につくようにします。
- 2 発達段階に応じた基礎的・基本的な学習内容の習熟、生活の仕方についての能力と習慣の形成を図ります。
- 3 一人ひとりの個性や能力を生かすことを中心として、個性ある学級、特色ある学級づくりを進めます。
- 4 大町市の宝である自然や、仁科文化、山岳文化などを土台とした、豊富な地域素材を学習課程に位置づけて、郷土に対する理解と郷土愛の心を育てます。
- 5 学校の教育機能や施設を地域へ広く開放するとともに、地域の教育力を学校へ生かしていくように努めます。また、児童生徒の調査や観察、実習などの体験活動を地域ぐるみで促進します。
- 6 心身に障がいをもつ児童生徒が社会的に自立できるよう、障がいの種類や程度に応じた教育を推進します。
- 7 児童生徒が助け合い支えあう中で、各種ボランティア活動への積極的な参加を図るとともに、福祉教育や環境教育、安全教育、同和教育、性教育などの内容を充実します。

1 市内小中学校

(1) 小学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
大町東小学校	昭和56年4月1日	大町市社6700番地	すず ぎ けい こ 鈴 木 桂 子	TEL. 22-0611 FAX. 23-3174 有線 22-0611
大町西小学校	昭和59年4月1日	大町市大町4733番地3	うめ けい かつ 梅 牧 力	TEL. 22-0019 FAX. 22-1133 有線 22-0019
大町南小学校	昭和62年4月1日	大町市常盤3543番地1	て つか けい お 手 塚 善 雄	TEL. 22-0521 FAX. 22-0647 有線 22-0521
大町北小学校	昭和52年4月1日	大町市大町5806番地8	とく ぼら つぎ ひさ 徳 原 嗣 久	TEL. 23-0190 FAX. 22-0740 有線 23-0190
八坂小学校	昭和61年4月1日	大町市八坂1090番地	い とう ひろ みつ 伊 藤 浩 光	TEL. 26-2010 FAX. 26-2144
美麻小学校	昭和51年4月1日	大町市美麻27503番地	しお ぼら まき れい 塩 原 雅 由	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(2) 中学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
第一中学校	昭和34年4月1日	大町市大町4528番地	み っ 井 じん 三 ツ 井 仁	TEL. 22-1262 FAX. 22-4779 有線 22-1262
仁科台中学校	昭和40年4月1日	大町市大町3759番地	や ぐち おさむ 矢 口 修	TEL. 22-1817 FAX. 22-0290 有線 22-1817
八坂中学校	昭和22年4月1日	大町市八坂11648番地	お ぐち しん 小 口 伸	TEL. 26-2020 FAX. 26-2020
美麻中学校	昭和52年4月1日	大町市美麻27503番地	しお ぼら まき れい 塩 原 雅 由	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(3) 中間教室

名称	開設年月日	所在地	適応指導員	T E L
大町市 アルプスの家	平成6年6月20日	大町市大町4710番地	丸 山 峯 男 竹 内 千代子 清 水 眞 弥	TEL. 23-6418

平成26年度



学校概要



大町東小学校 校歌

作詞 高橋 恭男

作曲 飯沼 信義

一、仁科の里の

緑も深く

城あとに
風かおり

朝陽に映ゆる

学舎は

豊かな理想

育みて

永久に栄ゆる

東小

二、鹿島の峰や

千古の雪の

爺蓮華
アルプスを

仰ぎて鍛う

身と心

大きな希望

掲げつつ

ともに励まん

わが友よ

三、文化の息吹き

歴史の郷に

豊かなる
生うけし

誇りをわれら

受けつぎて

学びの道を

めざしつつ

ともに進まん

わが母校

大町市立大町東小学校

〒398-0003 長野県大町市社6700番地
TEL (0261) 22-0611 FAX (0261) 23-3174
◆標高714m ◆東経137度52分 ◆北緯36度29分

学校の沿革

- 明治6. 宮本神宮寺堂に宮本学校が、木舟常福寺に木舟学校が開校される。
- 明治25. 社尋常小学校となる。
- 昭和22. 義務教育6・3制に伴い、社小と社中に分かれる。
- 昭和53. 仮称大町東小学校起工式が挙行される
- 昭和56. 社小学校が廃校となり、大町市立大町東小学校が開校。
プールが完成。
- 昭和57. 校歌発表会を挙行。
P T A・児童・職員の三者によって岩石園が出来上がる。

- 昭和60. 校門除幕式を挙行。
P T A文部大臣賞を受賞。
- 昭和62. 学校給食優良校として表彰される。
- 平成2. 開校10周年記念式典、校歌碑除幕式を挙行。
- 平成12. 開校20周年記念式典、記念演奏会を挙行。
タイムカプセルを埋設。(在校生が本校P T A会員になる年に開封)
- 平成19. 体育館大規模改修
- 平成22. 管理棟大規模改修
- 平成23. 低学年棟大規模改修
- 平成25. 高学年棟・給食棟大規模改修

◇学校経営の重点

学校教育目標

・きたえる

心身共にたくましい子ども

・思いやる

やさしさのある子ども

・求める

自ら課題をもって学ぶ子ども

本年度の重点目標

(1) 「支え合い、高め合う学校」

(2) 「深く考え、表現する授業」

		自ら学ぶ 共に学ぶ		
たくましい体 たくましい心 ○チャレンジランニング ○マラソン記録会 ○全校体育 ○新体カテスト ○ながのスポーツスタジアム ○児童会活動	あいさつ ふれあい 支え合い ○あいさつ ○学年・学級づくり ○道徳・人権教育 ○交流活動 ○飼育、栽培活動 ○食育 ○児童会活動	授業改善 <国語> ・根拠を明らかにした自分の考えを書く読解学習 ・効果的な表現や慣用句を使つての短文作り ・読みとった内容を文章にするワークシート活用学習 ・6年間を見通した読む・書く <算数> ・覚えるべき事項(四則計算、公式、文章題、量と単位)の定着 ・文章題	ドリル学習 <国語> ・漢字とローマ字+読解 <算数> ・覚えるべき事項+文章題	家庭学習 <低学年> ・音読、計算などの基礎基本を中心に家庭学習習慣の定着 <中学年> ・基礎基本を継続的に取り組みながら、文章題にも取り組む <高学年> ・知識や技能の定着の課題だけでなく、それを活用する課題を意図的に出題
		全校研究テーマ「自らの課題を主体的に追及し表現する子どもの育成」 ☆確かな学力をつけるための検討、わかる授業をめざした授業改善と授業の公開 ☆評価基準の作成、評価を生かした指導のありかたの検討 ☆学年に応じた学習習慣のきめ出しと児童の実態に応じた指導 ☆児童の心に寄り添った授業研究		

◇年間の主な行事予定

月	行事予定	月	行事予定
4月	・一学期始業式・入学式・1年生を迎える会 ・避難訓練・授業参観・PTA総会	10月	・歯磨き教室・マラソン記録会・祖父母参観 ・PTAバザー・大町市連合音楽会(6年) ・縦割清掃・修学旅行
5月	・地区児童会・クラブ発足・家庭訪問 ・交通安全教室・マラソン記録会・児童総会 ・鑑賞音楽会	11月	・避難訓練・なかよし旬間・授業参観(人権) ・校内漢検大会・PTA作業・東小祭②
6月	・PTA作業・キャンプ(5年) ・歯の衛生週間・音楽会	12月	・読書旬間・地区児童会・保護者懇談会 ・二学期終業式
7月	・授業参観・東小祭①・プール開き ・地区児童会・一学期終業式	1月	・三学期始業式・そり教室(1・2年) ・来入見一日入学・スキー教室(5・6年) ・囲碁教室
8月	・二学期始業式	2月	・授業参観(低・中・高)・スキー教室(3・4年) ・児童総会・6年生を送る会
9月	・避難訓練・運動会・秋の遠足・長野見学(4年)	3月	・三学期終業式・卒業証書授与式・離任式

◇児童数および家庭数ならびに職員組織

【校長】鈴木 桂子 【教頭】松江 剛弘

学年	組	学級担任	児童数(人)			家庭数
			男子	女子	合計	
1年	1組	山岸 澄雄	10(1)	8	18(1)	6
	2組	金光 泉	11(1)	7	18(1)	9
2年	1組	石川 美和	17(1)	15	32(1)	19
3年	1組	島田みど里	16(1)	10	26(1)	17
4年	1組	浅岡 剛	10(1)	10	20(1)	15
	2組	北脇 康史	11	9(2)	20(2)	19
5年	1組	鈴木 康貴	12	10	22	20
	2組	高橋沙矢香	9(1)	12	21(1)	21
6年	1組	蓑輪 勝枝	8	10	18	18
	2組	宮沢 和也	8(1)	10	18(1)	19
ねむの木		日下 佳與	5	2	7	
すぎの子		林 裕恵	2	0	2	
合計			112(7)	101(2)	213(9)	163
専科教員等		校 医				
音楽専科	倉澤 悦子	内科・外科	石曾根滋雄			
学習習慣形成	篠崎 千恵		平林 秀三			
教育支援員	矢口 淑江	耳鼻科	平林 源			
心の教室相談員	徳嵩 さよ	歯科	横澤 賢樹			
子どもと親の相談員	高山 茂子	眼科	上條 千恵			
養護	平林 聡子	薬剤師	林 健太郎			
司書	蓮井 冬華					
主査	宮下 美恵					
事務	伊藤千鶴子					
校務員	西澤 賢二					
栄養士	芳村 寛恵					
調理員	降籙 秀子					
	降旗 幸子					
	太谷 恵美					
育休	奥原 樹理					
休職	石田 昌紀					

◇地区児童会活動および担当職員

地区名	児童数(人)	家庭数(人)	担当職員
五日町の出町	6	4	北脇
神栄町	31	26	山岸
旭町	20	14	蓑輪
昭和電工	11	9	浅岡
仁科町	8	6	倉澤
光明町			
八日町	22	15	島田
東町			
下白塩町			
下仲町			
宮本	16	12	石川
曾根原田	13	11	林
曾岡			
山下	10	6	日下
館之内	27	20	宮沢
社団地	29	18	平林、鈴木
松崎	29	22	高橋、金光
学区外	0	0	-
合計	222	163	-

◇特色ある教育活動

～地域の人に学び、地域の自然・文化・生活を生かした体験的活動～

【1年生】「自然を楽しもう」

・季節を感じて、春夏秋冬、豊かな自然の中で多くの体験活動を行います。春(春さがし)、夏(七夕、あさがおを育てよう)、秋(秋さがし、どんぐり遊び)、冬(雪遊び、そりすべり)

【2年生】「うさぎの飼育活動」

「大豆を育てる」

・うさぎの飼育を年間を通して行い、生命の大切さを学びます。大豆を育てる栽培活動では、大豆を育てて観察し、豆腐作りなどの調理活動を体験します。

【3年生】「地域の探検」

・社会科や総合の学習と関連させ、自分たちの住む地域を歩いたり、訪ねたりして、地域から学び、いろいろ発見します。

【4年生】「共に生きることに

ついて学習しよう」

・お年寄の施設への訪問・交流や障がい者に関する学習など、相手が望むことや自分たちにできることを考え、活動します。

【5年生】「お米作りの1年」

・社会科、理科、総合的な学習の時間を関連させて、「お米作り」を行います。土作り、田植え、水の管理、収穫…と、手作業で地域や保護者の方々にも協力してもらいながら育てます。

【6年生】「学校づくり」

「地域理解」

・自分たちが願う大町東小学校をつくり上げていく活動を行っていきます。また、地域を見つめ直し、地域のよさを発信する活動を行っていきます。

【すぎの子】「地域探検」

「調理活動」

・学校のまわりを探検し、たくさんの自然や地域の方とふれあっています。また、地域の素材を使った調理活動などを通して、集団行動や対人関係のスキルを身につけていきます。

◇児童会活動および担当職員

委員会	担当職員
本部	蓑輪
代表委員会	北脇
図書委員会	倉澤、蓮井
飼育栽培委員	鈴木、山岸
健康委員会	平林、芳村
運動委員会	宮沢、石川
放送委員会	浅岡、林
ふれあい委員	高橋、日下
清掃委員会	島田、金光

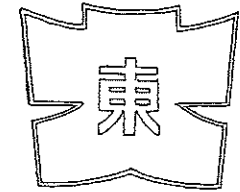
◇平成26年度 夏期日課表

☆校舎開門 7:30

時間	曜日	月	火	水	木	金	備考
♪ 8:20 8:25	朝の活動	読み聞かせ 全校読書 職員朝会	全校体育	全校集会	緑の時間 学級の時間	全校音楽	ウエストミンスター の鐘
8:40 ★ 8:45	朝ドリル	アルプスタイム					エーデルワイス
★ 8:55	朝の会	朝の会					エーデルワイス
★ 9:05	1	1	7	13	18	24	ウエストミンスター の鐘
9:50 9:55	2	2	8	14	19	25	ウエストミンスター の鐘
★ 10:40 ♪ 10:55 ★ 11:00	3	3	9	15	20	26	ウエストミンスター の鐘
11:45 11:50	4	4	10	16	21	27	ウエストミンスター の鐘
★ 12:35	給食	給食					ウエストミンスター の鐘
♪ 1:30 1:35	清掃	清掃					ウエストミンスター の鐘
♪ 1:50 ★ 1:55	5	5	11	17	22	28	ウエストミンスター の鐘
2:40 2:45	6	6	12	帰りの会 2:55	23	29	
3:30 3:35	帰りの会	帰りの会	帰りの会	個別指導 の時間 3:30	帰りの会	帰りの会	
3:45	♪ 3:55 下校 スクールバス	1便 3:30 2便 4:10	1便のみ 3:40	1便 3:30 2便 4:10	3:45	学年会	ウエストミンスター の鐘
★ 4:30 ★ 4:40 ★ 4:55	完全下校 職員諸会合	重点研究会 教科研究会	★ 4:45 職員会・教務会	★ 4:55 職員会・教務会	学年会	学年会	ウエストミンスター の鐘

★—チャイム ☆—ドリル開始・終了のチャイム ♪—放送音楽（予鈴）
※月にクラブがある場合（2:45～2:55帰りの会 3:00～3:45クラブ）
※金に児童会がある場合（2:45～2:55帰りの会 3:00～3:45児童会）

校章の由来

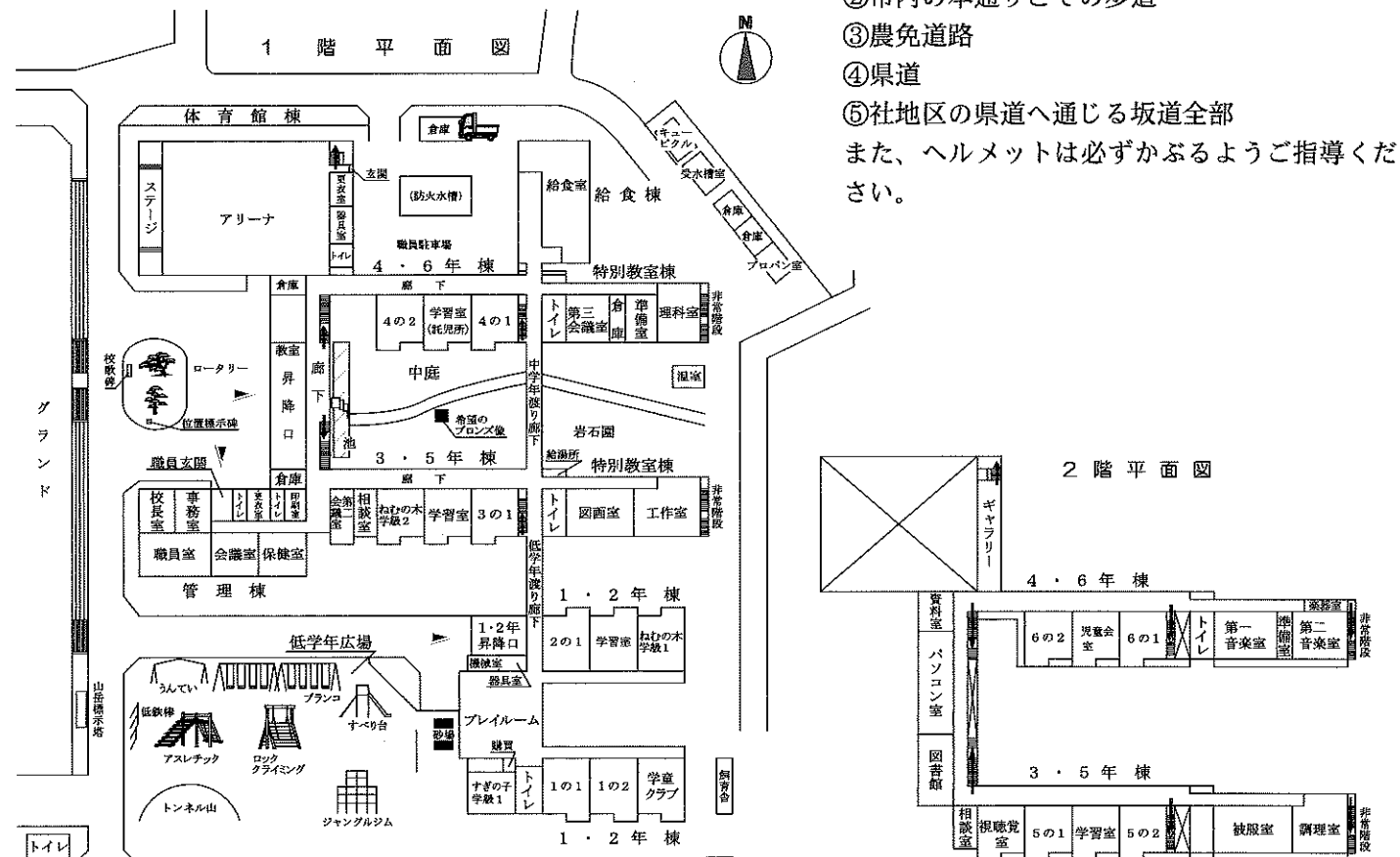


大町市の「大」の字の中央に東小学校の「東」の字がレイアウトされている。「大」の字の上部は険しく、下部は安曇野の広さ暖かさを表現している。この学校から巣立つ子どもたちが健康で幸福になってほしいとの願いを込めて、市内小中学校の美術の先生方によってデザインされた。

◇おうちのかたへお願い

- 欠席、遅刻等の際は、できるだけ連絡帳等、文書でご連絡ください。
- 授業参観で学校においでになる時は、児童昇降口をご利用ください。参観日以外で個別で来校される時は、必ず職員玄関から入り事務室に声をかけてください。
- 児童の登下校は徒歩が原則となっております。やむを得ず車で送迎する場合、遊んでいる子どもの安全のため、車の乗り入れは校門までとしてください。
- お子さんが自転車に乗ってよい道路は、ご家庭の責任において、お子さんと決めてください。特に次の道路は危険ですので家の人の許しがなければ乗ってはいけません。
 - ①山岳博物館へ続く神栄町の坂道
 - ②市内の本通りとその歩道
 - ③農免道路
 - ④県道
 - ⑤社地区の県道へ通じる坂道全部
 また、ヘルメットは必ずかぶるようご指導ください。

◇大町東小学校 教室配置図





学校概要

平成26年度



大町西小学校校歌

藤沢古実 作詞
高木東六 作曲

日本の屋根よ	信濃なる	北安曇野の	大空に	朝日の光	照り映ゆる	大山脈の	峯々や	千古の雪を	頂きて	我等をいただき	そびえたり	瀬の音清き	高瀬川	三湖に澄みし	水みちて	流れ静けき	農具川	祖先ら代代に	ひらきたる	仁科の里の	ゆえふかき	我等は此処に	生まれたり	豊かに広き	学園に	楽しからずや	集い来て	明るき窓に	大庭に	まことのおしえ	学びつつ	心をみがき	身をきたえ	我等正しき	人たらん	世界の文化	日に進む	ひらけしゆく	て思わばや	希望に燃ゆる	この我等	睡び励まん	時の間も	わが大町の	名を負いて	つとめ果さん	もろともに	ああ秀霊の大自然	わが学園に光あれ
--------	------	-------	-----	------	-------	------	-----	-------	-----	---------	-------	-------	-----	--------	------	-------	-----	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-----	--------	------	-------	-----	---------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	--------	-------	--------	------	-------	------	-------	-------	--------	-------	----------	----------

長野県大町市立大町西小学校

学校所在地

〒398-0002 長野県大町市大町4773-3番地

TEL (0261)22-0019 FAX (0261)22-1133

学校コード 7421

北緯 36°30' 東経 137°51'

標高 729.7m 校地面積 34,795㎡

Home Page <http://www.city-omachi.ed.jp/nishisho>

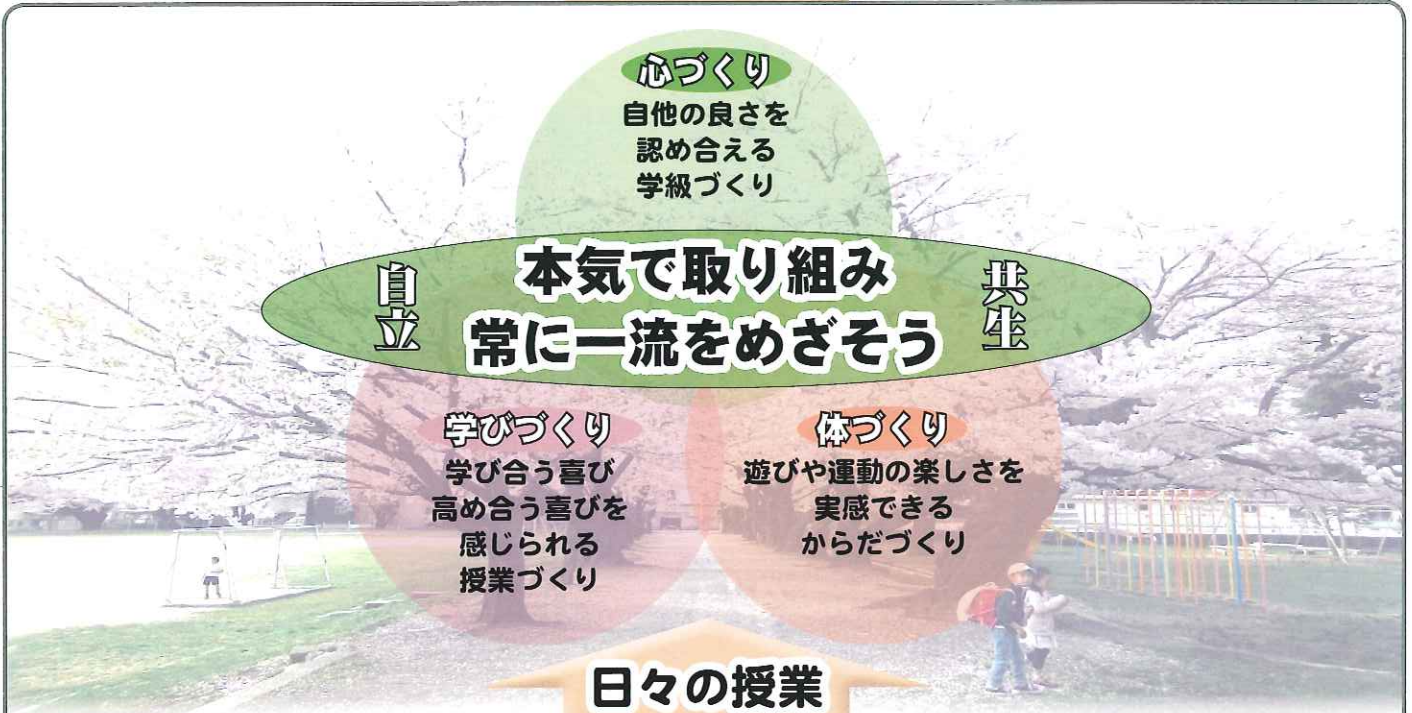
E-mail nishisho@nishisho.city-omachi.ed.jp

1 平成26年度 本校の求める教育の願い(グランドデザイン)

学校教育目標 ●たくましい子どもに ●思いやりのある子どもに ●進んでやる子どもに

《めざす子ども》 ◎この学校で学べて本当によかったよ

- ・やる気ができたよ
- ・わかるようになったよ
- ・みんなの役に立ったよ
- ・こんなにがんばれたよ
- ・できるようになったよ
- ・いい友だちができたよ



心づくり

- めざせ清掃達人 さしすせそうじ なかよし清掃
- 相手が喜ぶ挨拶 笑顔で ハキハキ 自分から
- もっと仲よし交流活動 聴こう 話そう 一緒にやろう

学びづくり

- 個の学びと友との学び合い 分かる喜びやできる喜びを感じられる授業・教育活動
- チャレンジタイムの活用 基礎基本の定着と活用力向上
- 家庭学習の習慣形成 家庭学習の手引きを参考に

体づくり

- 元気に西小サーキット 器具・遊具 他者と関わる 全校体育
- 楽しさ味わう体育学習 運動が持つ特性を生かして
- 日常に生きる健康教育 生活を振り返り 自分の体に関心を持つ

研究テーマ：学び合い、高め合う子どもたちを育てる

教職員の姿勢

◎自律性と同僚性を発揮し、共に成長する教職員集団

- 全ての子どもの可能性を信じきる教職員集団
- ・できないことをできるように
- ・全ての子どもに○を

- 人間力と指導力を磨き合う教師
- ・自己練磨の研究、研修
- ・支え合う温かさと叱正し合う厳しさ

信頼関係の構築

学校
自己評価

保護者・地域の方々に支えられながら共に歩む学校

保護者子ども
アンケート

- ・西小桜の木を守る会
- ・清風会
- ・十日会

- ・各種ボランティア
- ・読み聞かせ・ATL
- ・外部講師

- ・PTA
- ・さんぼみち
- ・ちゃんちゃん会

- ・学校評議員会
- ・子どもを守る地域連絡会

2 各学年運営の重点

一・二年	①誰にでも自分から大きな声であいさつをする子どもに。 そうじをだまって一生懸命やる子どもに。 ②友だちの考えを聞き、自分の考えを言う子どもに。 ③元気に外で遊ぶ子どもに。
三・四年	①進んであいさつ。気づき清掃をする子どもに。 ②進んで学習し、自分なりの考えを持ち表現する子どもに。 ③体力向上に進んで取り組む子どもに。
五・六年	①いつでも誰にでも、心の通い合う挨拶をする子どもに。 汗をかき、気づきの清掃をする子どもに。 ②響き合う学習にすため、自分の課題をもって取り組む子どもに。 ③進んで体を動かし、粘り強く体を鍛える子どもに。

3 職員組織

【校長】梅牧 力

【教頭】縣 邦彦

【教務主任】栗林 聡（諸表簿・儀式的行事・PTA・情報管理・教務学年主任会）

【教務副主任】井口 博司（教務主任補佐・学校評価・生徒指導・地域連携）

【教務】古田 弘実（補充計画）佐藤 秀樹（学校安全・情報管理）柏原 金一（時間割）木下 美智子（研究主任）

【特別支援教育コーディネーター】米窪 由紀・西澤 良恵

【道徳推進教師】古田 弘実

【地域連携】佐藤 秀樹

【保健主事】榊澤里依子 【司書教諭】佐原 美佳 【事務主任】林 美由紀

(○主任)

学年	学級	担任	男子	女子	計	学年	学級	担任	男子	女子	計	
1	1	○木下 美智子	11	12	23	5	1	○井口 博司	14	13	27	
	2	柏原 金一	11	12	23		2	中澤 真一	15	12	27	
2	1	○古畑 玲子	13	11	24	6	1	○栗林 聡	11	13	24	
	2	小川 瑠夏	13	10	23		2	安田 翔三郎	11	13	24	
3	1	○佐藤 秀樹	14	12	26	さくら	○西澤 良恵	全校児童 297人 家庭数 232家庭 (5月1日現在)				
	2	梨子田 幸子	15	11	26	あおぞら	太田 久美子					
4	1	○古田 弘実	13	12	25	ことば	米窪 由紀					
	2	佐原 美佳	13	12	25	院内	休 級					
専科	理科 音楽	有賀 圭子					図書館司書	山本 敬子	〈補助指導員〉 高木 理			
		千葉 敦子							〈心の相談員〉 横川 ちひろ			
養護		榊澤 里依子					校務	青木 崇	太田 明子			
栄養		原 千夏					給食調理	○降旗 清 伏見 まゆみ	三上 徳香			
事務		林 美由紀	後藤 ひろ子									
【校医】〈内科：保健管理医〉南 勇樹 野田 俊輔 〈耳鼻科〉平林 源 〈眼科〉上條 千恵 〈歯科〉飯沢 幸喜 高橋 京子 〈薬剤師〉香川 貴亮 〈職員健康管理医〉南 勇樹												



大町西小学校沿革概要 (抜粋)

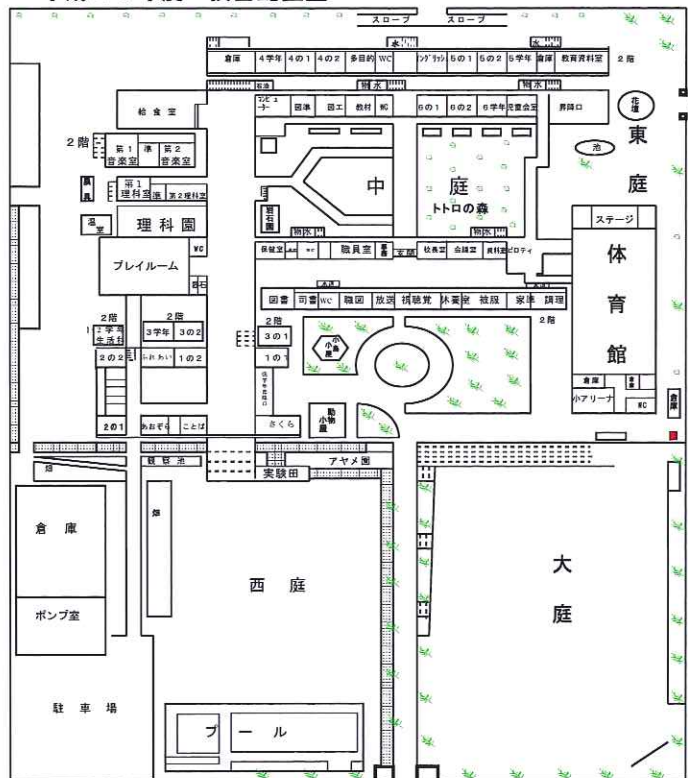
- 明治5.6.25 筑摩県第十小校「入徳館」と称し、松本藩代官所を仮校として開校。(1872年)
- 6.4 開校之日 七日・男学校 入徳館(旧陣屋) 八日・男学校 小松氏(泰念寺) 九日・女学校 越智氏(寄合所) 十日・女学校 近藤氏(荒神)の入学通知
- 7.5.23 文部省により仁科学校開校の許可、新学制による仁科学校を設立する。木船学校・借馬学校・野口学校・海稲学校・中綱学校の五支校をおく。
- 7.8 下仲町2546番地に仁科学校を新築落成。
- 19 学制改正のため、大町、平、社の三村を一学区として本校を大町におき「大町小学校」とよぶ。
- 21 学制改正のため「大町尋常小学校」とよぶ。
- 25.4 学制改正のため、尋常科、高等科の二科をおき、「大町尋常高等小学校」となる。
- 30.5 校地を白塩地籍に移し、新築校舎の落成式を行う。
- 45.4 大町尋常高等小学校に町立大町実科高等女学校を併設。
- 大正11.4 町立大町実科高等女学校が県立大町高等女学校となる。
- 昭和5.9.28 校地を現在の位置に移し、新築移転の落成式を行う。
- 12.10.24 講堂落成式を行う。
- 16.4.1 国民学校令が実施され、「大町尋常高等小学校」を「大町国民学校」と改められる。
- 17.3.20 一号校舎が増築され、同時に校庭が拡張される。
- 22.4.1 新学制が施行され「大町小学校」となる。(1947年)

- 23.9 大町小学校PTAが組織される。
- 23.10 学校給食が始められる。
- 23.10 校内放送施設が設けられる。
- 25.2 学級文庫を統合し児童図書館が設けられる。
- 26.3 大町小学校校歌が制定される。
- 27.6 本校敷地内に独立した児童図書館が新築される。
- 29.3 校章を改める。
- 30.11 給食室新築、完全給食実施。
- 36.7 低学年用プール新設。
- 43.9 2号校舎焼失。
- 45.1.31 新校舎落成。(2、3号校舎)
- 46.10.26 大町小学校開校百年記念式典を挙げる。開校百年記念誌発行。
- 52.4.1 大町北小学校が新設され、三日町、俵町、不二塚、東中原、中原町、大原町、栄町、大原2号団地、高瀬入りが大町北小学校に移る。
- 56.4.1 大町東小学校開校。
- 59.4.1 大町西小学校竣工、開校式。(校名変更)(1984年)
- 59.7 校地内西庭にプール完成。
- 60.8.25 教育資料展示室完成、一般公開。
- 平成5.3.3 東体育館とのお別れ会を行う。
- 5.12.5 講堂お別れ記念音楽会が行われる。
- 6.3.24 体育館竣工式が行われる。
- 6.3.25 講堂取り壊し。
- 6.10.1 トトロの森造られる。
- 7.7.25 コンピュータ教室改造、コンピュータ22台設置。
- 19.1.31 コンピュータ新設。(コンピュータ教室、職員室)

平成26年度 日課表 大町西小学校

時刻	月	火	水	木	金
(学習準備の時間)					
8:20	【全校読書】 【全校作業】 朝の会	【全校体育】 【学年体育】 朝の会	【校長講話】 【全校音楽】 朝の会	【職員朝会】 【全校読書】 朝の会	【児童集会】 【学級朝の会】 朝の会
8:50	1	1	1	1	1
9:35					
9:40	2	2	2	2	2
10:25	休み時間				
10:50	3	3	3	3	3
11:35					
11:40	4	4	4	4	4
12:25	給食				
13:25	清掃				
13:40	チャレンジタイム				
14:00					
14:05	5	5	5	5	5
14:50					
14:55	6	帰りの会		6	6
15:40		6 児童会・クラブ			
15:45	帰りの会			帰りの会	
15:55					
校舎を出る時間	16:10		15:15		16:10
完全下校	16:30 (4月~10月)		16:10 (11月~3月)		

平成26年度 校舎配置図

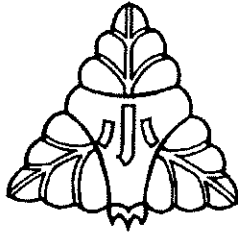


《相談窓口等について》

○心配なことがありましたら、担任、担当者の他、次にもご相談ください。

- ・校長室(きいてねルーム)
 - ・保健室
 - ・PTA会長
 - ・メール
- nishisho@nishisho.city-omachi.ed.jp

大町市立大町南小学校



学校要覧

平成26年度



大町南小学校校歌

関口 武 作詞
飯沼 信義 作曲

一、大町南小学校

ここは瞳のかがやく広場
明るいあいさつ呼びかう広場
きょうもともだちいつばいだ
ほほえみかわす顔と顔
さしのべる 心の手
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
結ぼう 互いの心のきずな

二、大町南小学校

ここは力のみなぎる広場
すてきな若さのはじける広場
ホップ ステップ さあジャンプ
流れ出る 熱い汗
高鳴る 鼓動のハーモニ
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
作ろう磨こう からだとこころ

三、大町南小学校

ここは光のあふれる広場
みどりの風のながれる広場
大地のぬくもり 樹のかおり
冴えわたる 高い空
自然のめぐみがいつばいの
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
学ぼう励もう 未来をめざして

〒398-0004 長野県 大町市 常盤 3543-1
TEL. 0261-22-0521 FAX. 0261-22-0647
E-mail : minamisho@minamisho.city-omachi.ed.jp

◆標高 685m
◆東経 137度51分
◆北緯 36度27分

◆本校のあゆみ

明治5年学区制の発布により、上一本木・西山等の各村に学校が設立され、明治22年常盤小学校が誕生した。昭和5年現地に移転し、昭和29年町村合併により大町市常盤小学校となり、昭和62年新校舎改築を機に「大町市立大町南小学校」として新しく出発することになった。

常盤は安曇野の北部に位置し、高瀬川と乳川による扇状地が開けた平坦地で、その中央を国道147号線と大系線が走っている。ここは水田とリンゴ畑が点在する農村地帯として発展してきたが、最近では、団地や住宅地が新しく造成整備され、兼業農家がほとんどとなってきている。

土地の人々は、多くの苦勞と不屈の精神力・団結力をもって、荒れた扇状地を開墾し、豊かな水田地帯を作り上げた。この常盤魂が、明治以来、文化・スポーツ面に伝統的に引き継がれてきた。常盤地区では、地区や常盤全体で運動会を開いたり、地区対抗の駅伝を行ったりしている。このことは同時に、学校教育に寄せる期待の大きさを物語っているとよい。

◆職員構成

職務	氏名	職務	氏名	職務	氏名	
校長	手塚善雄	ときわ学級	相澤久美子	校務員	仲田宏勝	
教頭	浅原昭久	松ヶ根学級	柏原さとみ	栄養士	柄澤麻子	
1年1組	臼井久美子	かしわ学級	竹内奈緒子	給食	松倉吉秀	
1年2組	相澤尚子	れんげ学級	岡田清岳		堀田栄子	
2年1組	細萱恵美	まなびの教室	川尻雪恵		宮嶋和代	
2年2組	松本洋輔	理科専科	福岡泰仁		関川雅子	
3年1組	高山美和子	音楽専科	小林さや香	校医	内科	菊地宙恵
3年2組	堀内卓	養護教諭	丸山初衣		内科	柿下徹
4年1組	由井正史	少人数学習指導	吉田千秋		眼科	上條千恵
4年2組	石井邦雄	教育支援員	丸山美智子		歯科	平林昭光
5年1組	吉澤正彦	心の教室相談員	嶋田美枝		歯科	砂田修
5年2組	等々力由美子	事務主事(県)	吉澤昌宏		耳鼻科	平林源
6年1組	中村昇	事務(市)	降旗万喜	薬剤師	阿部公子	
6年2組	臼井敬子	司書	長澤由枝			

◆学級編成

() 内数

学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年		ときわ	松ヶ根	かしわ	れんげ	合計
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2					
男子	17	17	15	15	9	8	13	13	13	13	16	16	(1)	(3)	(4)	(6)	165
女子	11	11	7	7	21	21	12	12	21	21	20	20	(3)	(4)	(1)	(0)	184
合計	28	28	22	22	30	29	25	25	34	34	36	36	(4)	(7)	(5)	(6)	349
家庭数	10	10	13	14	16	18	24	22	33	34	36	34					264

◆地区児童数

(4月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	地区担当
泉	7	4	2	3	5	1	22	竹内 由井
清水	11	7	10	12	14	15	69	中村 川尻 小林 柏原 福岡
西山	3	3	7	5	7	7	32	松本 高山
須沼	7	1	6	6	7	7	34	臼井久 石井
下	9	8	8	7	9	13	54	細萱 相澤久
上	19	21	26	17	26	29	138	臼井敬 吉澤 堀内 岡田 等々力 丸山 相澤尚
合計	56	44	59	50	68	72	349	

◆日課表

平成26年度

時間	月	火	水	木	金
8:20	7:30開門		8:15までに登校		
15	朝読書 (職朝)	朝読書 読み聞かせ	校長講話 学級の時間	全校音楽 全校体育	学級の時間 児童集会
8:35	朝の会				
8:45	1校時 8:45~9:30				
95 (含5分移動)	2校時 9:35~10:20				
10:20	業間休み				
25 (含5分移動)					
10:45	3校時 10:45~11:30				
95 (含5分移動)	4校時 11:35~12:20				
12:20	給食・昼休み				
60 (含5分移動)					
1:20	清掃 1:20~1:35				
15					
1:35	ホップステップ 1:40~1:50 <small>【ホップステップタイムは 国語・算数のドリルの学習時間です。】</small>				
20 (含10分移動)					
1:55	5校時 1:55~2:40		5校時 1:55~2:40	5校時 1:55~2:40	5校時 1:55~2:40
95 (含5分移動)	6校時 2:45~3:30		帰りの会 2:40~2:55		6校時 2:45~3:30
3:30	帰りの会 3:30~3:45		完全下校 3:00	クラブ・児童会 3:00~3:45	帰りの会 3:30~3:45
15					
4:00	完全下校 4:00		完全下校 4:00		完全下校 4:00

◆年間行事予定

4月	1学期始業式、入学式、1年生を迎える会、避難訓練、児童総会、参観日(全)、家庭訪問	9月	運動会
5月	家庭訪問、地区児童会(集団下校)、2年電車遠足、交通安全教室、3年西山城趾、音楽鑑賞会、1年遠足、観劇教室、防犯教室、6年修学旅行、PTA作業	10月	大町市連合音楽会、2年秋の遠足、土曜参観日、PTAバザー、学校保健委員会
6月	5年キャンプ、校内音楽会	11月	避難訓練、マラソン記録会、PTA作業、参観日(全)、児童会祭り
7月	プール開き、引き渡し訓練、4年長野見学、参観日(低・高)、6年社会科見学、3年大町見学、地区児童会、1学期終業式	12月	保護者懇談会、地区児童会、2学期終業式
8月	2学期始業式、避難訓練	1月	3学期始業式、集団下校、中学校一日入学、そり教室1・2年、スキー教室3・4・5・6年
		2月	来入児一日入学、児童総会、参観日(低中高)
		3月	6年生を送る会、地区児童会、3学期終業式、卒業式

◆校章由来



柏葉、松の葉、餓鬼岳を基調に三角形の頂点は餓鬼岳を、底辺は流れ出る高瀬川と乳川を表し、その中に開けた常盤を意味している。ゆずり葉の名の如く、次代の子もたちが常盤の松のように、不変の意志と餓鬼岳のように雄々しくたくましい心身をもった子どもに育てほしいとの願いをもっている。デザインは松岡理三郎先生。

大町南小学校の教育

<めざす学校像>
 ☆生き生き学ぶ
 笑顔いっぱいの学校
 ☆子どものよさを伸ばす
 魅力のある学校
 ☆地域の期待と信頼に応える学校

《学校教育目標》
 ◎よくまなぶ子
 ◎なかよしの子
 ◎あかるくげんきな子

<めざす子ども像>
 ☆人の考えをよく聞き
 はっきり自分の考えを伝える子ども
 ☆友だちを大切にし、協力する子ども
 ☆進んで運動をし、体と心を鍛える子ども



本年度の重点目標
すすんであいさつ すすんで運動



◎まなぶ (智)	◎なかよし (徳)	◎げんき (体)
<p>★意欲をもって粘り強く 学習に取り組む子ども</p> <p>★基礎・基本を身につけ 自分らしく表現する子ども</p>	<p>★お互いを認め合い 協力する子ども</p> <p>★明るく 礼儀正しい子ども</p>	<p>★いろいろな運動で 体を鍛える子ども</p> <p>★目標に向かって(清掃・係活動) やりとげる子ども</p>
<p>○学ぶ楽しさ・学習意欲を 喚起する授業づくり</p> <p>○基礎・基本の確実な定着</p> <p>○言語活動の充実(表現・発表)</p> <p>○読み聞かせ・読書環境の整備</p> <p>○ホップ・ステップの時間の充実</p> <p>○家庭学習の習慣化</p>	<p>○個性を発揮し認め合い 磨き合う学級づくり</p> <p>○人権感覚を深める活動</p> <p>○明るい挨拶・返事の定着</p> <p>○姉妹学級・学年 ・たてわりの交流活動</p> <p>○校内・地域のボランティア活動</p>	<p>○環境を生かした体カづくり (松林マラソンなど)</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な 生活習慣・運動習慣の確立</p> <p>○健康・安全意識の育成</p> <p>○食育指導の充実</p> <p>○外遊びの奨励・充実</p>

<全校研究テーマ>
『自分の考えをもち、伝えることができる子どもの育成』
 重点研究教科 (社会・体育)



- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習 ・外国語活動 ・ときわの時間 ・読書、読み聞かせの時間 ・ホップステップの時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童活動(挨拶運動など) ・道徳の時間 ・音楽会 ・姉妹学級交流 ・課外活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動会・松林マラソン(水泳学習) ・給食や食育に関わる学習 ・清掃、係活動 ・避難訓練、交通安全教室 ・防犯、災害などに関する学習 |
|---|---|--|

きらり おおまち サン*プラン		リズムづくり
<p>こころづくり 「あいさつ」「読書」「おてつだい」</p>	<p>からだづくり 「歩き」「運動」「外遊び」</p>	<p>「早寝」「早起き」「朝ごはん」 「ルールを決めてスイッチオフ」</p>



学校要覧

平成26年度



大町北小学校校歌

作詞 藤野英人
作曲 飯沼信英

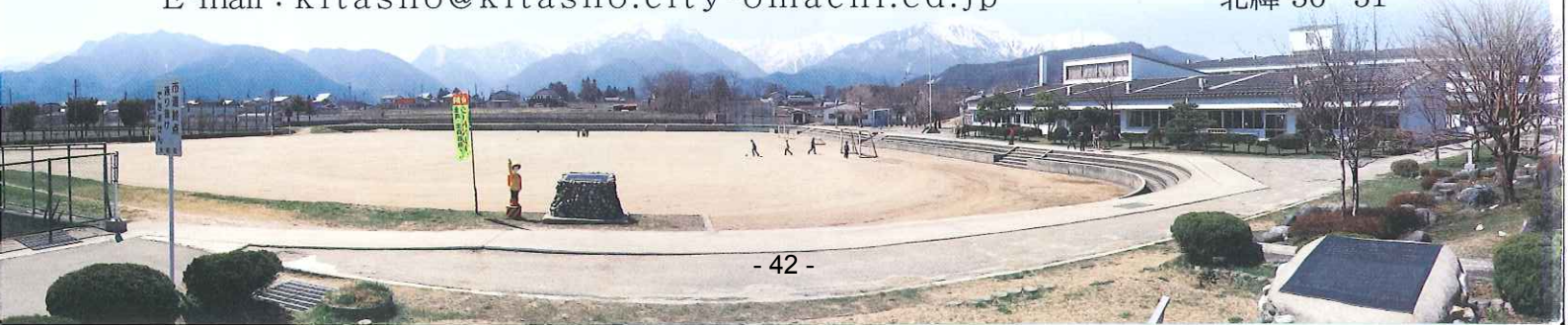
鹿島の脊に
 鏡の山を
 窓辺にせまる
 声ははるかに
 励もうわれら
 努力の先に
 静かに澄める
 青木・中綱
 心はよくむ
 せいら一ちこう
 体と心
 進む未来に
 豊かにて
 高瀬川
 学舎の
 旗かがけ
 可なりけ
 新たなり
 蓮華岳
 高くして
 学舎の
 こたまする
 たゆみこそ
 希望あり
 水崎湖や
 水清し
 学舎の
 暖か手と
 胸はて
 夢はあり

(平林 正貴 先生書)

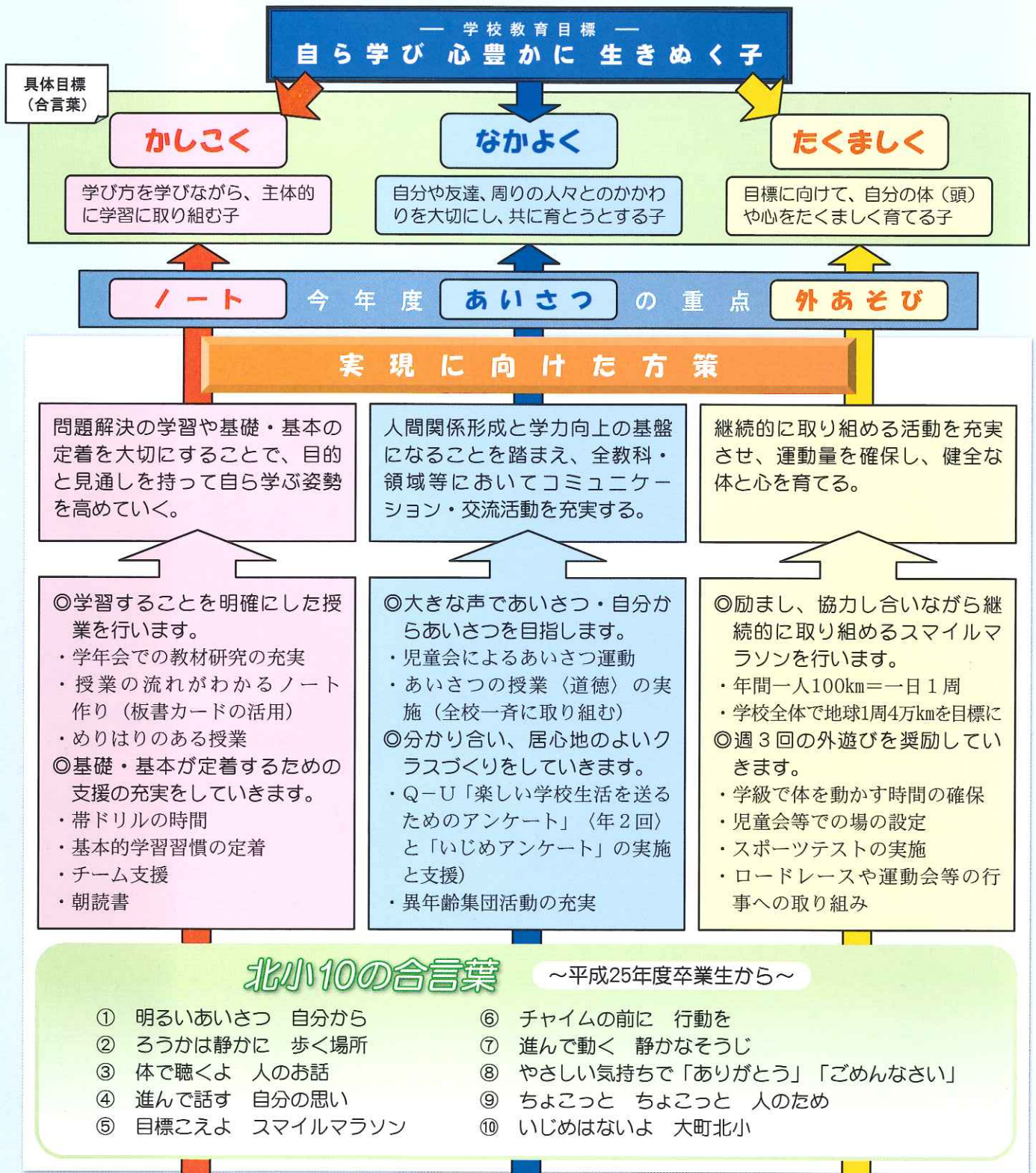
大町市立大町北小学校

〒398-0002 大町市大町5806番地8(俵町1丁目)
 TEL 0261-23-0190(代)/FAX 0261-22-0740/有線 23-0190
 E-mail: kitasho@kitasho.city-omachi.ed.jp

学校の位置 標高 759.1m
 東経 137°51'
 北緯 36° 31'




平成26年度 大町北小学校グランドデザイン【概略版】



あいサポ (あいうえおサポート)

学校と家庭で連携して子どもを育てるサポートプラン

あ あたたかい言葉がけと肯定的なかかわり!




い いっしょにつくろう生活リズム!



う うごかそう体、元気よく!



え えがおで挨拶・返事・靴そろえ!



お おおいに読書・家庭学習!



職員組織・学級教科担任・児童数

校 長	徳原 嗣久	教 務 学 年 主 任	渡邊いずみ	事 務 校 務 員	竹内真里子
教 頭	吉澤 基		山岡 勝則		佐藤 美穂
教 務 主 任	宮沢 和明		若松ゆみ子		降旗 誠一
副教務主任	小林 利章		竹内真里子		図書館司書 小野美由紀
教 務 学 年 主 任	望月 泰弘	保 健 主 事	若松ゆみ子	給食調理員	荒澤 力
	三澤 聖子	生徒指導主任	望月 泰弘		白澤由紀子
	小林 孝基	研 究 主 任	小林 孝基		藤巻 ゆき
	中澤 博子	養 護 教 諭	若松ゆみ子		石田和佳奈
	寺嶋 猛	栄 養 教 諭	奥原 秀子		西田 美香
	澁谷 元美				

校	内 科	伊東 由夫
		小野寿太郎
		松林 守司
医	耳 鼻 科	平林 源
	眼 科	上條 千恵
	歯 科	平林 昭光
佐藤 悟		
学校薬剤師		旗町 郁夫

年 組	氏 名	男子	女子	計	家庭数	年 組	氏 名	男子	女子	計	家庭数		
1	1 組	相澤 郁子	15	13	28	15	5	1 組	太田 年美	13	11	24	23
	2 組	○望月 泰弘	15	12	27	16		2 組	竹村 保子	12	11	23	22
	学習支援	伊藤三枝子						3 組	○寺嶋 猛	13	11	24	23
2	1 組	西澤 礼子	19	16	35	20	6	1 組	小林 利章	17	18	35	33
	2 組	○三澤 聖子	19	14	33	16		2 組	○澁谷 元美	16	19	35	34
	学習習慣形成	荻原 雅子						音楽専科	山崎 郁子				
1 組	一條 学	12	17	29	16	少人数算数(6年・4年)		降幡 瑞枝					
3	2 組	○小林 孝基	11	17	28	19	す ず ら ん	1 組	渡邊いずみ	3	2	5	3
	児童理解	山岡 勝則						3 組	堀口まり絵	4	1	5	4
	1 組	濱島 良太	18	15	33	27		理科専科・初任研指導教員	宮沢 和明				
4	2 組	○中澤 博子	18	15	33	23	初任研指導教員等授業補充	松田 玲子					
	学習支援	関 清美					心の教室相談員	伊藤三枝子					
	特別支援コーディネーター	山岡 勝則					合計		205	192	397	294	

○学年主任

(人数は5 / 1現在)

地区児童会

No.	地 区 名	担当職員	会 場	児童数	No.	地 区 名	担当職員	会 場	児童数
1	湖端	山岡	1 理	10	12	三日町	渡邊	学習室3	17
2	海ノ口	相澤	1-1	9	13	俵町1丁目	小林孝	3-2	27
3	稲尾・山崎・森・外堀・塩ノ原	小林利	6-1	17	14	俵町2丁目	関	学習室2	8
4	木崎・白樺・仁科郷	小林利	6-1	13	15	俵町3丁目	伊藤	児童会室	9
5	西原	堀口	学習室4	14	16	俵町4丁目	西澤	2-1	18
6	借馬	三澤	2-2	27	17	俵町5丁目	竹村	5-2	21
7	借馬団地	寺嶋	5-3	21	18	東中原町・不二塚町	中澤	4-2	12
8	野口東	宮沢	2 理	24	19	中原町	一條	3-1	22
9	野口西・日向山・高瀬入	濱島	4-1	15	20	大原町	澁谷	多目的	31
10	源汲・鹿島・温泉郷	若松	学習室1	16	21	栄町	山崎	2 音	30
11	二ツ屋・中花見・新郷	太田	5-1	27	22	大原2号団地・若原町	望月	1-2	9



校章



大町北小学校の校章は、大町市内の各学校から一名ずつ委員をあげて検討に検討を重ねて作られたものです。

大町市の「大」という文字をもとに、北小学校から眺めるあの雄大な北アルプスの山々を形どり、その中に北小学校の「北」を入れてあります。

また、それと同時に大町北小学校の子どもたちが大きな夢と希望に燃えて元気いっぱい胸を張って躍動している姿を図案化したものです。

「大」という文字の示すように、たくましく、すこやかな子どもに育ててほしいという願いがこめられています。

開校記念誌(昭和55年)より

平成26年度 日課表

夏日課(4月~10月) 冬日課(11月~3月)
※開始時刻の網掛け部分は、チャイムの鳴るところ

開始時刻	区分	曜日	月	火	水	木	金	
8:20			朝の会	学級指導・入場 8:25	学級指導・入場 8:25	学級指導・入場 8:25	朝の会	
8:30			読書	学級読書	全校集会 学級 8:45	すこやかタイム 音楽 他 8:45	ドリル (チャレンジ)	
8:45								
8:50								
8:55	1							
9:40								
9:45	2							
10:30			アルプスの時間					
10:45					(移動)			
10:50	3							
11:35								
11:40	4							
12:25			給食					
1:30			清掃					
1:45					(移動)			
1:50			ドリル					
2:00					(移動)			
2:05	5							
2:50								
2:55	6				帰りの会 3:05	帰りの会 移動3:05-3:10		
3:40					3:55 (児童会・クラブのある週のみ)	児童会 クラブ	帰りの会	
3:55			帰りの会	帰りの会				
完全下校(バス)			4:20(冬4:10) 1便 3:20 2便 4:20(冬4:10)		3:20 (3:20) (一斉)		4:20(冬4:10) 1便 3:20 2便 4:20(冬4:10)	

●下校時間の違いだけのため夏日課表、冬日課表は作成せず1年間同じ日課表にしています。

主な行事予定

4月	4日 一学期始業式・入学式 30日 交通安全教室	14~21日 家庭訪問	25日 参観日・PTA総会
5月	2日 避難訓練 27日 家族・地域参観日(人権を考える市民の集い)	15日 防犯訓練	
6月	4~5日 5年青木湖キャンプ	14日 春のPTA作業	26日 校内音楽会
7月	17日 参観日・北小バザー	25日 一学期終業式	26日~ 夏休み
8月	~19日 夏休み	20日 二学期始業式	
9月	4日 避難訓練	6日 秋のPTA作業	20日 運動会
10月	3日 市連合音楽会 25日 土曜参観日・北小縁日	8日 教育課程研究協議会(理科) 30日 4年長野見学	16~17日 6年修学旅行
11月	4日 高学年ロードレース大会 26日 参観日	10日 低学年ロードレース大会	18日 避難訓練
12月	11~17日 保護者懇談会 27日~ 冬休み	19日 児童会祭り	26日 二学期終業式
1月	~7日 冬休み 15日 すずらんそりスキー教室	8日 三学期始業式 16日 6年中学校説明会	27日 5・6年スキー教室
2月	3日 2年そり教室 20日 低学年参観日	6日 1年そり教室 26日 高学年参観日	10日 3・4年スキー教室
3月	3日 すずらん参観日 19日~ 春休み	17日 三学期終業式	18日 卒業式

※詳しくは年間行事予定表をご覧ください。

あいサポ (あいうえおサポート) 大町北小学校

あ あたたかい言葉がけと肯定的なかかわり!

- ① 子どもの話に耳を傾け、「ありがとう」「よくやったね」を口癖に(小さな頑張りを褒める。ちょっとしたことでも感激する。駄目なことは駄目と本気で叱る。)
- ② 「いってらっしゃい」「おかえりなさい」に一言添えて(安全意識)
- ③ 地域全体で子どもを育てる(どの子も褒める・叱る、社会の一員としての自覚、地域行事に参画し「体験」「ふれあい」を大切にしよう)



い いっしょにつくろう生活リズム!

- ① 早寝・早起き・朝ご飯・朝うんち(夕食前に宿題と明日の用意を済ませよう)
- ② テレビ・ゲーム等メディアに触れる時間の約束(ルールづくりは確実に)
- ③ 「いただきます」を一緒に。食事の後は必ず歯磨き。



う うごかそう体、元気よく!

- ① ゲームを減らし、明るいうちは外で体を動かそう。
- ② 親子で外遊び(散歩、キャッチボール、サッカーなど)・お手伝い
- ③ 延ばそう 歩こう 徒歩圏内(歩いて登校)



え えがおで挨拶・返事・靴そろえ!

- ① 一日の始まりは親子の挨拶から。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」「おやすみなさい」相手に聞こえる声で気持ちのよい挨拶を)
- ② 地域の方へ元気に挨拶(「オアシス」運動で、心と心をつなげよう)
- ③ 家でもやろう靴そろえ(けじめ・礼儀の習慣化)

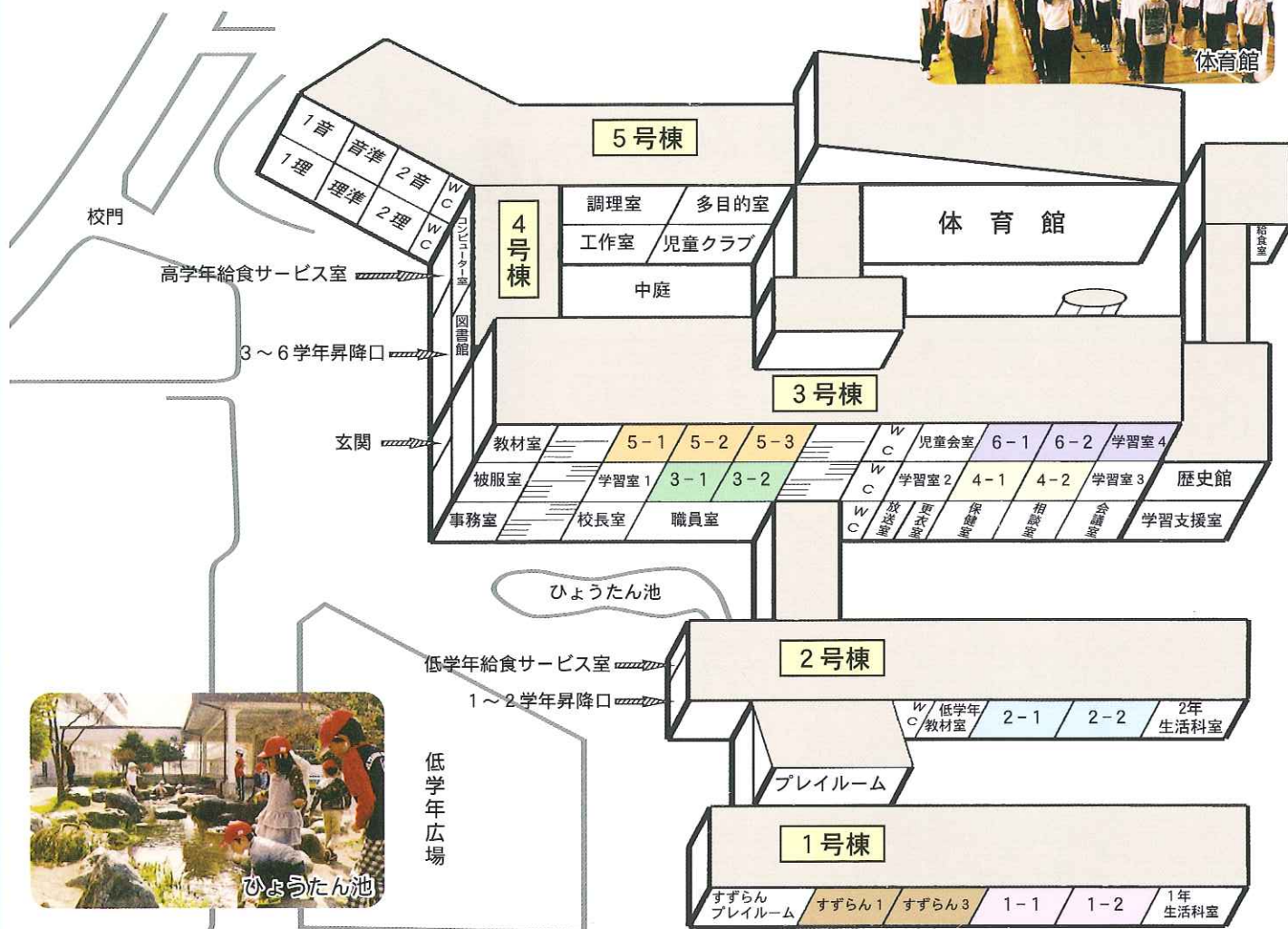


お おおいに読書・家庭学習!

- ① 学年×10+10分で家庭学習習慣づくり(「家庭学習の手引き」活用)(家庭での学習・生活チェック テストやドリルのやり直しの機会を)
- ② テレビを消して親子で読書(低学年では絵本の読み聞かせを日課に)。
- ③ 自然の触れ合いから好奇心を高め、体験を言語化する活動を。



教室配置図



平成26年度

大町市立八坂小学校学校要覧



校章の由来

八集落からなる旧八坂村の八坂の頭文字「八」を図案化している。

また、鷹狩・金戸 両山系に囲まれた心温かい郷土を象徴するデザインでもある。

学校所在地 〒399-7301 長野県大町市八坂1090番地

Tel 0261-26-2010 FAX 26-2144

E-mail yasakaes@yasakasho.city-omachi.ed.jp

URL <http://yasakasho.city-omachi.ed.jp/>

学校の位置 標高 748.34m

北緯 36° 29' 14"

東経 137° 54' 45"



沿革

- 昭和61年 八坂第一・第二小学校を統合し
八坂村立八坂小学校開校
- 昭和62年 八坂小学校校歌制定
八坂小学校校旗作成
新校舎敷地造成起工式
新校舎にて生活が始まる
プール完成
- 昭和63年 自転車置き場完成
- 平成2年 パソコン教室開設
- 平成4年 中庭の池完成
- 平成5年 FBC秋花壇 県知事賞
- 平成13年 玄関前木ブロック全面改修
- 平成14年 八坂村閉村式典参加
- 平成17年 FBC秋花壇 県知事賞
よい歯の学校表彰(優秀校)
- 平成18年 1月1日新大町市誕生
大町市立八坂小学校となる
- 平成19年 FBC秋花壇 文部科学大臣奨励賞
- 平成20年 FBC秋花壇 県知事賞
- 平成22年 FBC秋花壇 中日新聞社賞
- 平成23年 FBC春花壇 中日新聞社賞
- 平成25年 FBC秋花壇 県大賞
- 平成26年 全校50名でスタート
山村留学生39期生受け入れ

校歌

高橋 渡 作詞

中田 喜直 作曲

- 1 こぶし湧き咲く 春の日 青葉の夏よ
夢 美しくふくらませ
いきいきと育ちゆく
いのちのいのち もえる花
心は豊か ぼくもわたしも
八坂の小学生
- 2 かえで色づく 秋の日 吹雪の冬よ
意志 たくましく培って
はつらつと伸びてゆく
ちからのちから 翔ける鷹
心は強く ぼくもわたしも
八坂の小学生
- 3 光したたる ふるさと 未来の時よ
知恵 しなやかに磨きあげ
りんりんと進みゆく
のぞみののぞみ つける道
心は弾む ぼくもわたしも
八坂の小学生



平成26年度 グランドデザイン 大町市立八坂小学校

学校長の願い

- きらり輝く八坂小
- 共に学び共に育つ
- 自ら考え、表現できる

学校教育目標

- 「やさかの心」で
がんばる子ども
- やりぬく ○さがす ○かわいがる

地域の願い

- 知徳体の調和のある教育
- 挨拶や言葉遣いに配慮できる子
- 登下校の安全

～学びたい 学ばせたい きらり輝く 楽しい八坂小～

八坂学校コミュニティ（キーワード「つながる」）

地域と共に歩む（つくる まなぶ そだつ）

「さんがくきょういく」

の推進

三学教育

【個に応じた指導を基本にし、
三つの学びを大切にした教育】

- 学び合いの学習
全員発言／グループ活動／縦割り
班活動／行事の振り返り
- 体作り・健康作り・心作りの学習
マラソン／歯っぴーチェック／運
動の日／自分の時間（清掃を通して）
／挨拶運動／道徳教育／人権教育
- 基礎・基本の徹底
読書／音読／書く活動／はげみの
時間の活用／家庭学習の充実

山学教育

【地域環境を活かした体験教育】

- 八坂の自然にふれあい楽しむ体
験を大切にする。
 - 山間小規模校のよさを活かした
体験学習の充実
 - 体験を活かした教材化の推進
- <花作り>
地域の方と花作り／地域花壇／
地域への苗頒布／一人一鉢／F B
C参加
- <体験学習>
棚田の米作り／野菜作り／八坂
探検

参楽協育

【地域の参加参画により
共に楽しく学ぶ教育】

- 交流学习
郷土学習交流会（おやき、わら細
工、そば料理等）／みさか／保育
園／育てる会（通学合宿）／中学
校との交流
- 学習支援ボランティアの活用
米作り／授業支援／クラブ活動／
お話しカリヨン
- 地域事業との連携
かるたもちつき大会／文化祭／合
同運動会

目指す八坂学校

- 学校、家庭、地域、行政が共に元気な八坂を共に作り出す
- 八坂の人、自然、文化、産業について深く理解し、「ふるさと八坂」を誇り、大切にしていこうとする子どもの育成。
- 保、小、中の連携の中で知・徳・体をバランスよく育み、自分の成長を実感して次の段階に進んでいける子どもの育成。

全校研究テーマ

自ら進んで取り組み、自分の考えや判断によって行動することができる子どもの育成

～小人数を生かして～

開かれた学校づくり

- 信州型コミュニティスクールの推進 保護者、地域、保
育園、中学校、育てる会との連携
- PTA事業の推進 子どもたちの学びや育ちにつながる
活動（「八坂体験の日」などの企画、運営）
- 学校の公開 日常的に地域の方が来校できる環境作り

教師としての研鑽

- 自己課題を持ち、互いに共有しながら授業や子どもを通して
磨き合う。子ども理解。全児童を全職員で指導。
- わかる授業、楽しく力のつく授業の構築。積極的な研修参加。
ユニバーサルな授業。

校長	伊藤 浩光
教頭	中川 由香里
1学年担任	西山 行信
2,3学年担任	浅井 哲子
4学年担任	横山 絵里
5学年担任	小林 達月
6学年担任	村山 公一
複式支援員	縣 千晴
個別支援	篠原 春奈
専科	渡辺 野みち
養護	柳澤 智恵
事務	原 恵美子
栄養士	丸山 由美子
司書	太田 みどり
校務員	本間 早苗

学年	男子	女子	計	家庭数
1学年	3	6	9	3
2学年	0	2	2	0
3学年	4	0	4	2
4学年	5	5	10	10
5学年	2(2)	9(4)	11(6)	11(6)
6学年	5(1)	9(1)	14(2)	14(2)
計	19(3)	31(5)	50(8)	40(8)

()内は山村留学生内数

児童会

児童会テーマ

明るくあいさつ、元気な花、楽しさいっぱい八坂小

代表委員会
図書委員会
保健・給食委員会

購買・清掃委員会
スポーツ・放送委員会
花や緑委員会

日課表

(*印チャイム)	月	火	水	木	金	(*印チャイム)
8:30*	読み聞かせ (職員連絡会)	読書	全校集会 運動 校長講話	読書	学期の時間	8:30*
8:40	朝の会					8:40
8:50	1	1	1	1	1	8:50
9:35						9:35
9:40	2	2	2	2	2	9:40
10:25*	養 護 20分間					10:25*
10:45*						10:45*
10:50	3	3	3	3	3	10:50
11:35						11:35
11:40	4	4	4	4	4	11:40
12:25*	給食:いただきます (12:40) ごちそうさまでした (1:00) 始業式→教室集合 (1:23)					12:25*
1:15*	清 掃 15分間					1:15*
1:25						1:25
1:40*	はげみの時間					1:40*
1:45*						1:45*
1:55	5	5	5	5	5	1:55
2:40*	6	6	帰りの会	6	帰りの会	2:40*
3:25*	帰りの会	帰りの会	集団下校 3:05	帰りの会	児童会(3:45) クラブ(4:00) ない道は 学級・教科	3:25*
3:40	放課後	放課後	職員会議 3:25~	放課後		3:40
3:45または4:00	下校 (冬下校 3:50)		職員連絡会			3:45または4:00
4:15	重点研究	教材研究 諸会合	職員研修 諸会合	学年会	諸会合	4:15
4:20						4:20
5:00*	(職員退校) (夏日課4/5~10/31, 冬日課11/1~3/18)					5:00*

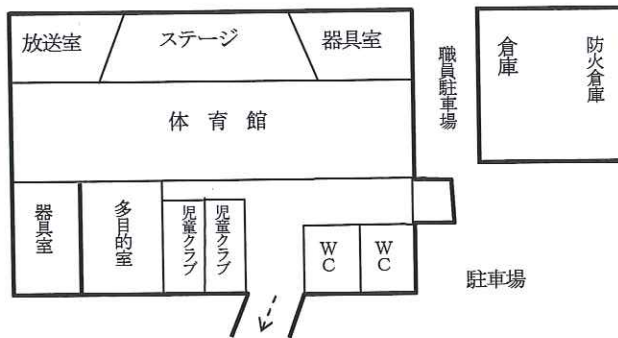
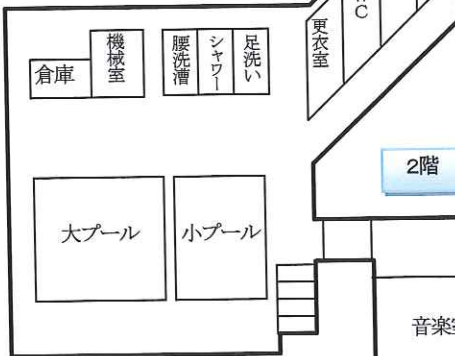
◇ 主な学校行事

月	行事予定
4	4日 入学式・始業式 9日 交通安全教室 16日~家庭訪問(3日間) 18日 避難訓練 26日 参観日①
5	2日 遠足 24日 参観日②・PTA親子作業 28日~5年通学合宿(5日間)
6	4日~6年修学旅行 (1泊2日東京方面) 26日 避難訓練(不審者) 28日 音楽会
7	10日 参観日③・救急法講習会 18日 5年海の学習(新潟方面) 25日 1学期終業式 26日~夏休み(8/19まで)
8	20日 2学期始業式 23日 小中合同PTA作業 27日 避難訓練(含引渡訓練)
9	14日 地区合同運動会
10	3日 大町市連合音楽会 18日 八坂小体験の日 21日 4年社会見学(長野市) 27日 避難訓練
11	7日 郷土学習 参観日④ 17日 参観日⑤ 20日 5年工場見学
12	4日~保護者懇談会(4日間) 26日 2学期終業式 27日 冬休み(1/7まで)
1	8日 3学期始業式 15日 スキー教室
2	7日 参観日⑥
3	17日 3学期終業式 18日 卒業式 19日~春休み

◇ 学校生活の様子（主な行事・活動）及び 校舎配置図



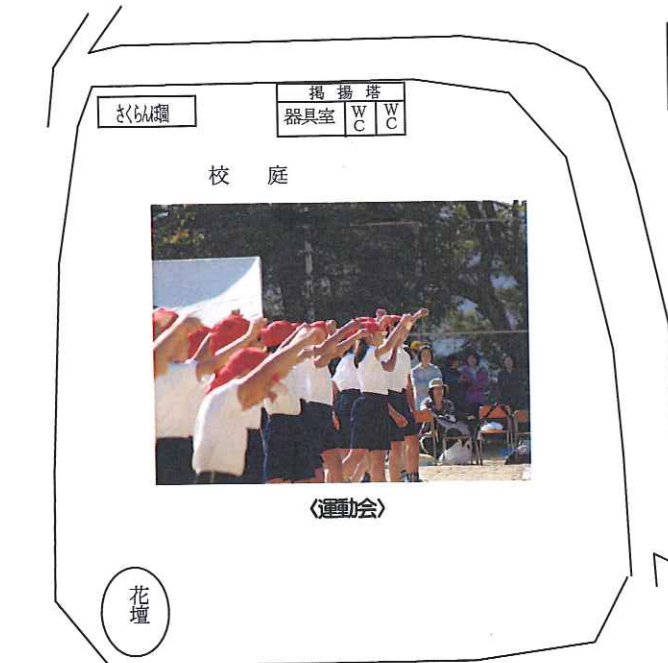
〈棚田作り〉



〈校内音楽会〉



〈修学旅行〉



〈郷土学習交流会〉



〈スキー教室〉



〈花作り(定植)〉



〈きのこの植園〉

平成26年度 学校要覧

自律した学習者が育つ夢の合校



大町市立美麻小中学校

〒399-9101 長野県大町市美麻27503

TEL0261-29-2004/29-2231 FAX0261-29-2667

E-mail miasaej@miasa.city-omachi.ed.jp



美麻小中学校校歌

中山 渡 作詞
小林秀雄 作曲

- 1 白樺芽吹く日 紅葉の日々も
きたえる体 たくましく
はぐくむ心 すこやかに
白馬の 気高さを求め
伸びゆくわれら
美麻 美麻 はずむ響の
おお美麻
- 2 緑葉そよぐ日 吹雪の日々も
知恵の輪ひろげ つつましく
友情あつく あたたかに
戸隠の きびしさひめて
輝くわれら
美麻 美麻 清きすがたの
おお美麻
- 3 浅間嶺あおぐ日 希望の日々よ
梨の木峯の 丘に立ち
文化の光 かかげつつ
山川の 流れのように
未来へわれら
美麻 美麻 はばたく夢の
おお美麻

1 平成26年度 美麻小中学校の教育

自立した学習者が育つ夢の合校

【経営方針】

- 一期一会
- 学校づくりの根幹は授業づくり
- 質の高い学びが展開する授業にこだわる

【一貫校のねらい】

学びの共同体を基礎に置く学校づくりと、児童生徒が心と体をひらいて学ぶ授業実践を通して、生涯学び続ける基礎力を養い、自律した学習者を育成する

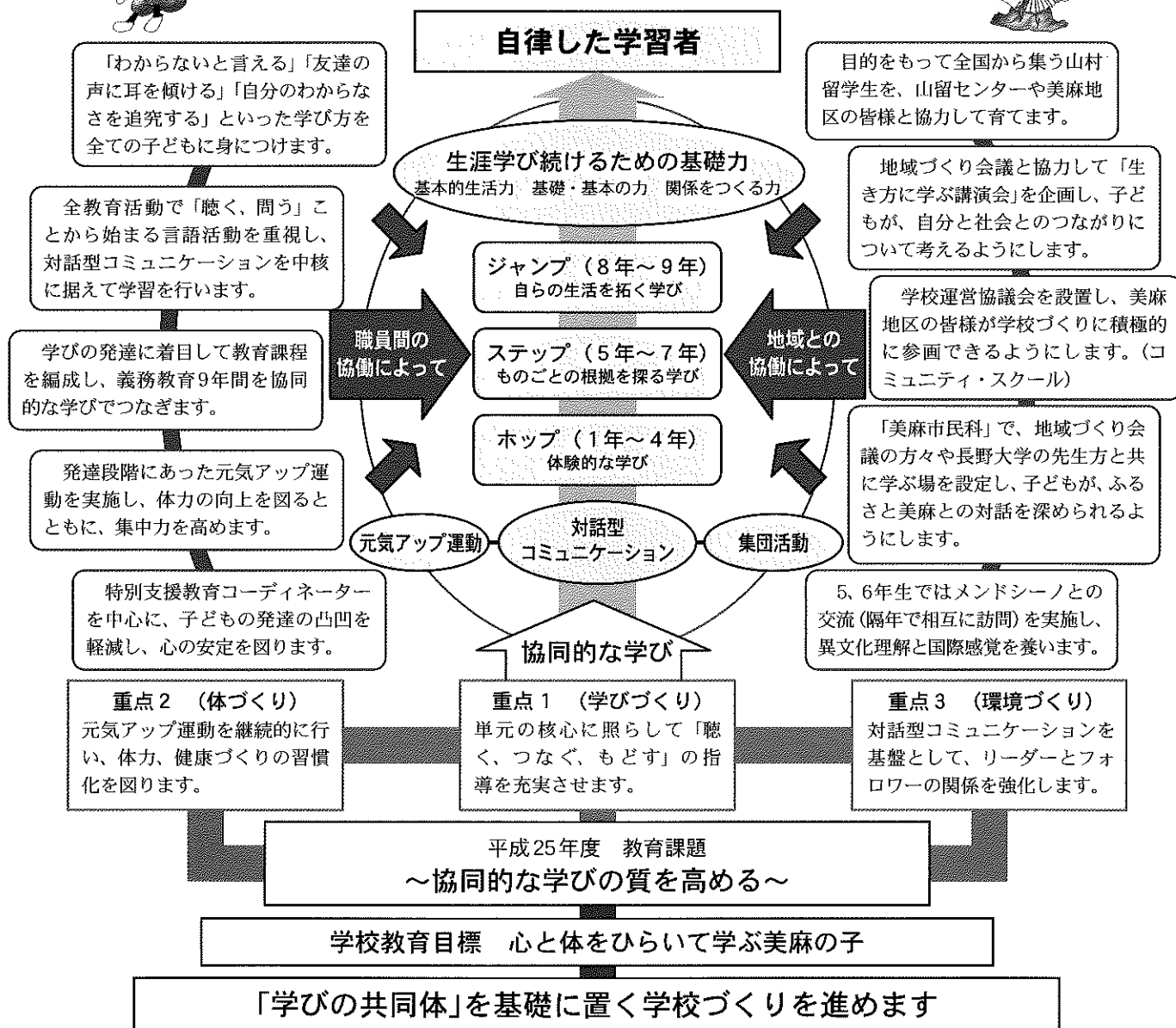
【教育システム】

- 自律した学習者へと導く教育課程
 - ・義務教育9年間で4・3・2に区分し、3つの課程を協同的な学びでつなぐ。
 - ・5年生以降は教科担任制とする。
- 地域との協働
 - ・学校運営協議会を設置し、地域と共に学校づくりを進める。
 - ・パートナー会議が支援ボランティアの活動を計画する。
- 職員の研修
 - ・職員のキャリアアップを図る研修体制を整備する。
 - ・研修内容は、課題研修、共通研修、マネジメント研修とする。



自立した学習者が育つ夢の合校

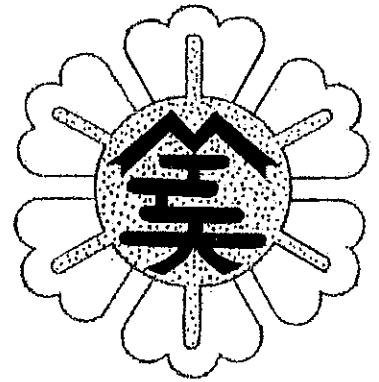
H26 美麻小中学校のグランドデザイン



2 自律した学習者へと導く3つの課程

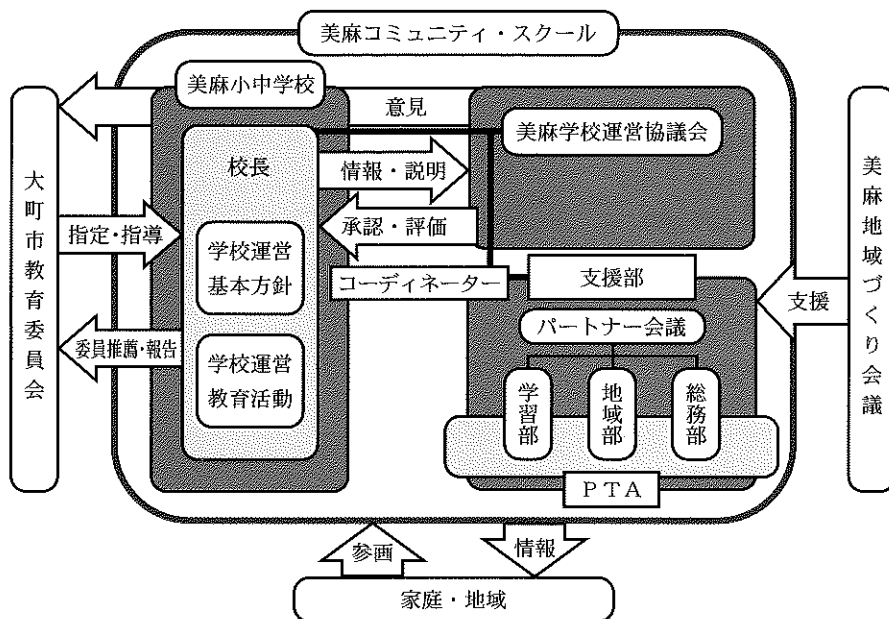
5 校章の由来

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
区分	ホップ期				ステップ期			ジャンプ期	
課程	人間としての基礎を培う課程				思考力を高める課程			社会との関係を明らかにする課程	
学びの特徴	◇安心できる環境の中で、愛着ある「もの」と一体になって没入しこむ体験的な学び ◇五感を総動員して「ひと、もの、こと」に働きかけていく体験的な学び ◆キーワード 【感性】【遊び】 【きめ細かな指導】				◇友と協同したり、自己に問いかけたりしながらものごとの根拠を探る学び ◆キーワード 【自己内対話】 【自尊感情の高揚】			◇体験を通して発現する意思を見つめ直し、自分と社会との関係を明らかにする自らの生活を拓く学び ◆キーワード 【省察】【個性化】	
体制	学級担任制				教科担任制				



- 1 周囲の花びらの色は、金色で少し黒のゴマが入る。これは、地区の数と山と雪の結晶を表す。地区数は、千見・青具・新行・二重・大塩・高地の六地区。山は尼子山・白馬連峰・戸隠連峰・浅間山・爺ヶ岳・常念ほか北アルプス西峰を指す。雪は、アルプスの雪が年中みることができていることを意味する。
- 2 飛び出た棒の部分は、各地区の伝統を引き継ぐことでバトンを表す。
- 3 紺色の中央部分は、各地区の文化、伝統が引き継がれてきていることや総まとめを意味して結集を表す。
- 4 「美」の色は、金色で美麻地区の美を表す。山の部分から美の下にかけて道を表す。従って、美しい自然環境に恵まれ、高き文化に向ってますます勉強する美麻小中学校であることを意味する。
考案者 吉沢 岑夫
採用決定 旧美麻村教育委員会

3 コミュニティー・スクール 新しい学校づくりのイメージ



4 学校の歴史と近年の沿革

美麻小中学校は、長野県大町市北東部の山間地に位置し、標高952メートルの高台にある。校庭から見ると、鹿島槍ヶ岳から白馬岳に至る北アルプスがダイナミックに眼前に広がっている。

本校の歴史は古く、旧美麻村に明治6年、千見学校、翌7年に二重学校・高地学校・大塩学校・新行学校・青具学校の6校が開校されたのが前身である。幾多の変遷を経て、昭和51年に南北小学校が統合され、また翌52年には南北中学校が統合され現在の美麻小中学校の形となった。

平成の沿革

- 元年 飯沢文庫設立。プール、体育館の改修。
- 4年 第1回メンドシーノ訪問。小学校5・6年生23名。
- 5年 メンドシーノより第1次訪問団来校。(その後相互訪問を継続)
- 10年 耐震補強を含む大規模改修1期工事
- 15年 グランド照明施設設備工事、プール濾過器工事。
- 17年 美麻村閉村式。美麻小学校30周年。
- 18年 1月1日美麻村と大町市が合併。大町市立美麻小中学校となる。美麻小中学校開校30周年記念事業。
- 19年 校庭西斜面崩落箇所改修工事
- 22年 メンドシーノK-8スクールと姉妹校提携協定書を締結する。
- 23年 小中一貫教育始まる。
- 26年 コミュニティー・スクール開始
小中一貫教育校 大町市立美麻小中学校となる。

6 職員組織・学級編制

校長	塩原 雅由					音楽専科	小林 陽子				
副校長	塩島 学					非常勤講師(技)	秋田 敬典				
教務主任	丸山 哲由		副教務主任	梨子田稔子			学校運営	丸山 哲由			
研究主任	松本 景光		副研究主任	黒岩理恵子			協議会事務局	武田 彰代			
事務主任	塚田 睦子		保健主事	相澤 順子			養護教諭	相澤 順子			
生徒指導主事	西澤さつき		特別支援 コーディネーター	西澤さつき			事務職員	塚田 睦子			
進路指導主事	宮澤美帆子		ブロック主任	岡江都志男、小林 隆、西澤さつき			栄養士	松倉 淳子			
学年	担任	男子	女子	合計	学年	担任	男子	女子	合計		
ホップブロック	1学年	岡江都志男	3	5 (1)	8 (1)	ジャンプブロック	8学年	前澤 健太			
	2学年	近藤あゆみ	1	2	3		丸山 哲由	3 (1)	3 (1)	6 (2)	
	3学年	伊藤理恵子	2 (1)	6	8 (1)		西澤さつき				
	4学年	梨子田稔子	2	5	7		黒岩理恵子				
ステップブロック	5学年	松本 景光	4	2	6	9学年	池口 拓	4 (1)	6	10 (1)	
	6学年	小林 隆	7	8	15		宮澤美帆子				
	7学年	藤巻 聡史	6	8	14		なしの木学級	嶺村 昌子	1	1	2
		白樺学級					西澤さつき (丸山 博子)	2	1	3	
児童生徒合計		32 (3)				45 (2)	77 (5)				

7 PTA役員名簿

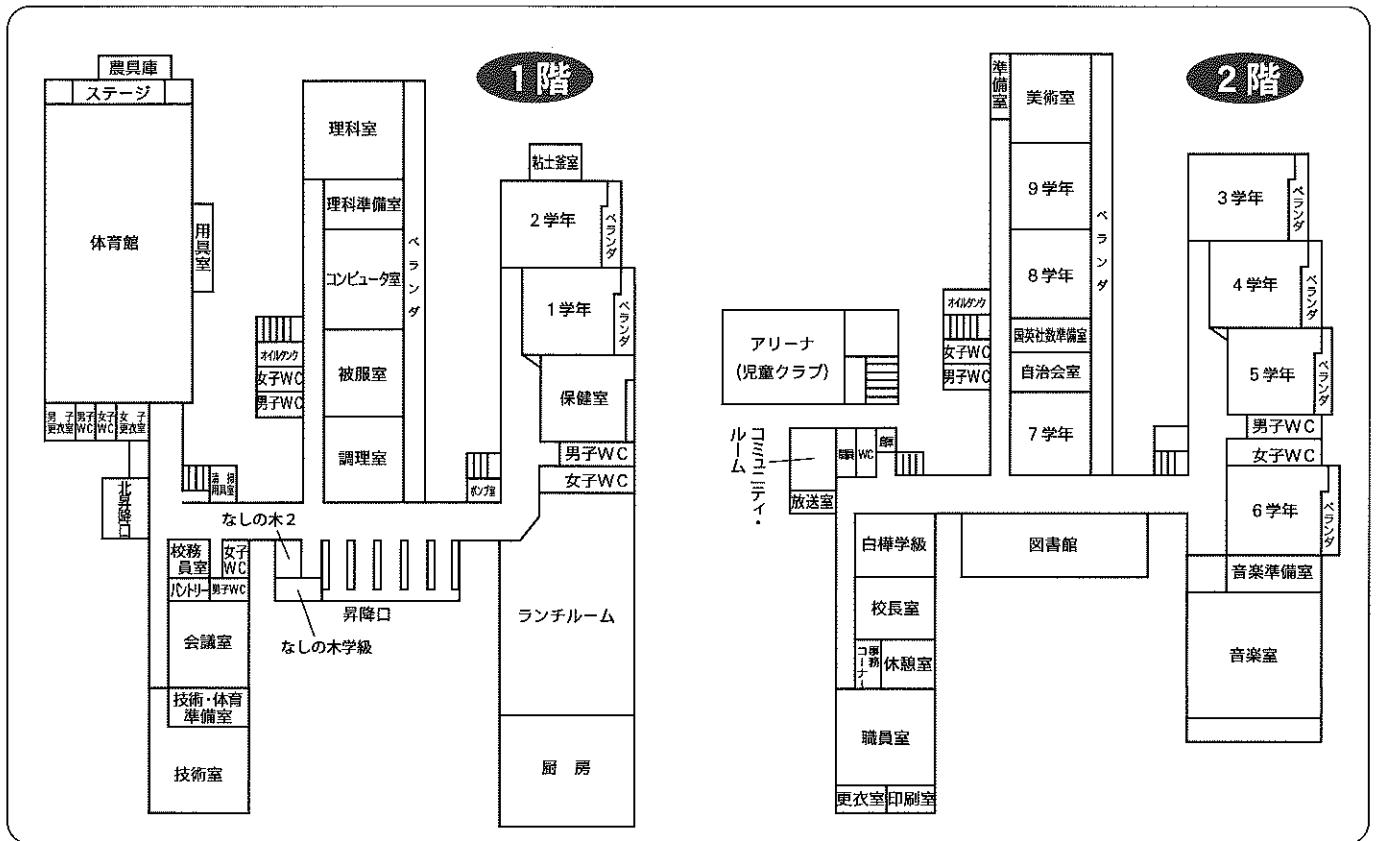
本部	役員	学校	学年部会	文化委員会	学校	環境委員会	総務委員会	委員
PTA会長	小林 敏文	委員	小林陽・松本相澤・宮澤嶺村・丸山博	和由起子	学年部長	大塚 一男	委員	鈴木 幸
PTA副会長	海端 裕子	委員	西條久美子	原 睦子	学年副部長	小川あゆみ	委員	江津 紗代
監事	松下 京子	委員	北村 恵美	倉本 里美	1学年会長	縫部 朋美	委員	平井 五月
学校代表	塩原 雅由	委員	池口・西澤さ近藤・小林隆	村越 里美	2学年会長	間藤一与志	委員	斉藤亜希子
幹事	梨子田稔子	委員	和由起子	縫部 朋美	3学年会長	倉品 敦子	委員	和由起子
評議員会	丸山 哲由	委員	原 睦子	間藤一与志	4学年会長	北村 恵美	委員	北沢 直樹
総務委員長	齊藤亜希子	委員	倉本 里美	手塚 阿美	5学年会長	大西 江利	委員	鈴木 幸
文化委員長	和由起子	委員	村越 里美	稲垣 友美	6学年会長	小川あゆみ	委員	江津 紗代
環境委員長	北沢 直樹	委員	縫部 朋美	岡江・黒岩伊藤理・藤巻前澤	7学年会長	永澤 留美	委員	倉品 敦子
学年部長	大塚 一男	委員	間藤一与志	手塚 阿美	8学年会長	齊藤亜希子	委員	小林 京子
学年副部長	小川あゆみ	委員	手塚 阿美	稲垣 友美	9学年会長	大塚 一男	委員	宮下 信江
地区委員長	江津 美香	委員	稲垣 友美	岡江・黒岩伊藤理・藤巻前澤	7学年会長	永澤 留美	委員	鈴木 幸
	大塚 裕明	委員	岡江・黒岩伊藤理・藤巻前澤	和由起子	8学年会長	齊藤亜希子	委員	江津 紗代
	巻田 加代	委員	和由起子	原 睦子	9学年会長	大塚 一男	委員	倉品 敦子
	安松 由佳	委員	原 睦子	倉本 里美	7学年会長	永澤 留美	委員	小林 京子
	西條久美子	委員	倉本 里美	村越 里美	8学年会長	齊藤亜希子	委員	宮下 信江
総務委員会	齊藤亜希子	委員	村越 里美	縫部 朋美	9学年会長	大塚 一男	委員	江津 紗代
委員長	大西 江利	委員	縫部 朋美	間藤一与志	7学年会長	永澤 留美	委員	倉品 敦子
副委員長	江津 美香	委員	間藤一与志	手塚 阿美	8学年会長	齊藤亜希子	委員	小林 京子
委員	大塚 裕明	委員	手塚 阿美	稲垣 友美	9学年会長	大塚 一男	委員	宮下 信江

※水曜日以外、下校時刻並びにバスの時刻は同じですが、火・木曜日はクリアチャレンジタイム、金曜日は市民科の授業のため、清掃・帰りの会の時間が少し違います。

8 日課表

時間	月火木金	水
8:00頃	バス着	
8:15	元気アップ運動	
8:30		
8:35	朝の会	
8:45		
8:50	1校時	
9:35		
9:45	2校時	
10:30	業間休み	
10:50	3校時	
11:35		
11:45	4校時	
12:30	給食	
13:15		
13:20	掃除	13:25
13:35	5校時	
13:45	5校時	
14:30	帰りの会	
14:40	梨の木タイム 自治会	
15:25	6校時	
15:35	下校 バス発	
15:45	帰りの会 <残留なし>	
16:10	下校	
16:20	バス発 課外活動	

9 校舎配置図



10 学校生活の約束

美麻小中学校の児童生徒としての誇りを持ち、健康で明るい生活が出来るよう「学校生活の決まり」を守って生活しましょう。

- (1) 時間やチャイムを意識して、「けじめ」のある生活をしましょう。
- (2) 地域の方、先生方、友達にすすんで明るいあいさつをするように心がけましょう。

- (3) ルールを守ってお互いに気持ちの良い生活が出来るようにしましょう。
- (4) 立ち入り禁止や危険な場所には近づかないようにしましょう。
- (5) その場に応じた行動がとれるようにしましょう (清掃・給食・集会・緊急時など)。
- (6) 一心に取り組む心や健康な体を育むため、元氣よく体を動かし、体力向上に心がけましょう。

11 バス通学の約束

1 家・学校を出るとき

※バスは決まった時刻で運行します。他の人の迷惑にならないようにしましょう。

- (1) 発車の5分前にはバス停に着くように、余裕を持って家を出ましょう。
- (2) 道路を渡るときには、左右の確認をしっかりとしましょう。

2 停留所に着いて

- (1) 道路に出たり、ふざけたりして遊ばないようにしましょう。
- (2) バスの駐車場で遊ばない。バスが駐車するときは、バスに近づかないようにしましょう。
- (3) きちんと並んで待つ。乗車のときに、押し割りたり割り込んだりしません。

3 バスに乗ったら

- (1) 運転手さんにあいさつをきちんとしましょう。
- (2) 乗った順に奥につめましょう。立ち乗りをしません。
- (3) 保育園児やホップ期の児童が優先的に座席に座れるようにしましょう。
- (4) 途中で立ったり出歩いたりしません。
- (5) バスの中では筆記用具を出しません (落書きはしません)。
- (6) 大声を出したり、ふざけたりしません。運転手さんや地域の方への言葉づかいに気をつけましょう。
- (7) バスの中のものにいたずらをしません。(座席シートカバー、灰皿、ブザーなど)
- (8) 窓を開けません。窓から手や顔を絶対に出しません。
- (9) 荷物をひざの上に置き、シートベルトをしめましょう。
- (10) 降りるとき、運転手さんや地域の方、友達にあいさつをきちんとしましょう。
- (11) 降りたときすぐに道路に飛び出したりしたり、バスの前後を横切ったりしません。

主な学校行事

4月

入学式
修学旅行(9年生)
授業参観①
PTA総会

一年生を迎える会
家庭訪問
PTA講演会



5月

鑑賞音楽会
遠足(1~4年生)
メンドシーノ訪問(5・6年生)



6月

大北地区植樹祭(3・4年生)
PTA作業
運動会(雨天実施)



7月

授業参観②
美麻地区人権講演会
臨海学習(7・8年生)
みどりの少年団大北地区交流集会



8月

サイトウキネン(6年生)

9月

梨の木祭

10月

大町市連合音楽会
社会見学(4年生)
職場体験(7・8年生)

11月

読書旬間
授業参観日③



12月

中村家でのしめ縄・餅つき(5年生)
保護者懇談会
職場体験学習発表会

1月

性教育旬間
そばうち教室

アルペン教室①(1~4年生)
クロススキー記録会(5~9年生)



* 2月 *

授業参観日④ 1/2成人式(4年生)
アルペン教室②(1~4年生)
総合学習オリエンテーション①(6~8年生)

3月

立志式(7年生)
9年生を送る会
卒業証書授与式

市

平成26年度 学校要覧



校歌

(昭和三十六年十二月制定)

作詞 勝 承夫

一 仰ぐ紺碧 信濃の空は

若い力の あふれる空だ

つらなる嶺も 清らかに

自立の英気 湧くところ

大町一中 われらの誇り

二 仁科三湖に 高瀬の谷に

春は夢よぶ こぶしの花よ

いろどる秋の 紅葉にも

平和の理想 なごやかに

大町一中 こころの故郷

三 すさぶ寒風 吹雪も堪えて

芽ぶく若草 われらの胸に

白聖の窓も アルプスも

明日待つ夕 晴れわたり

大町一中 かがやく母校

〒398-0002 長野県大町市大町4528番地
TEL 0261-22-1262/FAX 0261-22-4779
E-mail : daiichi@daiichi.city-omachi.ed.jp
HP <http://daiichi.city-omachi.ed.jp/>

位置
海拔730m
北緯36度30分
東経137度51分

大町市立 第一中学校

一 中学生心得

峻嶺に輝く一中生たれ

一 中学生へ

君たちは 大きな夢を持つのです
そして その夢を 実現させようとする
強い「意志」を持つのです
そのとき

高くそびえる あの山よりも もっと高く
立派に君たちは輝くのです

君たちは 厚い感謝の心を持つのです
そして 相手を深く尊敬する

「謙虚な心」を持つのです
そのとき

清くそびえる あの山よりも もっと高潔
に君たちは輝くのです

君たちには どうか そっくりいふ本当の
中学生になってほしいのです
そして 本当の中学生になろうとする

「精神」がいつまでも受け継がれて
いつてほしいのです

それが「願い」なのです

平成26年度
輝きの姿

目と耳と心で
話を聴く生徒



いつでも
どこでも
だれにも
あいさつする
生徒



もくもくと
汗を流す生徒
する生徒



3つの姿をめざすために

一 生徒がわかった・できたと教師
も共に喜び授業づくりをします
① ねらいと学習活動がはっきりと
わかる授業づくりをする。

② 基礎・基本の学力を定着させる学
習姿勢をつくる。また、セミナー
学習や朝ドリルを取り入れ、一人
ひとりの弱点克服を図っていく。

③ 小集団の学習活動を取り入れ、考
えを交流し合う授業を創出する。

④ 毎日の提出ノートの指導や、家
庭学習の定着を図る指導を継続
して行っていく。

二 いつでもどこでも誰にも挨拶
します

① チャイムで開始、終了。授業の
あいさつを徹底する。

② 部活動では礼儀と挨拶を大切に
することを基本の心構えとする。

③ 地区生徒会を中心に、地域ボラ
ンティアや資源物回収を通し、
地域に挨拶の輪を広げる。

三 黙々と汗して掃除します

① 生徒会では縦割り清掃を企画し、
上級生が下級生の手本となって
「二中の清掃」を推進する。

② 「百年使える校舎」を合い言葉
とし、無言、膝着き、気づきの
清掃を全校で行う。

③ 清掃前に各教室で全員が黙想を行
い、清掃に向かう心構えを作る。

一 自尊感情と他者尊重の心をはぐ
くむ道徳教育と人権教育の実践
① より良い人間関係を形成するため、
挨拶・感謝の言葉からコミュニケーション
シヨンが図れるようにする。

② 人権感覚を磨き、相手意識を高め
た日常生活を送れるよう努力する

③ 真摯に生徒の話に耳を傾け、親
身になって相談を行う。

二 地域・保護者とのより深い連携

① 「心の通い合うPTA」
授業参観、学年・学級PTAを
基盤に、一つ一つの活動を大事
にして共通理解を図る。

② 「保護者の気持ちになって」
健全育成を大切にし、誠実に相
談を進める。

③ 「峻嶺の日」の地域ボランティア
活動（全校五月）、農具川清
掃（三学年六月）、「資源回収（全
校八月）」、「地域子育てセミナー
参加（十一月）」、「平地区市民の
集い参加（一月）」等、地域の活
動へ積極的に取り組む。

三 開かれた学校作りの推進

① 年5回の参観日を終日公開と
し、地域の方が誰でも参観でき
るようにする。

② 「学校便り」を定期的に発行し、
地域、保護者に学校の様子を知
らせる。

【生徒数並びに職員組織】

校長	三ツ井 仁	教 頭	田中 昭道	教務主任	丸山 勝久
養 護	丸山 直子	司 書	丸山 智誉	事務主任	奥村 鈴代
事 務	成沢 真弓	校 務	阿部 恆夫	栄養士	東條 明徳
調理員	曾根原恵子 若林みどり		明石 有里	中村 正美	
心の相談員	白澤 春菜	A L T	Cleaver Brittany	カウンセラー	両川 晃子

年組	男子	女子	合計	担任	副担任
1年1組	14	18	32	原 洋夢	吉沢 俊一
1年2組	14	17	31	切石 泉	矢口 雅紀
1年3組	14	18	32	山崎 正之	原山こころ
2年1組	19	14	33	原 毅	上遠野宇多子
2年2組	19	14	33	勝山 孝平	中野真寿美
2年3組	19	13	32	森川 寛	高橋 幸大
3年1組	20	15	35	米山 聡	三崎 眞一
3年2組	21	13	34	太谷 和夫	笠井 萌子
3年3組	20	14	34	坂井美和子	小口 恵
7 組	(2)	(1)	(3)	普明 秀幸	丸山 直子
自 立	(5)	(2)	(7)	平林ミチル	
合 計	160	136	296	職員合計	36名

【地区別生徒数】

地区名	1年	2年	3年	合計
北 部	3	1	3	7
中 部	5	2	4	11
借馬団地	4	5	7	16
借 馬	1	8	7	16
西 原	1	6	4	11
西 部	7	4	7	18
野 口	11	12	8	31
三日町	0	1	2	3
俵 町	14	13	13	40
大黒町	1	4	4	9
相生町	3	1	4	8
大原町	7	8	10	25
大原2号団地 ・ 若原町	4	1	2	7
栄 町	9	5	5	19
東中原・不二塚町	1	3	2	6
中原町	7	7	6	20
九日町	3	2	0	5
白塩町	2	1	1	4
山田町・北山田町	2	4	0	6
六九町	0	2	2	4
宮田町	3	5	3	11
幸 町	3	3	7	13
その他	0	1	1	2
合 計	95	98	103	296

【P T A 役員組織】

◎委員長 ○副委員長

会 長	降旗 達也		
副 会 長	遠藤 浩樹	勝野 英男	新井 美雪
幹 事	柏原 雅	西澤 聖美	
1年学級委員	◎大塚 マリ	○平林 五月	降旗 優佳
2年学級委員	○宮田 直子	逢沢 玉恵	◎松下久美子
3年学級委員	原沢 瑞穂	◎仁科ちず子	○郷津めぐみ
文 化	◎肥田 磨美	○小川 稔子	○傳刀 博美
施設厚生	◎唐澤 早苗	○宇海 緑	
校外生活	◎村山 美香	○筑地 紀子	
監 事	北澤つかさ	斉藤 奈美	

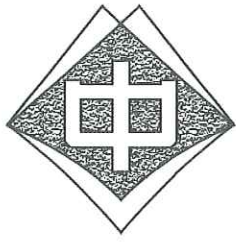
【主な学校行事】

月	主な行事等	月	主な行事等
4	入学式 1学期始業式 対面式 3年修学旅行 家庭訪問	9	避難訓練 こぶし祭
5	生徒総会 峻嶺の日 1年宿泊学習	10	3年大町市連合音楽会
6	1年福祉体験 2年職場体験学習 3年農具川清掃	11	避難訓練
7	1学期終業式 2年爺ヶ岳登山	12	生徒総会 保護者懇談会 2学期終業式
8	2学期始業式	1	3学期始業式
		3	3年生を送る会 3学期終業式 卒業式

【部活動】

男子バレー	卓 球
女子バレー	陸 上
男子バスケ	吹奏楽
女子バスケ	演 劇
男子テニス	美 術
女子テニス	探 研

☆セクハラ・いじめ等の相談窓口
(生徒・保護者とも)
保健室の丸山 直子先生です。



平成26年度 学校概要



仁科台中学校 校歌

作詞 諏訪和夫
作曲 岡本敏明

- 一 ああ さわやかな 安曇野の
蓮華に爺に 鹿島槍
銀の山なみ 高き下
みよ、眉あげて 自主の意気
掲げてはゆる 仁科台
- 二 ああ 水清き 高瀬川
絶壁くんだり 谷めぐり
ひらく豊かな 地と文化
おお、ここに建つ 友愛の
灯ともる母校 仁科台
- 三 ああ 氷雪の いく月か
耐えてもえいず いっせいに
郷土の色の あざやかさ
みよ、希望もて ねばりぬく
わが誇りみつ 仁科台

大町市立仁科台中学校

〒398-0002 長野県大町市大町3759番地

TEL 0261-22-1817 FAX 0261-22-0290

<http://nishina.city-omachi.ed.jp/>

E-Mail: nishina@nishina.city-omachi.ed.jp

平成26年度 仁科台中学校グランドデザイン

学校教育目標と目指す生徒の姿

自主：勉強に魂を打ち込む生徒
 友愛：礼儀に篤い生徒
 根性：勤労に喜びを持つ生徒、健康安全に気を配る生徒



『本校のよさと課題』

保護者の意見より

- 伝統を受け継いでいこうと取り組んでいる。
- 伝える力の伸びが見られる。
- 学習習慣を身につけ、「わかった」「できた」と実感できる。
- あいさつの声がさらに響き合う。

職員アンケートより

●よさ ●課題

- 明るく素直で、人なつこい生徒が多い。
- 指示されたことは受け入れて取り組むことができる。
- 寄り添うと素直に受け答えできる。
- 自ら進んで学習や生活に取り組んでいく。
- 個人や集団をより向上させようとする。
- 相手の気持ちを尊重して仲間と関わることができる。

①学力・体力の向上

自信を持ち、社会で活躍する力をつけるための学習支援

②伝統の継承・創造

地域とともに生きる

③よりよい人間関係づくり

人やものを慈しむ学校

全校研究テーマ

- 「『伝える力』を育む指導のあり方」
- ①基礎・基本の確実な定着を図り、伸びる力を伸ばす「分かる授業」の推進（生徒アンケートで「わかった」「できた」の実感のある授業について肯定的評価が80%以上になることをめざす）
 - ・ 伝える力の伸びを実感できる授業実践
 - ・ 「見とどけ」の徹底（授業がよくなる3観点）
 - ・ 数学科、英語科で授業形態の工夫
 - ・ 「家庭学習の手引き」作成と活用
 - ②学力向上に向けた態度の育成
 - ・ 始業・終業時間厳守
 - ・ 机上の整理整頓（学習準備）
 - ・ 聴く姿勢・あいさつ・返事の定着
 - ③学力向上をめざした取組の充実
 - ・ 教育研究の推進（重点研究：音楽、総合、道徳、人権教育、社会科）
 - ・ 新体力テスト実施と対策
 - ・ 全国学力学習状況調査、PDCAサイクル事業の実施と振り返り
 - ・ 数学、英語における個別学習の実施
 - ・ 30人規模学級の導入（3年）
 - ・ 「朝読書」の充実（1人40冊以上の読書）

- ①自主性を育む生徒会の充実
生徒会スローガン
「大革命」～仁の心で常に挑戦～
 - ・ 伝統ある活動の充実（仁中の礼、無言清掃、残食ゼロ）
 - ・ ボランティア活動の充実（アルミ缶回収、募金活動、校内外のボランティア活動）
- ②「3つのDo」を大事に自律した生活
 - ・ チャイム着席・集会時の無言
 - ・ ネーム着用
- ③地域の中で生きる自分
 - ・ 「地域を知る」（1年）、「地域に学ぶ」（2年）、「地域に貢献する」（3年）<キャリア教育を重点に>
 - ・ 地域の美化活動
- ④存在感もてる学年・学級活動
 - ・ 「仁科タイム」の3年間を見越したカリキュラムづくり
- ⑤歌声の響く学校
 - ・ 生徒会と連携した全校音楽・学級の歌の充実

- ①心の内面に寄り添う支援
 - ・ チーム支援体制の機能の充実『チームですばやく丁寧に』
 - ・ 小中連携による受入体制の確立
 - ・ 不登校の未然防止・早期対応
- ②人権教育の充実
 - ・ 言葉遣いの感性を職員生徒ともに磨く
 - ・ 「いじめ」問題の継続的な指導
 - ・ 定期的な職員研修の実施
- ③特別支援教育の充実
 - ・ 子どもの良さを伸ばす実践
- ④部活動で学んだことを日頃の生活に生かす
 - ・ 気持ちのよいあいさつ
 - ・ 礼儀、感謝の気持ち
 - ・ けじめのある行動
- ⑤安全安心な居場所づくり
 - ・ 命やものを大切にする指導
 - ・ 交通安全教室、街頭交通安全指導、避難訓練の充実
- ⑥気持ちや姿をそろえる
 - ・ 職員、生徒による「あいさつ」の励行
 - ・ 生徒の自治活動としての週番活動や教室・下足箱・自転車置き場等の整美

研修の充実
 信頼される
 質の高い
 教師集団

信頼される、質の高い教師をめざし、教員研修を充実する

- 重点研究を通しての授業づくり
- 特別支援教育にかかわる研修の充実
- 全職員による初任者研修も推進
- 自ら求める研修への積極的参加

■日課表

		月	火	水	木	金
		朝部活なし	朝部活	朝部活なし	朝部活	朝部活
8:00						
朝の活動	8:15 8:25	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
学級活動	8:25 8:35	学級活動	学級活動	学級活動	学級活動	学級活動
第1校時	8:45 9:35	①	①	①	①	①
第2校時	9:45 10:35	②	②	②	②	②
第3校時	10:45 11:35	③	③	③	③	③
第4校時	11:45 12:35	④	④	④	④	④
給食	12:35	給食	給食	給食	給食	給食
(準備・給食・片付け・休憩)	13:35	60	60	60	60	60
第5校時	13:35 14:25	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
第6校時	14:35 15:25	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
清掃	15:35 15:50	清掃	清掃	清掃 14:35~14:50	清掃	清掃
学活	16:00 16:10	学活	学活	学活 15:00~15:10	学活	学活
下校		一般下校 16:30	一般下校 16:30	最終下校 15:30	一般下校 16:30	一般下校 16:30
諸活動		○6校時：学級活動 ・清掃 14:35~14:50 ・学活 15:00~15:50 ・帰りの学活 16:00~16:10 ○6校時：集会と委員会セット ・清掃 14:35~14:50 ・学活 15:00~15:10 ・集会 15:20~15:40 ・委員会 15:45~		○午後部活動なし	○部活動優先日	○5,6校時総合 2時間連続日 ・給食~13:35 ・清掃 13:35~13:50 ・学活 14:00~14:10 ・5校時14:20~

■学校医

内科	新津袈裟三	耳鼻科	平林 源	眼科	鳥海 智子
内科	遠藤 良平	歯科	砂田 繁雄	薬剤師	西村 彦一
外科	栗林 士郎	歯科	高橋 京子		

■PTA役員

会長	栗林 純一		正	副
副会長	永井ひろみ	1-1	西澤美喜子	新井 智子
	坂井 良平	1-2	原 智寿子	内藤 由紀
	荒井さゆり	①-3	橋本加代子	渡邊千江美
幹事	矢口 修	1-4	遠藤 和枝	平林 綾
	關 裕子	2-1	先崎 敦世	荒川 雅美
	和田 泰典	2-2	松澤 美香	内山 晴美
	山崎 晃	②-3	五味めぐみ	石岡 美紀
監事	塚田 秀	2-4	一柳 沙世	小沼 真理
	齋藤 佐織	3-1	○和田 和代	川上 光代
顧問	澁谷 里子	3-2	清水 弘美	藤井 朋
	茅野 浩子	3-3	高山 朋子	川上 昭子
		3-4	◎徳竹 千鶴	松原 智美
		③-5	松尾 正美	酒井 由実
		3-6	安藤 陽子	市岡 千夏
		広報教養	那賀しのぶ	縣 浩美
		施設環境	芳村 寛恵	遠藤 絹恵
		地区部会	西山 由美	奥原しのぶ
		学級部会	清水 弘美	和田 和代

- 学年委員長
- ◎ 常任委員長
- 常任副委員長

■職員組織

◎学年主任 ○学年副主任

校長	矢口 修		
教頭	山崎 晃		
教務主任	塚田 秀		
事務主任	小柳 昭文		
研究主任	吉澤 正		
生徒指導主事	小林 正人		
進路指導主事	丸山 貴久		
特別支援コーディネーター	二木 正彦		
	寺島 道男		
初任研指導教諭	木曾 幹夫(兼)		
学力向上支援	高木 千枝		
養護教諭保健主事	中山 博子		
事務職員	安井 栄子		
心の教室相談員	五十川 崇		
A L T	アントニー・チエロ		
スクールカウンセラー	杉原美津子		
司書	滝原 貞代		
栄養職員	堀内ミユキ		
給食職員	大竹富士江		
	伊東 文子		
	金田理栄子		
	小林 幸子		
	海川 桂子		
学校校務員	伊藤 和寛		
担任	一学年	1組	◎寺島 俊郎(社)
		2組	徳竹 優子(家)
		3組	寺島 道男(国)
		4組	○太田 高利(美)
	二学年	副任	小林 正人(体)
			遠藤 千史(英)
			平林 俊彦(理)
		1組	◎小林 浩明(英)
	三学年	2組	藤本 健史(数)
		3組	古屋 岳彦(理)
		4組	○片瀬 徹也(技)
		5組	川船 一恵(国)
仁科学級	副任	大平 栄吉(体)	
		阿藤 茜(英)	
	1組	◎小山 保男(理)	
	2組	山口 雅子(社)	
	3組	山崎 慎也(社)	
	4組	笠井 悠太(理)	
育休	5組	馬場 直樹(数)	
	6組	○吉澤 正(英)	
	副任	塚田 秀(国)	
	丸山 貴久(数)		
	細川 淑子(音)		
	吉田 幹弘(体)		
育休	1組	◎二木 正彦(数)	
	2組	栗林 章善(社)	
	3組	○熊井 孝志(体)	
	細川 久江(数)		
	業田 若菜		

平成26年度



学校概要



■学校沿革概要

- 昭和 22 年 学制改革に伴い旧八坂国民学校内に開校
- 昭和 45 年 校舎竣工式
- 昭和 48 年 創立 25 周年記念式典
- 昭和 51 年 校庭新設 山村留学制度スタート
- 昭和 52 年 小原福治先生碑除幕式
- 平成 3 年 ガードレール磨き等の活動に対して県知事、
県警本部長、中日新聞事業団等より表彰
- 平成 8 年 新プール・新体育館竣工式
- 平成 11 年 新校舎竣工
- 平成 12 年 リサイクル推進校に認定（県下 32 番目）
道路愛護の活動に対して県知事表彰
- 平成 15 年 ガードレール磨き、ふるさと清掃などの活動
に対して環境大臣表彰
- 平成 18 年 市町村合併により「大町市立八坂中学校」と
なる。創立 60 周年記念式典
- 平成 25 年 未成年者飲酒防止キャンペーン全国表彰

八坂中学校校歌

高橋 渡 作詞
中田 喜直 作曲

耳を澄ませて 聴こうよ きみ ぼく
せせらぐ金熊 わきたつ希望
風青く わたって谷を あなた わたし
愛は夢を 夢は愛を かがやく瞳に注ぎ
三年をここに 八坂のわれら 健やかに

空の高みを あおぐよ きみ ぼく
白い馬は駆け たかなる理想
城が嶺 けだかい姿 あなた わたし
真理さがし 誠もとめ 清かに心ははずみ
その名も雄々し 八坂のわれら 聴くあれ

りんと顔あげ 進むよ きみ ぼく
悲しみ悩みも つきぬく英知
鷹狩を いろどる朝陽 あなた わたし
熱い祈り 冴える思い 漲る生命を染めて
未来の時へ 八坂のわれら 高く翔ぶ



大町市立八坂中学校

〒399-7301

長野県大町市八坂11, 648

TEL 0261-26-2020

FAX 0261-26-2022

E-mail yasakajh@yasakachu.city-omachi.ed.jp



■ 八坂中学校の教育

学校運営の方針

学校教育目標

やりぬく根性
〔たくましい生徒〕

さがし求める気迫
〔進んで学ぶ生徒〕

かわいがる心情
〔思いやりのある生徒〕

具体目標

1 進んで学び確かな学力を付ける 2 思いやりの心とたくましい心身を育てる

(1) 小さくてもきらりと光る学校
◆小規模・少人数を生かす

(2) 地域と共に育つ学校
◆地域・自然・人々に学ぶ

(3) 明るく楽しい学校
◆心身の健康・自立を育てる

(4) 教師としての自覚の高揚
◆資質向上・危機管理

- ① 個に応じた学習指導
・学習記録・IT支援・朝ドリル
・課題解決学習
・職場体験学習
- ② 持ち味を生かす表現活動
・しゃべり場やさか
- ③ 合唱活動の充実
- ④ 情報処理・活用力の育成
- ⑤ 丁寧な生徒理解
- ⑥ 部活動指導体制強化

- ① 環境美化・奉仕活動
・ガードレール磨き・ふるさと清掃
- ② 地域特産そば学習
- ③ 自然体験
・スキー教室・キャンプ
- ④ 高齢者・乳幼児との交流
- ⑤ 地域スポーツ・地域講師
- ⑥ 山留センターとの連携
- ⑦ 土曜参観日・学級通信・HP
- ⑧ 地域交流

- ① 学級経営案の毎学期見直し
- ② 学級活動・短学活の充実
- ③ 相談日の実施
- ④ 安全意識の喚起
- ⑤ 保健・給食指導
- ⑥ 学習環境作り(言語・掲示)
- ⑦ 日常の挨拶
- ⑧ 全校体育・気づきある清掃
- ⑨ 生命・人権・福祉学習
- ⑩ 読書の充実

- ① 授業改善
・全校研究授業
・個人公開授業
- ② 職員研修・厚生
・研修・研究報告会
- ③ 危機管理体制確立
・個人情報管理
・綱紀の粛正
・自然災害への対応

今年度の目標

〔平成26年度の目標〕

- (1) 命を大切にできる心情を培う
- (2) 思いや考えを分かりやすく豊かに伝えられる
- (3) 自ら求める学習の充実

〔目標達成に向けたおもな活動〕

- ・日常活動、教科活動、委員会活動、縦割りの活動で
- ① 人権教育・各種保健教育・安全教育・命の教育
- ② 言語活動の充実・響きわたる合唱・やまびこ祭の発表しゃべり場やさか
- ③ 課題解決学習・進路学習・生徒の自主的活動・やりがいのある清掃・自己肯定感の醸成

全校研究テーマ

少人数集団を生かし、個を伸ばす指導はどうあったらよいか
～表現力を高め、友とのよりよい関係を築く授業のあり方～

教科等研究テーマ

- 国語 互いの考えに学び合い、相手、目的、場面を意識した表現力を追究する学習
- 社会 学ぶ楽しさを実感し、見方・考え方が広まる表現力を活用した学習
- 数学 数学的活動の楽しさやよさを実感し、思考力・表現力を高める学習
- 理科 自然と関わり、仲間と共有した疑問を、目的を持って追究する力を高める学習
- 音楽 主体的に仲間とともに考え合い、表現を工夫して高め合う学習
- 美術 自らの思いを表現し、友の作品の良さを認めながら実践できる制作活動
- 保健体育 仲間と共に心と技を主体的に練り上げ言葉や実技の表現力を高める学習
- 技術・家庭科 生活と技術の関係・役割を理解し、創意工夫する実践力を高める学習
- 英語 習った語句や構文を用いて考えを話し、書くなどの表現力を高める学習
- 総合的な学習の時間 自ら課題を見つけ、様々な体験、人との交流を通して課題を解決する主体的な実践力が向上する学習
- 道徳 道徳的な心情・判断力・実践意欲と態度を養い、道徳性を高める学習

生徒会目標・スローガン

「躍進～想像から創造へ～」

- 笑顔が絶えない学校生活をめざす
- 自分の意見をしっかりとって自信をつける
- 感謝の気持ちを地域へ伝え、八坂を活性化させる

学級経営の願い「心が通い合う学級」

- 認め合い、自分の存在が実感できる学級
- 1年 自分や仲間が安心して生活し、笑顔あふれる学級集団、生徒に
- 2年 思いやりの心と自律心をもち、互いを信頼して自己を表現できる集団、生徒に
- 3年 自他共に認め、支え合い、表現力豊かに行動することができる集団、生徒に
- 特別支援 興味のあることへの理解を深め、学習に向かうたくましさもてる生徒に
- 保健室 命を大切にし、心身ともに健やかな生活が送れるよう、自他の健康に関心をもち、自己管理ができる集団、生徒に

教育課程編成の特徴

- 登校日数 211日(3学期制)
- 教育活動総時数 1177時間
- 総時数内訳 ①必修(917h) ②学級活動(35h) ③総合的な学習の時間(60~80h) ④道徳(40h) ⑤行事(42h) ⑥裁量(20h) ⑦生徒会活動(15h) ⑧評価(テスト)(28h)
- 時間割 前期スライド(4月~10月) 後期スライド(11月~3月)
- 日課 朝読書・朝ドリル(漢字・数学)・全校音楽・全校体育・生徒集会・生徒相談・ノー部活デー等

■ 日課表

	月	火	水	木	金
(スクールバス矢下着 7:48) 朝部活動 7:40~8:00 登校時間 8:10					
8:15~8:30	朝読書	漢字ドリル	校長講話 生徒集会	数学ドリル	全校音楽・ 体育(隔週)
8:30~8:40	学 級 活 動				
【1】 8:45~9:35	1	1	1	1	1
【2】 9:45~10:35	2	2	2	2	2
【3】 10:50~11:40	3	3	3	3	3
【4】 11:50~12:40	4	4	4	4	4
12:40~13:30	給 食				
【5】 13:40~14:30	5	5	5	5	総合
【6】 14:40~15:30	清掃 14:35~14:50	6	清掃 14:35~14:50 学活 14:55~15:10	6	総合
15:35~15:50	学活 14:55~16:00 (朝の学を兼ねる)	清 掃	下校	学活	清掃
15:55~16:10		学 活	15:30	(委員会隔週)	学活
下 校 16:30	学級活動優先日	相談日 16:10~16:30 部活動優先日	職員会 ノ一部活デー	相談日	
4・9~10月【部活動】	学活終了20分後~17:30		【完全下校】	17:40	
5~8月	学活終了20分後~18:00			18:10	
11~2月	学活終了20分後~16:20			16:30	
3月	学活終了20分後~17:20			17:30	

■ 職員組織

校長 小口 伸
 教 頭 奥原嘉徳(防火管理者・危険物取扱者・特別支援コーディネーター)
 教務主任 山崎敬二(特別支援担任)
 1年担任 河竹康之 副任 西川美幸
 2年担任 瀧沢哲三(生徒指導主事) 副任 高橋明日香
 3年担任 坪田光永(進路指導主事) 副任 松山美佳
 技術科 秋田敬典 初任研後補充 池ヶ谷弘美
 健康づくり推進支援指導員 武田彰代
 養 護 山本由紀(衛生管理者・保健主事)
 事務主任 山崎佳寿美 図書館司書 太田みどり
 学校支援コーディネーター 松下忠晃
 校務員 中島 孝 校 医 戸部道雄
 歯科医 横沢賢樹 耳鼻科医 平林 源
 眼科医 宮澤孝治 薬剤師 内川輝雄

■ 生徒数・家庭数

(H26.5.1 現在)

	男	女	計	家庭数
1年	8(3)	6(1)	14(4)	12(3)
2年	3(3)	5(2)	8(5)	8(5)
3年	8(1)	1(0)	9(1)	9(1)
合計	19(7)	12(3)	31(10)	29(9)

※()内 山村留学生内数

■ P T A 役員(八坂小・中学校合同 PTA)

■ 本 部

役 職	氏 名	(地区)
顧 問	北澤 尚泰	(大平)
	鬼窪 重幸	(野平)
会 長	久保田良夫	(明野)
副会長	中村 和正	(野平)
	吉田 敏之	(野平)
	花塚 由香	(明野)
	大厩 真弓	(小菅)
参 与	伊藤 浩光	(小学校長)
	小口 伸	(中学校長)
幹 事	中川由香里	(小学校教頭)
	原 恵美子	(小学校)
	西山 行信	(小学校)
	奥原 嘉徳	(中学校教頭)
	山崎 敬二	(中学校)
	山崎佳寿美	(中学校)
監 事	※顧問が兼務	

■ 評議員・各部役員

役 職	氏 名	(地区)
【学年部】		
部 長	降旗 和樹	(矢下)
副部長	南澤 伸宜	(栃沢)
小1会長	桑原理恵子	(明野)
小2・3会長	北澤直樹	(大平)
小4会長	平林 朝菜	(矢下)
小5会長	村上理恵子	(明野)
小6会長	南澤 伸宜	(栃沢)
中1会長	野高 健司	(切久保)
副会長	本間 久人	(大平)
中2会長	大厩 真弓	(小菅)
副会長	佐藤 信	(野平)
中3会長	降旗 和樹	(矢下)
副会長	丸山 和男	(石原)
※学校職員		
	小林 浅井	(小) 坪田 (中)
【教養部】		
部 長	中村 和正	(野平)
副部長	花塚 由香	(明野)
部 員	北澤 直樹	(大平)
	平林 朝菜	(矢下)
	南澤 伸宜	(栃沢)
	野高 健司	(切久保)

役 職	氏 名	(地区)
	本間 久人	(大平)
	丸山 和男	(石原)
	山留センター職員	
	※学校職員	
	篠原 縣 渡辺	(小)
	西川 高橋 山本	(中)

【生活環境部】

部 長	大厩 真弓	(小菅)
副部長	吉田 敏之	(野平)
部 員	桑原理恵子	(明野)
	村上理恵子	(明野)
	佐藤 信	(野平)
	降旗 和樹	(矢下)
	山留保護者会	(小1名中1名)
	※学校職員	
	村山 柳澤 横山	(小)
	河竹 瀧沢 坪田 松山	(中)

生徒会

○26年度生徒会スローガン

『 躍進～想像から創造へ～ 』

○生徒会活動の柱

- 全校がもっと身近になり、笑顔が絶えない学校生活を目指そう。
- 自分の意見をしっかり言うことから自分に自信をつけ、積極的になろう。
- 明るい挨拶や学校行事、清掃、奉仕活動で感謝の気持ちを伝え、八坂を活性化させよう。

○組織

本部・代議員会	充実した学校生活を送れるようにするとともに、八坂中学校が大好きになるような校風作りを推進
学芸図書	学芸活動の協力 読書の推進 生徒会誌「やまびこ」の発行
整美ふるさと	校舎内外の美化活動 ふるさと学習（そば学習など）への協力
保健体育給食	体育活動の推進 保健、給食に関する意識の向上
放送	校内放送、全校音楽の充実

部活動

○目的

学年を越えて、共通の目的を持つ集団に所属し、一員としての自覚をもち、『やさかの心』である「やりぬく根性」「さがし求める気迫」「かわいがる心情」を全員で達成するために、厳しい練習に耐え、自己の可能性に挑戦する。

○組織・顧問

バドミントン部

瀧沢哲三 河竹康之 松山美佳 山崎敬二

吹奏楽部

高橋明日香 坪田光永 西川美幸

主な年間行事

- 4月 入学式・1学期始業式
参観日・PTA 総会
修学旅行
家庭訪問
- 5月 生徒総会
1学期中間テスト
資源回収・親子作業
- 6月 ガードレール磨き



中信球技大会(バド)
職場体験学習
プール開き

- 7月 1学期期末テスト
1日やさかの日
参観日
吹奏楽コンクール
そばまき
1学期終業式
- 8月 2学期始業式
資源回収・親子作業
青木湖キャンプ
- 9月 やまびこ祭



- 10月 大町市連合音楽会
そば刈り



- 2学期中間テスト
- 11月 中南信新人戦(バド)
参観日
2学期期末テスト
- 12月 そば打ち
保護者懇談会
生徒総会
2学期終業式
- 1月 3学期始業式
アンコン(吹奏楽)
スキー教室
- 2月 公立高校前期選抜
参観日・校長講話
3学期期末テスト
- 3月 公立高校後期試験
生徒総会
3年生を送る会

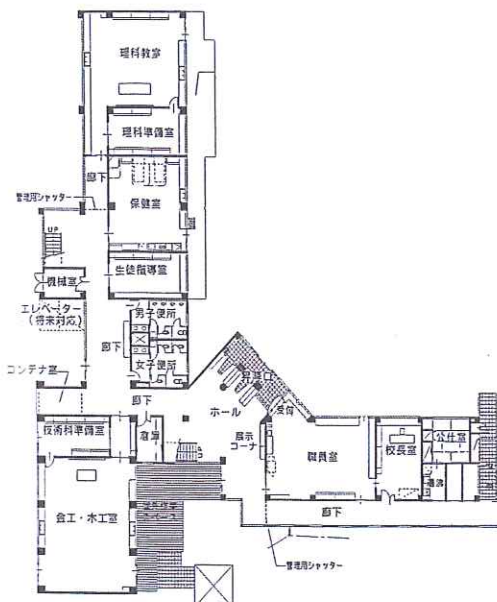


3学期終業式
卒業証書授与式

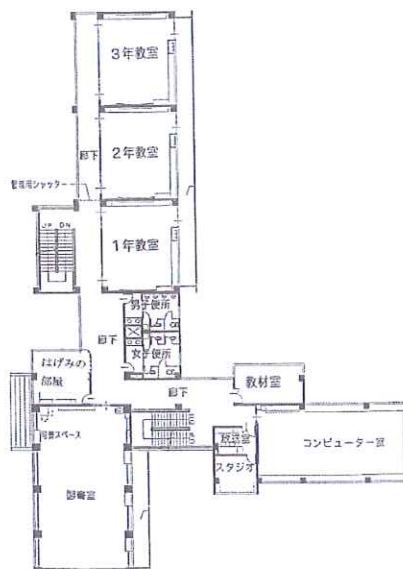
校舎配置図

【本校の位置】 北緯 36度 30分 東経 137度 55分 30秒 海拔 610m

〈1階〉



〈2階〉



〈3階〉



2 学校施設

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

学 校 名	校		舎		給 食 棟 他		屋 内 運 動 場		校			地 計		
	保有面積 m ²	構 造	保有面積 m ²	構 造	保有面積 m ²	構 造	保有面積 m ²	構 造	校舎敷地 m ²	屋外運動場敷地 m ²	他 m ²			
小 学 校	5,899	鉄筋 鉄骨	5,625 274	鉄筋 鉄骨	404	鉄筋 鉄骨	315 89	鉄筋 鉄骨	1,002	鉄筋	17,107	13,715	2,605	33,427
	7,360	鉄筋 鉄骨	6,963 397	鉄筋 鉄骨	409	鉄筋 鉄骨	308 101	鉄筋 鉄骨	1,218	鉄筋	21,626	13,169	1,138	35,933
	5,812	鉄筋 鉄骨	5,608 204	鉄筋 鉄骨	375	鉄筋 鉄骨	294 81	鉄筋 鉄骨	1,092	鉄筋	19,207	9,275	7,028	35,510
	6,636	鉄筋 鉄骨 木造	6,415 194 27	鉄筋 鉄骨 木造	347	鉄筋 鉄骨	270 77	鉄筋 鉄骨	982 69	鉄筋 鉄骨	17,158	11,750	3,439	32,347
	2,861	鉄筋 鉄骨	2,678 183	鉄筋 鉄骨	255	鉄筋	255	鉄筋	1,027	鉄筋	7,040	8,190	13,385	28,615
中 学 校	1,346	鉄筋	1,346	鉄筋	504	鉄筋 鉄骨	379 125	鉄筋 鉄骨	574	鉄骨	10,634	992	1,579	13,205
	29,914	鉄筋 鉄骨 木造	28,635 1,252 27	鉄筋 鉄骨 木造	2,294	鉄筋 鉄骨	1,821 473	鉄筋 鉄骨	5,321 643	鉄筋 鉄骨	92,772	57,091	29,174	179,037
中 学 校	6,681	鉄筋 木造	6,375 306	鉄筋 木造	304	鉄骨	304	鉄骨	2,123	鉄筋	14,508	12,455	3,552	30,515
	6,983	鉄筋 鉄骨	6,695 288	鉄筋 鉄骨	420	鉄筋 鉄骨	350 70	鉄筋 鉄骨	2,511	鉄筋	16,926	17,331	—	34,257
	2,167	鉄筋 鉄骨 木造	2,136 22 9	鉄筋 鉄骨 木造	216	鉄骨	216	鉄骨	1,198	鉄筋	6,781	9,388	—	16,169
	2,015	鉄筋 鉄骨	1,847 168	鉄筋 鉄骨	—	—	—	—	653	鉄骨	175	11,956	988	13,119
	17,846	鉄筋 鉄骨 木造	17,053 478 315	鉄筋 鉄骨 木造	940	鉄筋 鉄骨	350 590	鉄筋 鉄骨	5,513 653	鉄筋 鉄骨	38,390	51,130	4,540	94,060

3 学校別児童生徒および学級数

(1) 小学校

(平成26年5月1日現在)

学校名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計		特別支援学級の児童数								
	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	学級	学級							
	計		計		計		計		計		計		計		計								
大町東小	23 (2)	2	18 (1)	1	27 (1)	1	43 (3)	2	22 (1)	44	37	17 (1)	20 (0)	222 (9)	12	知的障害 1	情緒障害 1						
大町西小	22 (2)	2	26 (2)	2	52 (0)	2	50 (1)	2	29 (1)	54	48	22 (0)	26 (1)	297 (8)	14	知的障害 1	情緒障害 1						
大町南小	34 (6)	2	30 (4)	2	59 (2)	2	50 (3)	2	26 (0)	68	72	32 (3)	40 (4)	349 (22)	16	知的障害 1	情緒障害 6						
大町北小	32 (2)	2	39 (1)	2	60 (3)	2	66 (0)	2	36 (0)	74	71	34 (1)	37 (0)	397 (10)	15	知的障害 1	情緒障害 1						
八坂小	3 (0)	1	0 (0)	(※1)	4 (0)	1	5 (0)	1	2 (0)	11	14	5 (1)	9 (0)	50 (1)	6	知的障害 1	情緒障害 1						
美麻小	3 (0)	1	1 (0)	1	9 (1)	1	7 (0)	1	4 (0)	6	15	7 (0)	8 (0)	49 (2)	7	知的障害 1	情緒障害 1						
合計	117 (12)	10	114 (8)	9	211 (7)	9	226 (7)	10	122 (3)	257 (6)	257	117 (6)	140 (5)	1364 (52)	70	計	12	8	7	6	11	52	
	98 (1)		84 (0)		116 (3)		109 (5)		135 (3)	6	11	140 (5)		682 (17)									

(2) 中学校

学校名	1学年			2学年			3学年			計			教職員数 (教員数)	特別支援学級の生徒数						
	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	男女		計	学級	学年	1	2	3	計
第一中	42	95	3	57	98	3	61	103	3	160	296	11	35	知的障害	1	2	3	7	3	
	(2)	(2)		(3)	(3)		(3)	(3)		(7)	(10)		(7)							(10)
	53	(2)		41	(3)		42	(5)		136	(10)		(24)	情緒障害	2	2	3			
	(0)			(1)			(2)			(3)										
仁科台中	70	143	4	62	130	4	92	187	6	224	460	17	47	知的障害	1	2	3	6	6	
	(3)	(3)		(3)	(5)		(6)	(4)		(11)	(22)		(11)							(11)
	73	(7)		68	(6)		95	(9)		236	(22)		(36)	情緒障害	6	4	6	16	16	
	(4)			(3)			(4)			(11)										
八坂中	8	14	1	3	8	1	8	9	1	19	31	4	14	知的障害				0	0	
	(0)	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)		(0)							(0)
	6	(1)		5	(0)		1	(0)		12	(1)		(12)	情緒障害	1				1	
	(1)			(0)			(0)			(1)										
美麻中	6	14	1	4	8	1	5	11	1	15	33	4	20	知的障害			2	1	3	0
	(0)	(0)		(1)	(1)		(1)	(2)		(1)	(2)		(1)							
	8	(0)		4	(2)		6	(1)		18	(3)		(20)	情緒障害						
	(0)			(1)			(0)			(1)										
合計	126	266	9	126	244	9	166	310	11	418	820	36	116	計	10	11	15	36	36	
	(5)	(10)		(6)	(9)		(15)	(35)		(20)	(92)		(15)							(35)
	140	(10)		118	(11)		144	(6)		402	(35)		(92)							
	(4)			(5)			(6)			(15)										

※ () 内数字は、特別支援学級の

の数を内数で表す

※1 八坂小2・3学年は2学年複式学級の

ため、学級数は合わせて1

4 小中学校教職員数

(平成26年5月1日現在)

学校名	県										市										費			合計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教授	講師	事務職員	栄養職員	計		教員	事務職員	図書館事務員	栄養職員	給食調理員	校務員	計		男	女	計			
										男	女							男	女						
大町東小学校	1		1	10	1	1	5	1				2	1	1	3	1	1	1	8	1		9	8	21	29
大町西小学校	1		1	16	1	1	2	1	1			2	1	1	4	1	1	3	6	3		9	12	21	33
大町南小学校	1		1	19	1		2	1				2	1	1	4	1	2	2	8	2		10	14	21	35
大町北小学校	1		1	17	1		6	1	1			2	1	1	5	1	2	2	8	2		10	12	26	38
八坂小学校	1		1	5	1		2	1	2			1				1	0	2	2	0		2	4	11	15
美麻小学校	1	1		14	1		2	1				1		1	3	1	1	3	6	1		7	10	17	27
計	6	1	5	81	6	2	19	6	4	51	79	130	10	4	5	3	19	6	9	38	47	60	117	177	
第一中学校	1		1	18	1		3	1		16	9	25	2	1	1	4	1	1	9	10		17	18	35	
仁科台中学校	1		1	26	1		7	1		25	12	37	1	1	1	5	1	2	8	10		27	20	47	
八坂中学校	1		1	7	1		1	1		6	7	13				1	1	0	0	0		7	7	14	
美麻中学校	1	1		14	1		3			10	10	20						0	0		0	10	10	20	
計	4	1	3	65	4	1	14	3	0	57	38	95	3	2	2	9	3	4	17	21	61	55	116		
合計	10	2	8	146	10	3	33	9	4	108	117	225	13	6	7	28	9	13	55	68	121	172	293		

※ () は臨時職員を内数で表す
※ 育児休業代替者を含む

5 外国人英語指導助手（中学校配置）

氏 名	国 籍	契約期間
チェロ アントニー エドワード CIERO ANTHONY EDWARD	アメリカ合衆国	平成25年8月3日～平成26年8月2日
クリーバー ブリトニー ケイト CLEAVER BRITTANY KATE	オーストラリア	平成26年7月29日～平成27年7月28日
マッケイ クリストファー ウィリアム MCKAY CHRISTOPHER WILLIAM	アメリカ合衆国	平成26年8月3日～平成27年8月2日

6 通学区

（1）小学校

学 校 名	通 学 区 域
大町東小学校	社の全区域および大町のうち八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、東町、下白塩町、昭電アパート
大町西小学校	大町のうち大黒町、相生町、九日町、六九町、上仲町、下仲町、名店街、高見町、南原町、堀六日町、白塩町、山田町、北山田町、宮田町、幸町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、高根町、大新田町、和町
大町南小学校	常盤の全区域
大町北小学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、若原町
八坂小学校	八坂の全区域
美麻小学校	美麻の全区域

（2）中学校

学 校 名	通 学 区 域
第一中学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大黒町、相生町、九日町、六九町、白塩町、山田町、北山田町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、幸町、宮田町、若原町、和町
仁科台中学校	常盤および社の全区域ならびに大町のうち上仲町、下仲町、名店街、八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、高見町、南原町、堀六日町、東町、下白塩町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、大新田町、高根町、昭電アパート
八坂中学校	八坂の全区域
美麻中学校	美麻の全区域

7 就学相談委員会取扱件数

(平成25年度)

区 分	取扱件数	相 談 結 果				
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校	就学猶予	その他
在 籍 者	40	5	32	3	0	0
来 入 児	32	18	13	1	0	0
計	72	23	45	4	0	0

8 就学援助

(1) 要保護および準要保護児童生徒援助費

(平成25年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品・通学用品・校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	120 ^人	1,912,569 ^円	96 ^人	2,244,702 ^円
体 育 実 技 用 具 費	11	234,146	0	0
校外活動費 (宿泊を伴うもの)	11	28,560	32	199,239
新入学児童生徒学用品費等	14	278,600	20	458,000
修 学 旅 行 費	33	1,014,885	34	1,949,276
医 療 費	18	114,540	2	10,750
学 校 給 食 費	120	5,843,122	94	5,188,900
計	207	9,426,422	278	10,050,867

(2) 特別支援教育就学奨励費

(平成25年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学 用 品 購 入 費	32 ^人	160,948 ^円	19 ^人	201,629 ^円
校 外 活 動 費 (宿泊を伴うもの)	8	9,035	8	19,276
新入学児童生徒学用品費等	4	39,800	6	68,700
修 学 旅 行 費	4	40,600	6	162,571
校 外 活 動 費 (宿泊を伴わないもの)	31	20,725	7	4,814
体 育 実 技 用 具 費	3	37,950	0	0
学 校 給 食 費	32	748,631	18	512,985
計	114	1,057,689	64	969,975

(3) 遠距離通学費補助

スクールバスの運行状況

(平成25年度)

	利用者数	委託金額
東小スクールバス	28	3,570,000
北小スクールバス	52	5,460,000
北小・第一中スクールバス	73	6,195,000
仁科台中スクールバス	25	3,470,250
八坂小中スクールバス	15	2,703,750
美麻小中スクールバス	64	8,896,400
臨時運行スクールバス		3,482,168
計		33,777,568

距離通学扶助の状況

(平成25年度)

	金額
小学校遠距離通学扶助費	205,570
中学校遠距離通学扶助費	3,840,860
計	4,046,430

9 中学校卒業後の状況

(1) 年度別状況

(平成26年3月卒業)

年 度	卒 業 者		進 学 者		就 職 者		そ の 他	
	男	女	計	率	男	女	計	率
平成 18	167	159	326	98.8	2	1	3	0.9
				%	人	人	人	%
19	157	169	326	99.4	1	0	1	0.3
20	170	153	323	99.1	0	0	0	0.0
21	186	124	310	99.0	1	0	1	0.3
22	167	145	312	99.4	0	0	0	0.0
23	162	170	332	99.1	0	0	0	0.0
24	169	149	318	99.7	1	0	1	0.3
25	155	123	278	99.6	0	0	0	0.0

※進学者には就職進学者を含む
(平成26年3月卒業)

(2) 学校別状況

年 度	卒 業 者		進 学 者		就 職 者		そ の 他	
	男	女	計	率	男	女	計	率
第一中学校	54	50	104	100.0	0	0	0	0.0
				%	人	人	人	%
仁科台中学校	85	64	149	100.0	0	0	0	0.0
美麻中学校	8	4	12	100.0	0	0	0	0.0
八坂中学校	8	5	13	92.3	0	0	0	0.0
計	155	123	278	99.6	0	0	0	0.0

※進学者には就職進学者を含む

(3) 進学状況

(平成26年3月卒業)

学校名	進学者数	高校(公立)		高校(私立)		高専	その他	地域別			
		全日制	定時制	全日制	定時制			市内	郡内	県内	県外
第一中学校	104	80	2	18	0	0	4	37	16	47	4
仁科台中学校	149	124	3	15	0	3	4	64	31	52	2
美麻中学校	12	7	0	1	0	1	3	3	1	7	1
八坂中学校	12	7	0	3	0	2	0	3	2	5	2
合計	277	218	5	37	0	6	11	107	50	111	9

(4) 就職状況

(平成26年3月卒業)

学校名	就職者数	就職地域別			産業別		
		市内	郡内	県外	第1次産業	第2次産業	第3次産業
第一中学校	0	0	0	0	0	0	0
仁科台中学校	0	0	0	0	0	0	0
美麻中学校	0	0	0	0	0	0	0
八坂中学校	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0

10 奨 学 金

(1) 奨学金の貸し付け

ア 貸し付けの対象者

高等学校（高等専門学校等課程及び専修学校高等課程を含み、通信制の課程を除く）
又は大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者

- (ア) 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- (イ) 成績が優秀で身体が強健であること
- (ウ) 品行方正であること
- (エ) 経済的理由により就学が困難と認められること
- (オ) 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に学資等を受けていないこと

イ 貸付金額

高 校 生 月額 15,000 円以内

大 学 生 月額 30,000 円以内

ウ 返済方法

卒業後6か月後から貸付期間の倍の期間以内に返済する。

(2) 貸付数

年 度 対象区分	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
高 校 生	4 ^人	3 ^人	6 ^人	5 ^人	4 ^人	1 ^人	0 ^人	1 ^人	3 ^人	3 ^人
大 学 生	14	13	15	15	7	7	5	2	2	4
計	18	16	21	20	11	8	5	3	5	7

年 度 対象区分	23	24	25	26
高 校 生	2 ^人	0 ^人	0 ^人	0 ^人
大 学 生	2	2	1	1
計	4	2	1	1

1 1 私学振興

(1) 市立幼稚園就園奨励費補助

(平成25年度)

補助金対象園数	4 園	国庫補助金額	3,236,000円	補助率1/3以内
---------	-----	--------	------------	----------

補 助 区 分	補 助 単 価	補助人数	補 助 金 額
市民税非課税世帯・ 市民税所得割非課税世帯 (新条件) (新条件)	第1子 196,200 第2子 251,000 第3子 305,000 第2子 224,000 第3子 305,000	人 15	3,141,200
市民税所得割課税額 77,100円以下の世帯 (新条件) (新条件)	第1子 112,200 第2子 209,000 第3子 305,000 第2子 161,000 第3子 305,000	36	5,152,200
市民税所得割課税額 211,200円以下の世帯 (新条件) (新条件)	第1子 49,800 第2子 178,000 第3子 305,000 第2子 114,000 第3子 305,000	62	4,900,800
合 計		113	13,194,200

(2) 市立幼稚園運営費補助

(平成25年度)

区分	補 助 単 価	補助人数	補 助 金 額	
運 営 費 補 助	園 児 数 1名につき	5,000 円	135 人	675,000
	幼稚園割(年額) (1園につき)	100,000	3	300,000

(3) 私学に対する父母負担の軽減

(平成25年度)

補助対象者	基準人数	補助単価	補助人数	補助金額	備考
朝鮮学園在籍者	1 人	9,000 円	2 人	18,000	学園に補助
私立高校在籍者	1	22,000	79	1,738,000	保護者に補助

1 2 教員住宅

平成 26 年 5 月 1 日現在)

住 宅 名	所 在 地	建設年度	床面積 (m^2)	戸数	使用料 円
幸 町 教 員 住 宅	大町市大町4692-1ほか	平成10年	33.7	6	19,000
			78.3	6	29,000
旭 町 教 員 住 宅	大町市大町2794-1	46	43.6	6	7,000
館 の 内 教 員 住 宅	大町市社5610-2	47	43.6	6	8,000
俵 町 教 員 住 宅	大町市大町5722-5	60	80.7	2	21,000
		62	80.7	2	21,000
		平成元年	45.6	2	14,000
桜 田 町 教 員 住 宅	大町市大町3841-1	63	80.7	1	23,000
旭 町 教 員 ア パ ー ト (借 上)	大町市大町2592-2 ほか	平成13年	31.2	6	26,000
			50.2	6	29,000
大 平 教 員 住 宅	大町市八坂1008-イ3	53	66.0	1	4,000
	大町市八坂1112	56	66.0	1	4,000
明 野 教 員 住 宅	大町市八坂701-1	平成7年	50.0	4	20,000
長 平 教 員 住 宅	大町市美麻11291-1	50	67.0	1	4,200
		49	58.0	1	5,300
北 原 教 員 住 宅	大町市美麻11566ほか	50	58.0	2	4,200
	大町市美麻11568	54	45.4	2	3,200
	大町市美麻11569-1	58	45.4	2	3,200
前 田 教 員 住 宅	大町市美麻11727-1	55	45.4	2	3,200

Ⅲ 生涯学習推進と

社会教育



いきいき学習 エンジョイライフ 大町

生涯学習推進と社会教育

生涯学習基本方針

生涯を通じて学ぶことは、自己を向上させ、生活を高めることを目指すもので、私たちの生活すべてに及ぶ。大町市においても、市民の活動として、また、行政等との連携による取り組みとして、現在まで多くの生涯学習活動が行われている。学習した成果が、暮らしやまちづくりに生かされることによって、喜びは大きくなり、私たちはさらに豊かで生きがいのある充実した人生を送ることができる。

近年、少子高齢社会の進行、高度情報化の進展、産業・就業構造の変化、環境・エネルギー問題、家庭・地域の教育力の低下などめまぐるしく社会状況は変化している。

そこで、社会状況や学習ニーズの変化に対応した生涯学習推進の方向性を示すとともに、それぞれの地域や伝統文化などを学び合い、これからのまちづくりに一体となって取り組む意識の醸成を目指す視点からも、生涯学習推進プランを策定し、生涯にわたって、自主的に、かつ快適に学び、その成果を生かせる生涯学習社会の実現に向け、市民との協働による潤いのある生涯学習によるまちづくりのために四つの基本方針を掲げ、全市的に取り組んでいく。

- 生涯各期にわたる学習機会の充実
- 豊かな人生のための学習機会の充実
- 社会変化に対応した学習機会の充実
- 生涯学習推進体制の充実

社会教育基本方針

新しい時代の生活に即した知識や技術、教養を高め、心の豊かさを追求することができるように、生涯各期に応じた多様な学習を通して、心豊かな個性と思いやりの心を培い、人間性豊かで活力あるまちづくりを進めることが求められている。

生涯学習社会の実現を推進していく上で社会教育は大きな役割を担っており、大町市に関わる全ての市民や団体や行政などが、それぞれにつながり合い参加する協働によるまちづくりを目指し、地域の学習拠点である公民館をはじめ各社会教育施設や学校、地域、民間の諸活動、市長部局などとの幅広い連携の下に、学習ニーズを的確に把握し、講座や事業等の実施、学習機会や学習情報の提供など、自主的な活動を促すように積極的に支援していく。

さらに、地域間の助け合いや、人と人とのつながりの重要性が再認識されており、防災や地域コミュニティの再生という面からも社会教育の力が従来以上に必要となっている。家庭や地域における教育力の向上や、環境問題など現代社会における課題解消に向けた取り組みにも力を入れていく必要がある。そのために、次の三つの柱を重点に社会教育の推進を図る。

- 生涯各期における学習活動の充実
- 多様な分野の学習活動の充実と促進
- 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備



文化祭

1 生涯学習・社会教育

大町市の生涯学習・社会教育の推進には、「生涯学習推進プラン」「社会教育計画」を基本として全市的な取り組みが進められています。多様化する市民のニーズに応じた学習を展開していき、習得した知識・技術・能力を地域に還元できるよう関係機関と連携協力し、調整を図りながらまちづくりを進めます。

(1) 重点施策

ア 生涯学習の推進

- (ア) 生涯学習の推進と総合的な調整
- (イ) 生涯学習推進体制の充実
- (ウ) 学習情報・人材情報の提供と活用促進
- (エ) 学習活動への参加促進と機会の充実
- (オ) 学習活動指導者等の育成と確保

イ 社会教育の推進

- (ア) 基盤整備
 - ①市民参加への啓発
 - ②社会教育機関等の連携と充実
- (イ) 芸術・文化の振興
 - ①芸術・文化の鑑賞機会の提供
 - ②美術振興、美術品収集等についての検討
 - ③関係者、団体との連携及び援助と市民の芸術・文化創造の推進
 - ④北アルプス雪形まつり開催支援

(2) 主な事業

ア 生涯学習の推進

- (ア) 生涯学習推進体制づくり…生涯学習のまちづくり推進本部体制の強化
(専門委員会の活用)
- (イ) 生涯学習リーダーバンク（ボランティアを含む）の充実
- (ウ) 職員派遣制度（出張講座）の拡充
- (エ) 学習情報の集約、提供による学習支援
- (オ) 市内学習情報のネットワーク化の取り組み、IT講習事業の開催
- (カ) 学校開放の推進
- (キ) 学社連携・融合事業の推進……学社融合事業の実施

イ 社会教育の推進

- (ア) 基盤整備
 - ①社会教育計画に基づき事業の推進
 - ②社会教育関係団体の育成・活動支援
 - ③社会教育関係課、係、施設の連絡調整

- ④社会教育指導員設置事業
- ⑤社会教育施設の整備
- ⑥大町公民館分室の管理運営とその体制の充実
- ⑦蔵の音楽館の運営と体制の充実
- ⑧コミュニティ施設等整備事業補助
- ⑨信濃木崎夏期大学への協力

(イ) 芸術・文化の振興

- ①美術振興や美術品収集、施設の充実
- ②「ギャラリー・いーずら」開設による企画展示及び一般貸し出し
- ③市所蔵の美術品の台帳整備
- ④安曇野アトライン推進協議会関連事業の推進
- ⑤美術館めぐり

(ウ) その他

- ①成人式の実施
- ②エネルギー博物館の運営支援
- ③科学振興会支援事業
- ④大町市史・郷土学習冊子の販売

ウ 職員研修

- (ア) 生涯学習、社会教育関係全般

2 青少年

次代を担う青少年の健全育成を図ることを、社会全体の課題としてとらえ、家庭、学校、地域社会が一体となった市民ぐるみの取り組みとして根付くよう努め、青少年育成市民会議、子ども会育成会活動の活性化、青少年センターにおける活動等の充実を図る。

(1) 重点施策

ア 青少年の健全育成

「健全な明るい家庭づくり」「たくましい青少年づくり」「心のふれあう地域づくり」を基調に、市民の理解と協力を得ながら総合的かつ効果的な取り組みを推進する。

- (ア) 青少年育成市民会議を通じた市民ぐるみの運動の推進
- (イ) 子ども会育成会等関係団体との連携、組織強化と活性化
- (ウ) 青少年センターの運営による教育相談、補導活動等の充実
- (エ) 青少年リーダーの養成

イ 市民の連帯意識の高揚

明るくおもしろい心のある心を育て連帯の気風を高めるため、市民総参加による「あいさつ運動」を進める。

(2) 主な事業

ア 青少年の健全育成

○青少年関係

- (ア) 地域子育てセミナーや家庭教育懇談会の開催
- (イ) 「明るい家庭のあり方」「家庭の日」の普及
- (ウ) 青少年の社会参加活動促進
- (エ) 子ども会育成会の少年リーダー養成研修会開催
- (オ) 青少年リーダーの養成
- (カ) 全国子ども会安全共済会への加入
- (キ) 青少年育成啓発事業推進
- (ク) 小・中・高生徒指導連絡会開催
- (ケ) 子どもセンター事業の展開による、情報収集・情報提供及び、相談業務

○補導関係

- (ア) 街頭補導の充実
- (イ) 地域における青少年の健全育成と非行防止
- (ウ) 環境浄化活動の実施
- (エ) 関係機関との懇談会、連絡会開催
- (オ) 電話相談、面接相談の実施
- (カ) 青少年センターだよりなどの広報啓発活動の充実

イ 市民の連帯意識の高揚

自治会・学校・企業などの協力を得ながら、市民総参加による「あいさつ運動」の推進

平成26年度 青少年対策事業推進計画一覧表

(1) 育成関係

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備考
1. 地域子育てセミナー ・家庭教育懇談会	○青少年の諸問題の要因が「家庭のあり方」「家庭教育力」の低下に起因することが多い。 6公民館ごとにセミナーを開催し、乳幼児から青年期まで系統的に対応の仕方を学んで親や地域の自覚を高めるとともに、家庭・地域の教育力の向上を図る。	・セミナー 6地区公民館 (地域住民) ・家庭教育懇談会 市内7会場 (地域住民)	・10月～12月	・6地区公民館等 ・地区集会施設	
2. 大町市子どもセンターの情報提供	○子どもの地域における様々な体験活動を充実させ、家庭教育を支援するための情報収集と情報の提供を民間と協力して行う。	・情報誌の編集と発行 (園児・児童・生徒 一般市民) ・学習相談 (一般市民)	・年間4回 ・随時	・コンビニ郵便局等 ・市教委 (大町市子どもセンター事務局)	
3. 「明るい家庭のあり方」「家庭の日」の普及	○豊かな社会の中で、青少年がたくましく「生きる力」をどう育成したらよいかを検討し、「家庭のあり方」「家庭の日」について啓発、実践に努める。	・広報おおまち、有線放送等による啓発	・年間	・全市	
4. 「あいさつ運動」の普及	○日常のあいさつを通して、市民一人ひとりの心の結びつきを強め、連帯感のあるまちづくりを推進するため、「あいさつ運動」を普及し、明るい大町市づくりに向けて運動をすすめる。	・広報、有線放送による啓発 ・街頭啓発強調期間 全市民 (自治体の計画による取り組み)	・年間 ・4月・9月	・市内全域	
5. 青少年の社会活動参加促進 子ども会の育成	○児童・生徒の社会参加活動を通して、活力あふれた子ども会を育成するとともに、郷土理解、住民意識、仲間づくり、奉仕の精神など青少年の自己形成と、次代の社会のよりよき担い手となる青少年を育成する。 ・社会連帯意識の醸成を図る。 ・中・高校生の地域活動参加促進	・子ども主体の行事 ・奉仕活動 (クリーン活動など) ・伝統文化の継承 〔単位育成会 子ども会〕 ・各自治体	・年間	・全市	

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備考
6. 全国子ども会安全共済会加入	○安全思想の普及に努め、相互扶助の精神に基づき子ども会活動に起因する傷病に見舞金を給付し、子ども会活動の充実発展に寄与する。	・幼児・小中学生 ・高校生 ・育成者	・普及 4月1日～ 3月31日	・単位育成会	市費補助
7. 子ども会育成会リーダー研修会	○団体生活を通じて、自主性・創造性・協調性・指導性等を養い、将来青少年団体のリーダーにふさわしい資質の向上を図る。 ・青少年リーダーの養成 大町市子ども会育成連絡協議会少年リーダー研修会	・講義、座談会 ・実習、野外活動など ・6地区小中学生	・6～3月 ・年間7回 (5～2月)	・各地区 ・市内の施設	
8. 県子連ジュニア・リーダー研修会	(宿泊をともなう団体生活を通じて)	・子ども会活動の進め方 (中、高校生)			
9. 青少年育成啓発推進	○市民の意識の高揚と運動の活性化を図るため、県、国の事業と活動に合わせ、集会や広報等を通して健全育成のための啓発活動を行う。 ・「青少年の非行被害防止全国強調月間」 「青少年に有害な社会環境排除県民運動強調月間」 「第64回社会を明るくする運動」 ・第30回大町市青少年育成市民大会 ・「青少年健全育成全国強調月間」	・チラシ、パンフレットの配布、ポスター掲示、広報、有線放送による啓発 ・街頭啓発(全戸) ・保護司、民生児童委員、補導委員、育成会等関係者による懇談会 関係団体及び市民	年間 7月1日～ 7月31日 8月23日 11月1日～ 11月30日	・市内 ・サンアルプス大町	



青少年育成市民大会



雪遊び交流会



リーダー研修会 工作体験

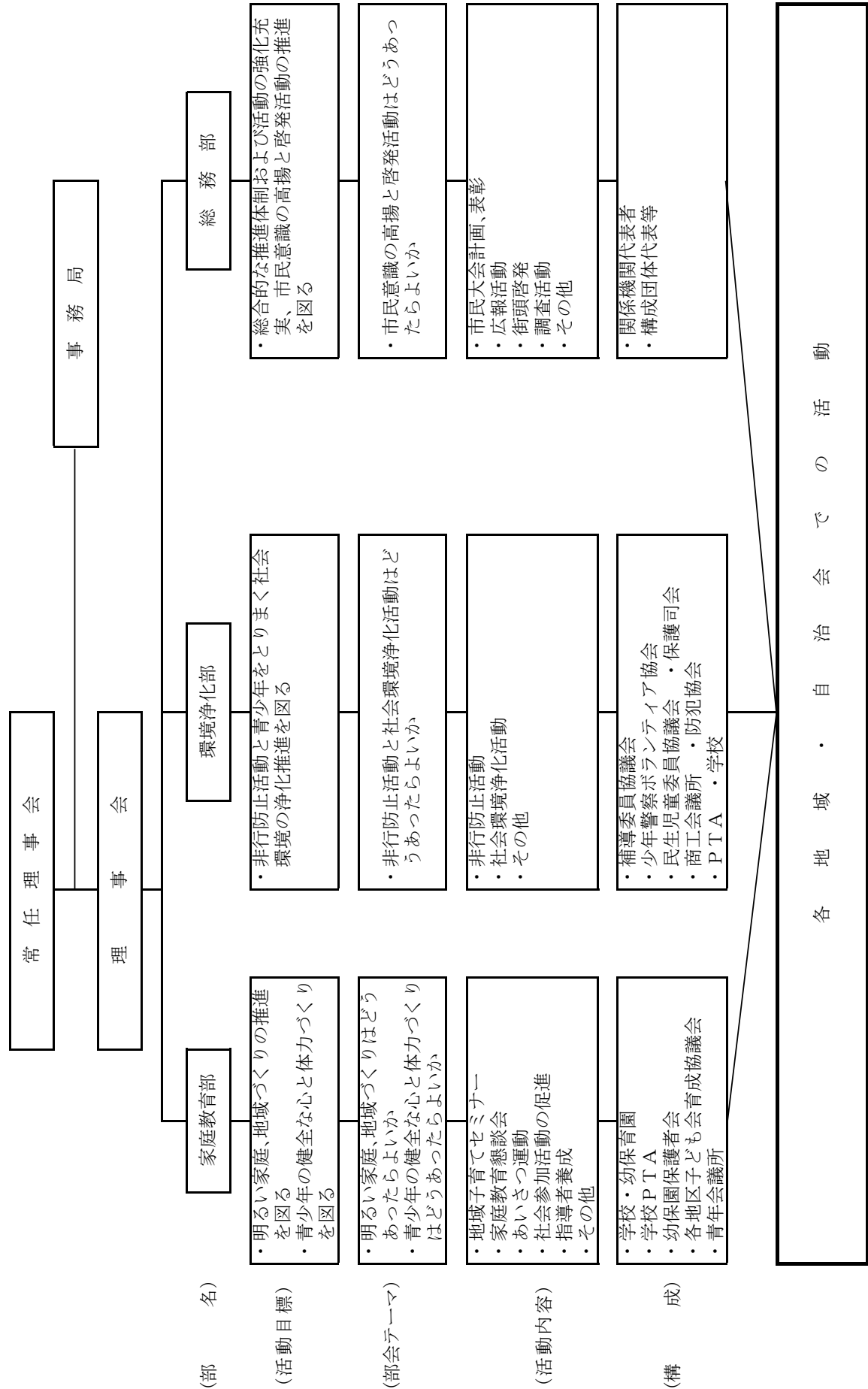


リーダー研修会 カヌー体験

(2)補 導 関 係

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備 考
1. 街頭補導活動	○少年非行や問題行動にともない、街頭に出て非行防止と指導に当たるとともに実態把握に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・82人の補導委員により年間40回の街頭補導を実施 ・小中PTAとの合同補導 ・市内小・中学校においてあいさつ運動 ・児童・生徒の下校時の巡視 ・列車内補導 ・補導活動に関する会議、研修会 ・祭典時の補導活動 	年 間 (7.8.9.10月) 年間適宜	市全域	
2. 地域内における非行防止、早期発見活動	○地区内関係機関、団体と連携懇談を通して非行の早期発見に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内関係機関、団体との懇談 (自治会、育成会、PTA等) 	夏休み前	市全域	
3. 環境浄化活動	○青少年のための環境浄化改善を推進し、環境浄化部会と連携し、青少年の非行防止と健全育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・補導員による担当地区内環境浄化活動 ・有害自動販売機NO運動の推進 ・青少年に関係する店舗への聴き取り調査 ・子どもの「居場所」づくり 	年 間	市全域	
4. 他機関との連絡会議	○関係機関との連絡を密にし、情報交換を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・県補導センター会議 ・小中PTA地区懇談会参加 ・中信四市補導センター連絡会議等 	年 間		
5. 少年教育電話相談・面接相談	○少年の悩み相談、安定した生活への援助を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高と保護者 ・有職無職少年 	毎週 月～金曜日	市役所	
6. 広報活動	○補導の実情、非行の現状等を広く市民に公開し、青少年の健全育成についての意識高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターだより ・広報おおまち ・有線放送 ・チラシ等 	年3回 (7月・11月・2月) 他は必要に応じて		

◎青少年育成市民会議の組織



3 文化財

当市は、県下でも国宝・重要文化財をはじめ、県や市指定の文化財を数多く有する文化財の宝庫である。この貴重な文化財を保護し、後世に伝えていくことは市民の責務である。このため、広く市民の理解を求め、意識の高揚を図るとともに、新しい地域文化の創造のため大町市文化財センターを中心に、積極的な活用を図る。

(1) 平成26年度事業計画

ア 埋蔵文化財関係

(ア) 開発予定地内（大町高等学校ほか）及び、学術的な発掘調査・試掘調査

イ 一般文化財関係

(ア) 居谷里湿原環境整備事業

(イ) 国・県指定文化財パトロールへの協力

(ウ) 市指定文化財パトロールの実施

(エ) 未指定文化財の調査、指定候補文化財の選定、諮問

(オ) 古文書のリスト化

ウ 広報啓発関係

(ア) 大町市文化財センターの運営・展示

(イ) 市指定文化財等説明板設置事業

(ウ) 市指定文化財等講演会

(エ) 文化財強調週間（11/1～11/7）における発掘調査報告展など

(オ) 文化財防火デー消防訓練

(カ) 文化財めぐり、文化財講座の開催

(キ) 国重要文化財 旧中村家住宅の公開（4月～11月）

(2) 指定文化財
ア 国指定文化財

(平成26年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
仁科神明宮本殿・ 中門（前殿） S28. 3. 31	国宝	2棟	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	本殿は桁行3間、梁間2間、神明造、 檜皮葺。中門は四脚門、切妻造、檜皮葺。 古式を遺す。釣屋附属指定。
木造棟札 S25. 8. 29	重文	27枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	仁科神明宮にある20年に一度の式年遷 宮の際の棟札。永和2年（1376）から 安政3年（1856）までの27枚が指定。
御正体 S36. 12. 17	重文	5面	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	銅製円盤に神明宮の本地仏大日如来等 を取り付けた懸仏。11面が附属指定。 裏面に年代銘のあるものもあり。
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30	重文	1棟	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	桁行3間、梁間3間、寄棟造、松本平で は最古の寺院建築。室町中期の建造物 と考えられる。
鉄鰐口 S32. 2. 19	重文	1口	木舟地区 社4, 866-2（木舟） 保管は山岳博物館	鉄製で年代の明らかな鰐口としては わが国最古のもの。面径24cm。 表面に安貞2年（1228）の陽刻銘あり。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12	重文	1棟	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	一見豪壮華麗な桃山風を思わせる一間 社、隅木入春日造、檜皮葺。承応3年 （1654）の棟札1枚が附属指定。 地方としては大社の風格を備える。
高瀬溪谷の噴湯丘 と球状石灰石 T11. 10. 12	天記		国（農林省） 平湯俣	温泉沈殿物が河床に堆積して、火山状 の噴湯丘になり、中央の湧き口に白い 小豆粒大の球状方解石ができる現象。
木造千手観音立像 S25. 8. 29	重文	1軀	覚音寺（藤尾） 八坂1, 625番地	檜材、寄木造、像高168.2cm、造像年代 が、平安時代末期である。木像の胎内 には、願主・仏師などの名前や治承3 年（1179）3月と年代など造像事情を 記した墨書木札、白銅製菊花双雀文鏡、 紙本千手観音摺仏が納入され、白銅鏡 は附属指定。
木造持国天立像・ 木造多聞天立像 S25. 8. 29	重文	各1軀	覚音寺（藤尾） 八坂1, 625番地	2 軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、 檜材、寄木造。像高は、持国天161.5cm、 多聞天157.6cm。像の背面には、持国天・ 建久5年（1194）、多聞天・建久6年 （1195）年と年号の陰刻銘が刻まれて おり、これが造像年代と考えられる。
旧中村家住宅 主屋・土蔵 H19. 12. 3	重文	2棟	大町市（青具） 美麻17, 668番地	主屋は、桁行14間、梁行6間、建坪84 坪（約278㎡）の木造平屋・茅葺・寄棟 造で、元禄11年（1698）建立と建築年 代が明らかな民家として県内最古。 土蔵は、桁行6間、梁行4間の切妻造で、 安永9年（1780）と建築年代が判明す るものとしては県下で古い例に属す。 るものとしては県下で古い例に属す。

注：重文＝重要文化財 天記＝天然記念物

イ 県指定文化財

(平成26年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
若一王子神社三重塔 S41. 1. 27	県宝	1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	木食故信法阿の発願で宝永8年(1706)に造営。松本平では唯一の塔。棟札4枚が、附属指定。
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14	県宝	1躯	弾誓寺観世音保存会 大町4, 188 (九日町)	平安初期の貞観様式を多分にもつ平安中期の作。檜材の一木造。像高約161.5cm。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27	県宝	1基	天正寺 大町4, 729-4 (十日町)	若一王子神社三重塔の原型と伝えられる。江戸中期の作。
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159(宮本)	9月15日例祭に奉納される、能を取り入れた荘重典雅な神楽。
上原遺跡 S35. 2. 11	史跡		大町市ほか 平1, 955-355ほか (上原)	昭和25年から数次にわたる発掘調査により、2群の配石遺構と竪穴等の遺構、遺物が発見された。
居谷里湿原 S46. 8. 23	天記		傘木篤ほか12人 大町8, 279-10 ほか (居谷里)	多種の食虫植物のほか、湿原特有の木本・草本がみられる。特にハナノキの隔離分布地、暖地性のハッチョウトンボの生息地として貴重。指定面積約21,000㎡。
若一神社社叢 S40. 4. 30	天記		若一王子神社 大町2, 097-1ほか (俵町)	指定面積約17,000㎡。300本に及ぶスギと、130本程のヒノキを主体にし、生育する。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17	天記		仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	指定面積約19,000㎡。スギ・ヒノキが主で、他にアカマツ・クリ・コナラ・ツガ・モミなどがあり、いずれも巨木。
大黒町舞台 S62. 8. 17	県宝	1基	大町市大黒町 大町2, 199 (大黒町)	諏訪の宮大工立川富棟・富昌父子によって江戸後期の製造とされる。2層構造、切妻起屋根三輪形式の可動舞台。
仁科神明宮作始め 神事 H2. 2. 19	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159(宮本)	毎年3月15日に行われる神事。一連の水田耕作の所作をユーモラスに演じ、その年の作況を占う。
霊松寺山門 H5. 8. 12	県宝	1棟	霊松寺 大町6, 655-イ (山田町)	入母屋造、桁行3間、梁間2間の楼門形式。各所に建築彫刻が施される。名工藤森広八の代表作であり幕末期の信州を代表する社寺建築の一つ。
大町市のカワシンジ ュガイ生息地 H19. 1. 11	天記	2箇所	国土交通省 農具川水系 平20, 677番地2先から 15, 637番地1先まで 居谷里沢水系 大町8, 267番地11先から 8, 194番地先まで	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水生二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川と居谷里沢の生息地2箇所を地域指定。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
銅造十一面観音坐像 御正体残闕 H11. 3. 18	県宝	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	同社観音堂の本尊。本来は懸仏であったが、鏡板を失い仏体のみとなっている。铸造。像高19cm。
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16	県宝	6点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (関田)	四耳壺1、 ^{へいし} 瓶子2、 ^{はじき} 土師器1、 ^{せいはいくすいちゆう} 青白磁水注1、 ^{ぼくしよしやきようせき} 墨書写経石1。 古瀬戸の四耳壺、瓶子は鎌倉期の国産。 水注は中国の景德鎮での製造と見られる。
流鏝馬の神事 H13. 9. 20	無民		若一王子神社 流鏝馬保存会 大町2, 097 (俵町)	7月29日に若一王子神社で行われる神事。 7～8歳の男子が化粧し、狩衣の装束をつけ、馬に乗り、神社参道奥の馬場で弓に矢を番えて射る。
大塩のイヌ桜 S37. 7. 12	天記		藤川毅徳ほか8名 美麻3, 342番地 (大塩)	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から「静かの桜」と呼ばれる。 目通り幹囲は8.45m、桜は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。
若一王子神社観音堂 及び ^{きゆうでん} 宮殿 H23. 9. 29	県宝	1棟及び 1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	観音堂は江戸中期の宝永3年（1706）に建立された寄棟造、茅葺・三間四面の和様建築。宮殿（ ^{ずし} 厨子）は豪華な ^{わとうせつちゆう} 和唐折衷様式。棟札附属指定。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財



重要文化財 盛蓮寺観音堂小学生見学

ウ 市指定文化財

(平成26年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
広形銅戈 (海の口上諏訪社) S46. 12. 10	有文	1口	海の口上諏訪社 平14, 505 (海の口) 所有・保管は大町市 文化財センター	全長24. 5m。弥生時代後期初頭。弥生文化の伝 採 のありさまを物語る貴重な資料。 出土地・伝世地が不明なのがおしまれる。
オオヤマザクラ S46. 12. 10	天記	20本	加蔵栄ほか (団体を含む) 平22, 419-3ほか (青木)	群生地としては本州の南限。 淡紅色のはなやかな色彩をもち、北アル プス山麓の景観構成要素となっている。
宮本・松崎紙紙すき 用具コレクション S50. 4. 15	民資	1式	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	江戸時代から使われていた和紙製造用 具。 この地方の紙漉業の全容を知る上で貴重 な資料。
山寺廃寺跡出土遺物 H18. 3. 25	有文	2点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	墨書経石1、灰釉小皿1。県宝指定「山寺 廃寺跡出土品」に付随すると考えられる 出土遺物。
盛蓮寺木造不動明王 立像 S57. 3. 3	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	仏丈65cm。総丈98cm。鎌倉末期の製作。
盛蓮寺木造薬師如来 坐像 S57. 3. 3	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	檜材寄木造。胎内に「文安第四丁卯三月 廿四日、願主、喜香叟」の墨書銘あり。 文安4年(1447)の製作。
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6	史跡		天正寺ほか 大町4, 729-4ほか (十日町)	仁科氏が館之内から居館をこの地に移し たと考えられる鎌倉末期から、室町末期 に滅亡するまでの居館跡。外堀・内堀の 2重の堀や土居を囲わせた居館。
大町市のヌマカイメ ン S62. 3. 2	県宝		中綱湖ほか	県下では当市のみで生息するといわれる 淡水海綿。中綱湖が主な生息地。「種」 の指定。
大町市のカワシンジ ュガイ S62. 3. 2	天記		中部農具川ほか	県下では当市と戸隠に生息する淡水生二 枚貝。約3万年前から存在している「生 きた化石」。中部農具川、居谷里沢のみ に生息。「種」の指定。
大沢寺木造阿弥陀如 来立像 S62. 3. 23	有文	1軀	大沢寺 大町4, 156 (堀六日町)	像高49cm。総高78cm。檜材寄木造、 頭部は藤原様に近い。
西正院木造大姥尊坐 像 S63. 1. 14	有文	1軀	大姥堂世話人会 平1, 298 (野口)	像高39. 5cm。檜材、寄木造。室町中期 の作。立山信仰の本尊。裏山道の入口に あたるこの地に、本像を将来したか。
霊松寺のオハツキイ チョウ S63. 1. 14	天記	1本	霊松寺 大町6, 665-イ (山田町)	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の 意で、ギンナンが葉の上に結実する先祖 返り的な珍奇な現象をもっている。全体 の約1割にこの現象が見られる。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
天正寺山門 S63. 1. 14	有文	1棟	天正寺 大町4, 730-1 (十日町)	和様の薬医門。元禄元年(1688)の建立。 棟札あり。
長性院木造聖観世音 菩薩立像 H1. 3. 28	有文	1軀	長性院 大町3, 682-4 (南原町)	像高107cm、総高184.3cm。 檜材寄木造。江戸中期。木食山居の作。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23	天記		下一高瀬川河川敷 共有地組合 常盤6, 720-3 (上一近藤紡東南)	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。 この存在によって松本盆地の地下の様子やでき方を知り、また、糸魚川静岡線の通過位置に知る手がかりが得られる。
盛蓮寺木造如意輪観 音坐像 H3. 5. 31	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937-1 (曾根原)	像高77.6cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
木舟薬師堂木造 薬師如来立像 H3. 5. 31	有文	1軀	木舟地区 社4, 886-2 (木舟)	像高113.0cm。総高122.8cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
市立大町山岳博物館 のトキ標本 H4. 5. 19	天記	1体	市立大町山岳博物館 大町8, 056-1 (神栄町)	トキは天然記念物であり、国際保護鳥として保護されてきたが、野生のものは絶滅してしまっている。また、現在飼育下のものも、繁殖を試みるが未だ成功を見ず、まさに地球上から姿を消す寸前にきている。このような事態にあるトキ
長野県大町高等学校 のトキの標本 H4. 5. 19	天記	1体	長野県大町高等学校 大町3, 691-2 (南原町)	の標本は大変貴重なものである。 市立山岳博物館のトキは大正8年(1919)に、長野県の大町高等学校のトキは大正6年(1917)に、それぞれ美麻村で捕獲されたものである。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31	天記	1本	一本木神社 常盤4, 733-1 (上一本木)	目通り周囲3.35m。樹高25.5m。推定樹齢300年。二次林の構成種としてはまれにみる大木。
仏崎観音寺のアカマツ H4. 5. 19	天記	1本	仏崎観音寺 常盤5, 445-2 (泉)	目通り周囲4.2m。樹高20m。2本の独立幹が肥大成長にともなって融合した「和合木」。大町地方としては稀に見る大木。
たんせい 弾誓寺観音堂木造伝 弾誓上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高75cm。檜材寄木造。17世紀中頃の作。 彫りは丁寧で写実性に富み、完成度の高い作品である。
弾誓寺観音堂木造伝 長音上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高78cm。檜材寄木造。 元禄13年(1700)の作。弾誓寺4世「願誓岳空寂阿」によって造像された。
海ノ口のアカマツ (カサマツ) H5. 6. 25	天記	1本	海ノ口・一津・崩沢共有 平13, 109-1 (東海ノ口)	目通り周囲4.17m、樹高18m。樹齢推定300年以上。樹形は単幹で傘型をしており、別称『カサマツ』と呼ばれ親しまれている。稀に見る大木である。
中シマのモリアオガ エル繁殖地 H6. 4. 28	天記	地域 指定	西沢可雄 平23, 109-1 (中綱湖東)	指定地面積1,543㎡。モリアオガエルは樹上に泡状の卵を産む特異な生態をもつカエル。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28	天記	2本	清水仲間 常盤4, 203 (須沼)	東幹の樹高20. 5m、目通り周囲3. 5m。 西幹の樹高25. 5m、目通り周囲4. 1m。 薬師堂の門木の位置にある。
盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	像高24. 1cm。桂材の寄木造。室町時代前半の作。光背、台座などは江戸時代後期に補われている。
天正寺木造 薬師如来立像 H7. 4. 26	有文	1軀	天正寺 大町4, 729 (十日町)	像高261cm。檜材寄木造。体内木札より延宝5年(1677)「生誉蓮入比丘」の作と判明している。かなりの巨像で、しかも丁寧に仕上げられている。
西山西原のイチイ H7. 4. 26	天記	1本	横沢毅昌 常盤8, 063-5 (西山)	目通り周囲2. 95m、樹高12. 5m、稀に見る巨木で樹形も美しく、ひときわ目立つ。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26	天記	1本	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	目通り周囲3. 05m、樹高8. 5m。推定樹齢150年で市内最大のものと見られる。大黒天石像の脇に生息しており「大黒様のシダレザクラ」と呼ばれている。
大黒町追分の石像 大黒天像 H8. 3. 25	有文	1基	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	嘉永5年(1852)に、高遠町の石工によって彫られた像。現在のところ松本平では最大(全高約2m)にして最古のもので彫刻技術も秀れている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25	史跡 有文	1基 出土品等	大町市教育委員会 平8, 040-443 (新郷)	南北10m×東西9mの円形の積石塚で、内部の埋葬状態もよく、副葬品も多数出土している。
若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24	有文	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	推定像高180cm。檜材寄木造。11世紀の作。明治初年に燃やされ、体部に損焼をうけているが、神社の本地仏と伝えられ、最古の社宝である。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24	民資	1面	仏崎観音寺 常盤6, 966 (泉)	安政2年(1855)に製作された縦210cm、横475cmの大型の絵馬。村ごとに寄進者名が記され、当時の庶民信仰のあり方などがうかがえる貴重な資料である。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24	天記	1本	飯島昌他7名 大町8, 254 (三日町)	目通り周囲5. 1m、樹高29m。三日町分水集落の氏神、若宮八幡宮の御神木で、全国的にもまれな大経木である。
西山城山のエドヒガン H9. 3. 24	天記	1本	倉科善吉 常盤8, 099-1 (西山)	根回り周囲5. 33m、樹高29mの二幹に分かれた大木。西山城址の急峻な北斜面に生育し、谷側に大きく枝を張っている。
仁科神明宮の銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25	有文	1面	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	鏡の直径は、約27cmを計る。鏡背には大日如来等の梵字と奉納者名、紀年銘、製作の趣意が陽鑄されている。
仁科神明宮の木造棟札 H10. 3. 25	有文	6枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	重要文化財に指定されている棟札以外の明治から昭和にかけての棟札で、明治維新から昭和の大戦をも乗り越えて伝統を守ってきた、式年造営の証として貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
仁科神明宮木造 小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25	有文	1枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	檜板に書かれた高札で縦34cm、横61.3cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、市内における最も古いもののひとつである。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25	天記	1本	高根町自治会 大町7, 174-1 (高根)	単幹。目通り周囲465cm、樹高12mを計り、傘型のエドヒガン特有の樹冠を呈する。昭和初期以前には、このサクラの東側にお堂があり、その堂守との関係から植栽されたものと考えられる。
山下神社 木造 小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26	有文	1枚	山下神社 社6, 097 (北野)	檜板に書かれた高札で縦33.8cm、横59cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、仁科神明宮の高札同様に古いもののひとつである。
大町市のキザキコミ ズシタダミ H13. 6. 27	天記		木崎湖、中綱湖	日本産ミズシタダミ科の希少種の一つ。カワシンジュガイとともに氷河期の遺存種ともいえる貝。「種」の指定。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22	有文	1具	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	一間社（124cm四方）、高さ155cmを計る。大町の人々から「天王様の神輿」と慕われていた。江戸時代中期の作。
飯嶋善士氏所有「信越連帯新道」関係史料及び飯嶋家文書一括 附、その他史料 H15. 2. 26	有文	1式 (712点)	飯嶋善士 平92(野口) 保管は大町市文化財センター	飯嶋家文書一括指定ほか、関連する歴史史料。その内最も注目されるのが表題に掲げられる「信越連帯新道」関係の文書及び旅宿看板などの歴史史料である。明治初年、信州一越中間の最短の交易路として整備された「信越連帯新道」の開発経緯を記した文書記録である。
八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像 H16. 2. 19	有文	1軀	八日町自治会 大町1, 134-9 (八日町)	像高114cm。総高168cm。檜材寄木造。頭部は鎌倉時代製作当時のものであるが、軀部以下は江戸時代に補われたものである。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19	天記		西沢茂人ほか3名 平18, 235~18, 240 (海ノ口)	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属し、これが生息する姿見池は、平西海ノ口地籍の標高1, 100mの山腹にある。
西沢正雄氏所有文書一括 附、その他の史料 H16. 2. 19	有文	1式 259点	西沢正雄 平55-1(野口) 保管は大町市文化財センター	西沢家は、江戸時代初期には野口村庄屋を勤め、江戸時代末の文政2年(1819)から明治までの半世紀は大町5か村を束ねる大庄屋役を勤めており、この関係文書が貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
栗林士郎所有文書 一括 H17. 3. 25	有文	1式 2,581点	栗林士郎 大町4,084 (下仲町) 保管は大町市文化 財センター	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家である。この役目上から残された文書は、分野が多彩で数多く貴重なものである。
しょうぶ 生婦平出土銅造端花 そうちゅうはちりょうきょう 双鳥八稜鏡 H18. 3. 27	有文	1口	大町市 八坂1,108-1番地 八坂支所(大平)	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。 直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。
大平地蔵堂の木造 地藏菩薩立像 H18. 3. 27	有文	1軀	大平自治会 (大平) 八坂1,298番地	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の造りと考えられる像。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 7	有文	1棟	小松尾諏訪神社 (小松尾) 八坂5,693番地	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は、浅川豊八(大隅流)により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。
医王谷飯綱神社 筒粥占い神事 H9. 3. 24	民資		飯綱神社 (梨平) 八坂25,794番地	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行われていた。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いを行う神事。
野平神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	野平神社 (野平) 八坂14,695番地	本殿は、三間社・流造り・柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27	有文		八坂医王会・大日講中 (矢田川) 八坂9,641-1番地	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、年代の古いものから①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年。③庚申塔が江戸後期の文化14(1807)年。④徳本上人合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3(1850)年となる。
北条蜂の徳本上人 追善供養塔 H18. 3. 27	有文	1基	寺島昭一ほか3名 (北条) 八坂13,609-ロ-1番地	砂岩製で残存する石碑高が108cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。制作年代は、江戸後期の文政元年(1818)。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
曾山の善光寺千人 参り名号塔 H18. 3. 27	有文	1基	如来様講中 (曾山) 八坂9, 179-4番地	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。材質は砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原、若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による平成6年道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地積に所在した。
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	一間社・流造。規模は間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日に再建されたもので、立川豊八(安曇郡長長尾組岩原住)による建築。附属指定として、棟札3枚がある。
富士浅間神社楽殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	江戸時代後期の建立。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁。舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安政年間のものが多い。大型のものも多く、製作年間は安永6年(1777)年から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	千見神明宮 (千見) 美麻25, 878番地	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年(1841)9月の造営建築である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原甚五郎、曾根原謙蔵。最も古い慶長17年(1617)の棟札と藩奉行6名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定。
千見神明宮絵額と 句額 H18. 3. 27	有文	1式	千見神明宮 (千見) 美麻25, 878番地	千見神明宮に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が指定。絵額の制作年代は、天明7年(1787)～安政2年(1855)。また句額の制作年代は、文化5年(1808)～明治33年(1900)のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	一間社・流造り。彫刻が優れる。現在の社殿は、文政8年(1825)建立で、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。
下條家関主門 H18. 3. 27	有文	1棟	下條秀則 (千見) 美麻26, 036番地	旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏(1656～1735)の代に関守を置き下條家はその任をまかされ、警備にあたった。門正面は三間、奥行二間の門に、切妻屋根。

注：有文＝有形文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
水上神社の神輿巡幸 H18. 3. 27	民資	1式	水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	現在は、神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。裱に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。
中村武本氏所有 文書一括 H18. 3. 27	民資	1式	中村一仁 (青具) 美麻17, 668番地	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政及び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 26④追加指定	有文	4点	山本はる子 ほか2名 旧中村家住宅土蔵 保管(青具) 美麻17, 668番地	指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」正徳元年(1711)。②「毒薬禁制」正徳元年(1711)。③「にせ銭禁制」天保10年(1839)。④「親子・ ^{ぼくろ} 博奕・忠孝等の定め」正徳元年(1711)。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27	有文		戴神社 (新行) 美麻権現山南東	権現山の山麓に堂屋敷と言いつた碑文が残る屋敷跡。付属指定として、ウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラマツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27	有文		千見神明宮ほか 6名 (千見) 美麻城山25, 450-ロ-3 ほか	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また武田方の山県昌影により、弘治2年(1566)火攻めにされ落城したと伝えられる。本丸東西50m×南北20m、二の丸東西40m×南北30m、三の丸東西20m、南北15mを計る。
大塩山城跡 H18. 3. 27	有文		倉品愛子ほか5名 (大塩) 美麻855番地ほか	本丸跡(12×27m)、二の丸、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山跡。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり。
堀の内遺跡 H18. 3. 27	有文		伊東久雄ほか5名 (大塩) 美麻938番地ほか	遺跡内では平成5年と平成12年における2回の発掘調査を実施。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡。中世の遺構としては、居館が確認されている。
向生仏屋敷出土灰 釉陶器広口瓶 H18. 3. 27	有文	1点	田中一志 旧中村 家住宅土蔵保管 (青具) 美麻17, 668番地	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高19.7cm。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は10世紀前半。
横川重忠氏所有木造 阿弥陀仏如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	横川重忠 (須沼) 常盤4, 308-3番地	総高48.5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。
千見細貝薬師堂の 木造薬師如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	横川重忠 (須沼) 常盤4, 308-3番地	薬師如来像は木食山居作と推定され、総高45cm、像高36.5cm。同じ堂にあった聖観音立像は木食山居作と推定される。江戸時代中期の木造が付属指定。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
大倉のイチイ H18. 3. 27	天記		宮田武男 (青具) 美麻21, 770番地	坪庭に鉢植えしたのが、大木になったと伝えられ、伝承では、樹齢約1000年といわれている。目通り4.73m、根回り4.7m、高さ21.3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27	天記		水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	水上神社ご神木。目通り6.3m、根回り7.67m、高さ53.1m。伝承では、樹齢750年余りと推定されている。
若栗のアオナシ H18. 3. 27	天記		種山賢児ほか3名 (高地) 美麻34, 161番地口 若栗峠	目通り周囲4.31m、樹高16.8m。長野県では第2位にあたる。樹齢約500年と伝承されている。成長に伴う融合性の幹枝。
たかはしひろお 高橋鴻生氏所有文書 一括 H18. 3. 27	有文	1式	高橋鴻生(松崎) 大町市文化財センター 保管 社6, 567番地	高橋家は、江戸期を通じて松崎村庄屋、潤田村庄屋を兼務した。所蔵文書は、村方文書を主とする文書がある。文政8年に当地で発生した赤蓑騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤蓑騒動』は唯一の現存本として大変貴重。
中村孝三述 『学びの糸口』 H19. 3. 27	有文	1冊	大町西小学校 大町4, 733-3 (北原町)	この手記は、明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物



長性寺跡発掘調査

4 人権教育

基本的な考え方

大町市では、国際社会全体であらゆる人権問題を解決していこうとする気運の高まりに合わせ、2003年（平成15年）3月、「人権の世紀」と言われる21世紀の大町市における人権教育・啓発の指針となる「人権教育のための大町市行動計画」を策定した。

また、2007年（平成19年）には、先の「行動計画」を基にした人権諸施策を継続して推進するため、「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」を定めた。

さらに、平成21年度から23年度は、文部科学省人権教育総合推進地域事業の指定を受けて、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取り組みを行った。

人と人とのつながりを大切にした、共に生き支えあう社会の構築と、人権を尊重し差別のない大町市を実現するためには、一層の市民一人一人の人権意識の高揚を図ることが不可欠であり、そのための人権施策を積極的に推進することが重要となっている。

また、市政のあらゆる分野で人権尊重を基調においた施策を進めるとともに、家庭、学校、地域、企業、職場が、お互いに連携して人権教育・啓発事業を推進していくことが大切である。

差別の解消のために、教育及び啓発の果たす役割は、極めて大きい。従って、次の重点課題を目途に、「人権の世紀」にふさわしい人権教育・啓発事業を進めていく。

（1）重点課題

- ア 人権教育は、同和問題をはじめとする、性別・子ども・高齢者・障がい者・国籍（外国人）等のあらゆる差別の撤廃を目指す。
- イ 人権問題は、他人ごとではなく自分自身の課題であり、さらに、自分や家族・職場の問題でもあることに気づき、主体的に受け止めるよう啓発していく。
- ウ 人間誰しも、差別意識が心の中に内在しているという自覚と意識を持ち、日常生活の中で、人権感覚をより深いものにしていくことが大切であるということを、啓発していく。
- エ 人権教育を進めるにあたり、これまでの同和問題の解決に向けての取り組みや手法の成果や反省の上に立って、教育・啓発内容、方法に創意工夫をしていく。
- オ 人権教育は、住みよい活力のあるまちづくりの中核となる課題でもあるということの自覚を一層求めていく。

（2）平成26年度人権教育推進事項

ア 就学前教育関係

- （ア）市立保育園・私立幼稚園に人権教育の推進を呼びかける。

- (イ) 幼児教育・保育関係職員の講座・研修会等への積極的参加を呼びかけ、また資料を提供する。

イ 学校教育関係

- (ア) すべての教師が人権問題について正しい認識をもち、児童・生徒に対し差別の不当性を理解させ、差別のない社会をつくる人間の育成を目指す。
- ① 市内小中学校各1校を人権教育推進校として指定し、年に1回(秋)、人権教育授業を広く学社に公開し、学校人権教育に対する理解を拡げる。
 - ② 「学校人権教育研究委員会」を継続し、人権教育を推進するための研究協議を行い、市内幼保小中高等学校の人権教育の一貫した実践を図る。
 - ③ 市内幼保小中高等学校教職員を対象とし、人権教育研修会・研究授業と研究会の開催や実践のまとめを行う。
 - ④ 要請に応じて、市内幼保小中高等学校における人権教育に係わる講演会ほかの開催に協力・支援を行う。
- (イ) 解放子ども会の運営
- ① 差別を見抜く力、差別に立ちむかい解決していく力の基盤となる学力保障を重点に運営していく。(平成20年度より休会)
- (ウ) 人権教育の資料収集と整備、活用
- ① 小学校低中高学年用「あけぼの」・中学校用「あけぼの 人間に光あれ」の配布と活用の呼びかけ、「人権教育作品集(ヒューマンライツ)」および「大町市学校人権教育実践録」の作成と配布
 - ② その他、資料の収集
- (エ) 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会等との連携
- ① 各推進協議会を通じて、学社一体の人権教育の推進を図る。
- (オ) 人権教育関係ポスター・作文の募集、ポスター展を通して学校人権教育を進める。

ウ 社会教育関係

- (ア) 社会人権教育関係機関・団体における人権教育・啓発活動を推進する。
- ① 公民館・公民館分室
 - ② 連合自治会
 - ③ 人権教育推進協議会
 - ④ 企業人権教育推進協議会
 - ⑤ 人権擁護委員・人権擁護審議会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会
 - ⑥ 女性団体・老人クラブ・補導員・子ども会育成会・その他諸団体
 - ⑦ PTA連合会・各学校PTA
 - ⑧ 部落解放運動各種団体
- (イ) 同和教育集会所の管理・運営を充実する。
- ① 歴史講演会・人権同和教育講座等による対象地区及び周辺住民の人権教育の推

進

(ウ) 社会人権教育指導者を養成し確保する。

- ① 人権教育指導者養成のための研修への参加案内・呼びかけ
- ② 市役所職員の研修会開催（市内各地の研修会等の場において推進的役割を果たすため）
- ③ 人権教育指導者による地域内外における人権教育の推進

(エ) 社会人権教育設備及び教材の整備、同和教育集会所の整備強化をする。

- ① 視聴覚教材等の充実整備
- ② 人権関係資料・教材の整備

エ 社会人権教育活動の推進

(ア) 人権を考える市民の集い

- ① 市内6地区の学校・公民館等で開催

(イ) 市内全地域・全市民対象の人権教育

- ① 各種団体の自主的な人権教育講座開設への協力
- ② 広報活動の強化 「広報おおまち」に人権啓発記事を掲載、有線放送・ケーブルテレビの活用、資料の配布等
- ③ 公民館の開設する学級等に人権教育学習を組み込む場合の協力

(ウ) 企業人権教育の推進

- ① 企業人権教育推進協議会への加入と協力の推進
- ② 大北地区企業人権教育推進連絡協議会への協力
- ③ 企業人権教育指導者研修の実施
- ④ 企業独自の人権教育の推進への協力

(エ) 同和問題関係者への教育推進

- ① 同和教育集会所事業計画の策定と学習の促進
- ② 部落解放運動各種団体の自主的計画による学習会に協力

(オ) 市内の人権擁護委員及び関係機関との協力

- ① 各種人権啓発事業での連携
- ② 人権週間及び旬間の活用、人権問題の啓発、作文・ポスター募集などの協力

オ 人権教育の一層の推進に向けての今後の方針

(ア) 人権教育の学社連携の強化

- ① 幼保小中高の一貫した人権教育の推進と授業公開への社会・企業人権教育関係者への参加呼びかけ
- ② 社会人権教育推進としての「集い」へのPTA参加の強化（模索）

(イ) リーダー養成・意識改革につながる研修・啓発の強化（模索）

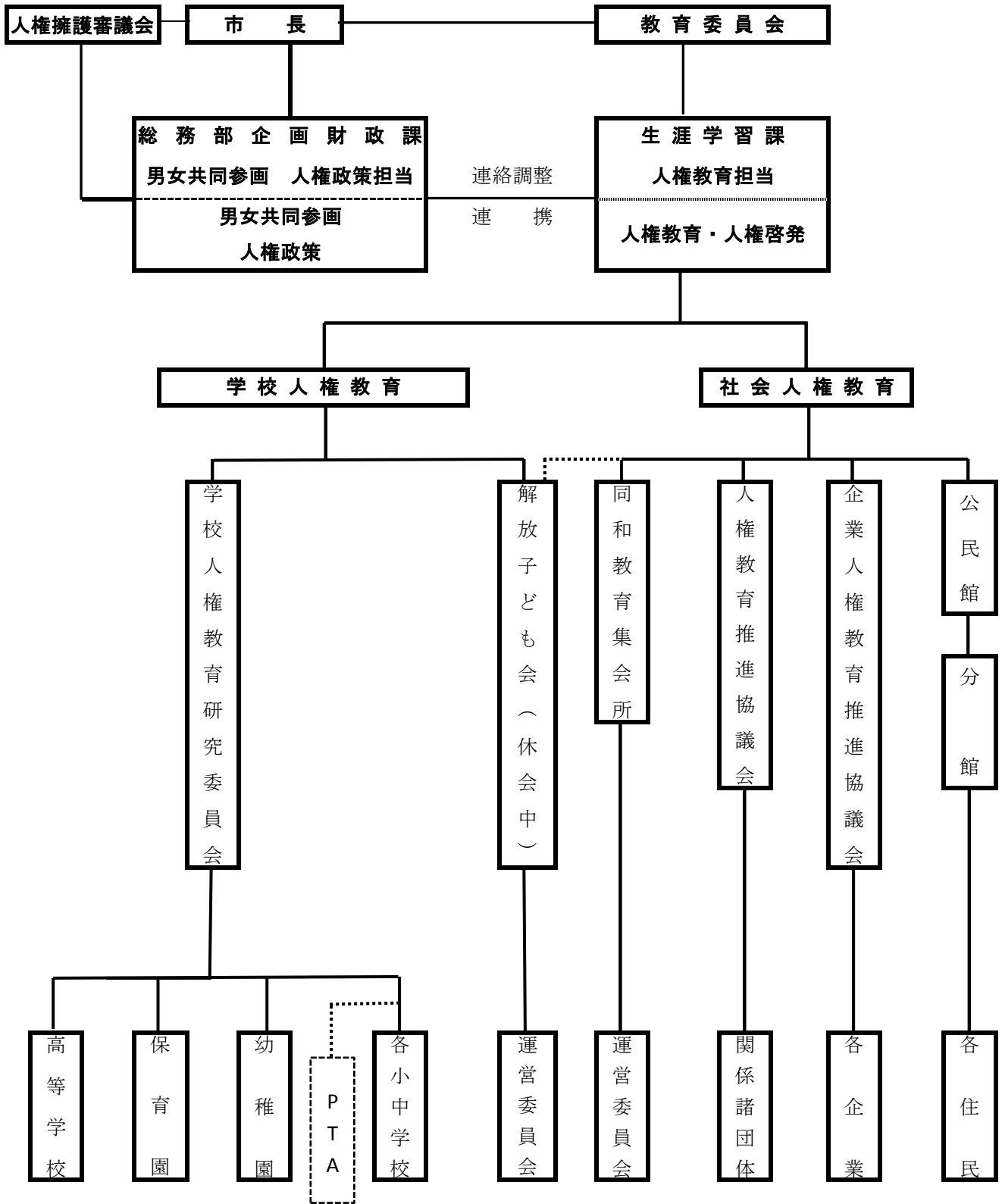
- ① 「集い」の際の要項、団体・企業向け資料、広報紙による啓発活動
- ② 各教育機関が人権教育を推進できるような情報・映像教材等の提供
- ③ 各種機関・団体の人権問題への自主的な取り組みの促進

- ④ 人権週間及び県民運動強調旬間に合わせての人権啓発事業の開催・資料の配付

(3) 平成26年度人権教育推進計画

	内 容 項 目	具 体 的 方 法	資 料 等	助 言 者 ・ 講 師 等
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者研修 ○地域の人権教育の推進 ○同和問題関係者との学習会 ○学校人権教育の推進 ○企業人権教育の推進 ○全市民に対する人権啓発活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会、企業、女性団体等の指導者に研修の機会を与える。 ○同和問題関係者の意識を理解し、今後の運動が高まるように啓発活動を推進する。 ○学校人権教育研究委員会と連携して、児童生徒への人権教育を進める。 ○企業経営者との連携を深め、企業内の人権教育の進展を図る。 ○「市民の集い」など研修活動の充実強化により全市民の人権感覚をより深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○映画、VTR ○[同和教育を進めるために] ○「アイユ」「人権長野」 ○各種講演・講座 ○先進地域の状況資料 ○その他の関係資料 	<ul style="list-style-type: none"> ○県教委教学指導課心の支援室 ○中信教育事務所 ○人権教育関係者 ○法務局関係者 ○人権擁護関係者 ○人権行政関係者 ○教育関係者 ○社会教育指導員 ○宗教関係者
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○市内6地区の学校や公民館で「人権を考える市民の集い」を開催 ○園児・児童・生徒を対象とした人権講演会への助成 ○公民館講座を利用した短時間人権講座の開催（随時） 			
事業計画別	4	26年度事業計画		
	5	学校人権教育研究委員会・研修会、人権教育推進協議会総会・研修会、人権を考える市民の集い（平）		
	6	社会人権教育実践力スキルアップ講座、企業人権教育推進協議会総会・研修会		
	7	社会人権教育研究協議会、人権を考える市民の集い（美麻）、企業人権セミナー		
	8	人権を考える市民の集い（八坂）		
	9	長野県人権教育リーダー研修会、人推協・企業人推協・人権擁護審議委員会 合同視察研修 長野県同和教育研究大会、人権を考える市民の集い（常盤）		
	10	社会人権教育実践力スキルアップ講座、人権を考える市民の集い（大町）		
	11	学校人権教育公開授業（八坂小・仁科台中）、人権を考える市民の集い（社）、スキルアップ講座、人権作品の募集、人権フェスティバル、大北地区企業人権教育推進協議会理事会（書面）		
	12	大北企業人権教育研修会、同和教育集会所事業（そば打ち交流会）		
	1	人権ポスター展示（児童生徒作品）、部落解放研究集会、同和教育集会所事業（講演会）		
	2	人権教育作品集刊行、学校人権教育研究委員会 同和教育集会所運営委員会、学校人権教育実践録		
	3	26年度事業反省と27年度事業計画（原案）		
	留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関と連絡を密にする（学校・企業・自治会・その他の団体） ○企業人権教育推進協議会への未加入企業の加入促進 ○人権教育講演会・講座の工夫（自治会、企業・高齢者・児童生徒） ○地域住民・企業等の人権意識の実態把握 		

(4) 人権教育・啓発推進体制



5 公民館

公民館は、市民の自主的な学習活動を奨励し、援助することにより豊かな人間性を培うとともに、心豊かでより良い地域社会を生み出すことにある。多様化する社会にあって市民の要望を把握しながら、生涯学習時代に対応する公民館活動を推進する。

(1) 施設と機構

昭和29年の市制施行に伴い、大町市公民館を設置し、大町・平・常盤・社の4支館体制で運営してきたが、昭和58年から大町・平・常盤・社の4公民館を独立並列館とし、平成18年の市村合併により、美麻・八坂の公民館が追加、6公民館となる。

館名	所在地	対象地域	施設の概要
大町市 大町公民館	大町市大町1601-2 電話 0261-22-9988	大町地区 38分館	会議室 2 視聴覚室 料理実習室 講習室 学習室 実習室 児童室 延べ床面積681.67㎡ (昭和61年新築 文化会館併設)
大町市大町 公民館分室	大町市大町1058-13 電話 0261-22-0352		会議室 講堂 研修室 2 学習室 4 視聴覚室 栄養指導室 延べ床面積1,226.02㎡ (平成3年新築 中央保健センター併設)
大町市 平公民館	大町市平10352-1 電話 0261-2-0694	平地区 20分館	講堂 学習室 会議室 視聴覚室 実習室 延べ床面積996.63㎡ (昭和59年新築 女性未来館ピュア併設)
大町市 常盤公民館	大町市常盤3601-18 電話 0261-22-0321	常盤地区 8分館	学習室 3 研修室 2 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂 延べ床面積1,265㎡ (平成4年新築)
大町市 社公民館	大町市社3945-2 電話 0261-22-0378	社地区 7分館	会議室 作業室 大研修室 研修室 資料室 大展示室 延べ床面積891㎡ (昭和60年新築)
大町市 美麻公民館	大町市美麻11810-イ 電話 0261-29-2311	美麻地区 5分館	会議室 小会議室 中会議室 講堂 読書ストリート 延べ床面積545㎡ (平成19年新築 美麻支所併設)
大町市 八坂公民館	大町市八坂1133-1 電話 0261-26-2380	八坂地区 6分館	八坂情報コミュニティセンターアキツ併設 ホール 会議室 展示ホール 郷土資料室 延べ床面積859.88㎡ (平成7年新築)

(2) 平成26年度事業計画

大町公民館	平公民館	常盤公民館	社公民館	美麻公民館	八坂公民館
大町地区市民運動会 大町地区球技大会（野球、ソフトボール、ソフトバレーボール、ソフトマレットゴルフ） 北アルプス囲碁・将棋大会（年2回） 各種講座の開設 大町地区文化祭	平地区市民スポーツ祭（野球、ソフトボール、ソフトバレーボール） 平地区少年少女球技大会 平地区市民運動会 平地区市民マレットゴルフ大会 スマイルボウリング大会 各種講座の開設 文化祭（ピュアフェスタ）	球技大会（野球、ソフトボール、バレーボール、マレットゴルフ、ワンバウンド） ふらばーるバレー） 子ども球技大会 ゲートボール大会 運動会 少年駅伝競走大会 囲碁・将棋・マージャン大会 卓球・ソフトバレーボール大会 サークル活動展示会 各種講座の開設	社地区球技大会（野球、ソフトボール、ゲートボール、女子ソフトバレーボール、男女混合ソフトバレーボール） 子ども球技大会 社地区親睦運動会 元旦マラソン 各種講座の開設 社地区文化祭・民俗資料館特別	美麻地区運動会 夏季球技大会（ソフトボール、ソフトバレーボール、ゲートボール） トレッキング 探索ハイク 美麻地区文化祭 綱引き大会 各種学級・講座の開設	学友会お盆球技大会 （ソフトボール、マレットゴルフ） 八坂地区運動会 八坂地区登山 八坂地区文化祭 郷土かるたもちつき大会 レクリエーション スポーツ大会 ナイターソフトボール大会 各種講座の開設

(3) 講座・学級の開設状況

大町公民館

(平成25年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
菊づくり講座	4/29～9/14	6	5	外国人のための日本語講座	4/1～3/31	39	10
すくすく広場	6/5～3/5	17	35組	走り方教室	7/12	1	51
健康教室	2月	4	20	料理教室	3月	3	20

平公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
こくごの時間	4/19～8/22	5	14	日商簿記3級講習会	8/20～11/7	11	24
親子教室ひよこクラブ	5/14～2/25	15	42組	信濃路の郷土料理講座～秋のレシピ～	10/17～12/19	5	9
親子でフィットネス	5/30～3/14	11	49組	誰でもできる手ごねパン作り講座	10/19～1/18	3	10
薬膳で健康クッキング	4/12～7/12	4	18	いきいきトレーニング ニュー😊スマイル	11/5～2/25	15	16
信濃路の郷土料理講座～春のレシピ～	4/18～6/20	3	11	そば打ち講座	11/19～12/17	5	9
初心者のための山野草講座	6月29日	1	20	信濃路の郷土料理講座～冬のレシピ～	1/16～3/20	3	7
信濃路の郷土料理講座～夏のレシピ～	7/18～9/19	3	10	たいら公民館パソコン講座 wordで作品づくりに挑戦	3/17～3/31	8	11

常盤公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
サークル体験入学「太極拳常盤教室（太極拳）」	5/21・28	2	6	頭の体操教室 「健康マージャン講座」	7/18～8/29	6	6

サークル体験入学「りんどう（そば打ち）」	10/22・23・24	3	24	常盤公民館登山「南アルプスの雄峰仙丈岳に登ろう」	8/18～19	1	15
サークル体験入学「きりんの会（オルネフラワー）」	3/25、4/1	2	6	らくらくヨガ体操	11/13～12/18	6	18
親子教室ともだち広場	6/12～3/12	16	50組	わら細工講座「円座とねこつぐら」	2/20～3/6	5	15
鉾の峰へのぼろう	5/26	1	19	薬膳料理教室	2/21	1	14
中国語講座「初心者入門編」	6/7～7/26	8	12	寒ざらしのそば粉を使った「そば打ち教室」	2/18～3/4	3	28
中国語講座「日常会話編」	9/6～10/25	8	10				

社公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
プランターで花の寄せ植え&野菜作り講座	5月17日	1	9	そば作り体験	8月～12月	5	15
親子教室なかよし広場	5/15～2/19	18	20組	ストレッチ&ヨガ教室	10/22～11/12	4	20
社史跡巡りウォーキング	6月6日	1	8	仁科路寺子屋講座	12月15日	1	24
こけ玉づくり講座	7月21日	1	16	男の料理教室	2/17～3/17	5	7

大町公民館分室 対象講座なし

美麻公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
探索ハイク	4/29	1	40	親子教室パンダクラブ	5/13～3/5	10	6組
苔玉教室	4/21～11/10	3	10	親子教室コアラクラブ	6/6～2/5	5	14組
ヨガ教室	4/24～3/12	12	24	みそづくり教室	6/1～2/17	11	12組
映画塾	4/24～3/26	23	176	高齢者学級	6/20～3/6	8	61
自然体験教室	5/29～6/2	1	5	お手伝いし隊	8月・3月	8	85

八坂公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
自然体験教室	5/29～6/2	1	12	八坂塾	11/13～12/19	6	14
高砂大学	6/17～3/13	10	86	すこやか広場	6/21～3/5	10	14組
パソコン教室	11/20～12/11	8	12	科学体験教室	8/31	1	50

大町公民館分室サークルー日体験開催状況(平成25年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
秋翠会	10/22	13:30-15:30	むつみ会	11/8	13:30-15:00
レザークラフト	10/24	19:00-21:00	和紙絵の会/老人クラブ和紙絵会	11/9	9:30-11:30
桜ステッブ	10/24	10:00-11:00	大町短歌会	11/12	13:00-16:00

書 草 会	10/24	9:30-11:30	水 茎 の 会	11/12	9:30-11:30
折 り 紙 の 会	10/26	10:30-11:30	ブ ル ー ロ ー ズ	11/13	9:30-11:30
ヤ ン グ ハ ー ト	10/29	10:00-12:00	大 町 市 を 愛 す る 女 性 の 会	11/16	9:30-11:30
の ば ら の 会	10/31	13:30-14:45	ス リ ー ス リ ー ズ	11/19	19:30-21:30
日 本 空 手 道 剛 柔 流 剛 誠 館	11/1	19:00-21:00	シ ル バ ー ダ ン ス ク ラ ブ	11/19	13:30-15:30
ク ロ ッ カ ス	11/1	13:30-16:00	大 町 俳 句 会	11/19	13:00-16:00
ラ イ ズ	11/7	19:30-21:30	せ せ ら ぎ 会	11/20	14:30-17:00
い と た け 会 (箏)	11/7	13:30-15:00	や ま な み 会	11/20	18:00-20:00
い と た け 会 (尺 八)	11/7	18:00-19:30	コ ー ル 和 リ ン ガ ー ズ (ハ ン ド ベ ル)	11/27	19:30-20:30

平公民館サークル日体験開催状況(平成25年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
マハナ・フラ (フラダンス)	9/19	13:00~16:30	式 部 の 会 (茶 道)	10/19	9:00~12:00
大 町 太 極 拳 (太 極 拳)	10/1,8	19:00~21:00	幸 せ の ク ロ ー バ ー	3/5,12	9:30~15:00
ミュージックキー秋桜 (キーボード)	10/3	9:30~12:00			

(4) 利用状況

(平成25年度)

館 名	利用件数	利用延べ人数	館 名	利用件数	利用延べ人数
大 町 公 民 館	1,858	26,304	大 町 公 民 館 分 室	2,415	24,901
平公民館(女性未来館との合計)	1,570	25,768	美 麻 公 民 館	131	2,057
常 盤 公 民 館	1,160	14,981	八 坂 公 民 館	193	1,709
社 公 民 館	428	7,010	蔵 の 音 楽 館	301	982

6 図書館

(1) 基本方針

乳幼児期の絵本とのふれあいや、市民の読書と学習に役立つことができ、「暮らしの中に生きる図書館」として、利用拡大を図りながら「豊かな心を育む読書」の推進や、さまざまな学習に対する的確な情報提供を行う。また、市民のニーズに十分応えられるよう図書館資料の収集と充実を図り、生涯学習の拠点として「誰もが安心して利用」でき、魅力的で「親しまれる図書館」を目指し、積極的に図書館サービスを行う。

さらに「子供の読書活動の推進」を重点施策と位置づけ、乳幼児期から本に親しめ、成長段階に応じた読書推進を図る。

(2) 重点目標

- ・ 生涯学習、情報時代にふさわしい図書館を目指し、資料の整備、資料情報の質の向上を図る。
- ・ おはなし会など乳幼児期から積極的に読書活動を行う意欲を高めるための方策を講ずる。
- ・ 小中学校の学校図書館と連携し子どもの読書及び読書活動の推進を図る。
- ・ 高齢者、障害者が利用しやすい図書館づくりとサービスを進める。
- ・ レファレンス（調査相談業務）の充実と、その対応のための資料整備を図る。
- ・ 県立図書館や関係諸機関との連携を密にして、広範囲な資料要求に応える。
- ・ インターネットのホームページを利用した情報提供を推進する。
- ・ 読書ボランティアの育成と図書館活動の推進を図る。
- ・ 利用の拡大を図るため、広報活動の充実に努める。

(3) 施設

名 称	市立大町図書館
所 在 地	大町市大町 4710 番地 6
建 物	RC造 2階建 床面積 1階 1,181.83 m ² 2階 545.11 m ²
開館時間	火・水・木・金 午前9時30分～午後6時30分 土・日・祝日 午前9時30分～午後6時(12月～3月 午後5時)
休 館	○毎週月曜日 ○年末年始 ○館内整理日(毎月最終の火曜日) ○資料整理点検期間(毎年6月中の8日間)

(4) 平成26年度事業計画

事業名	内 容	実施時期	参加対象者・数	方 法
子どもの読書推進	お話の森	月1回	幼児・小学生	ボランティア
	おいでえほんのおへや	月1回	幼児・小学生	ボランティア
	子ども朗読道場	月1回	小学生	ボランティア 朗読指導
	ブックスタート	月2回	4ヶ月・2歳児健診	読みきかせ・ブックトーク
大人の読書推進	万葉集・古文書読書会	月1回	一般	サークル
展示コーナーの充実	新刊本の展示	随時	一般	読書ボラグループおすすめ本
	話題本の展示	随時	一般	
	季節・行事に応じた図書の展示	随時	一般	
	えほん等のおすすめ本	随時	乳幼児から一般	
	ヤングアダルト向け図書	随時	中学生・高校生	
体験コーナーの設置	おりがみ教室	毎週日曜日	幼児～大人	職員 希望者
	読み聞かせ体験	随時		
視聴覚障がい者サービス	視覚障がい者の方に 図書録音テープ 点字図書の貸出	随時	視聴覚障がい者	ボランティア 「かつこう」の会 「ほたる」の会
くまの子文庫	園文庫の配本と巡回	年2回巡回	市内8保育園 市内3幼稚園 子育て支援センター 中央保健センター	4月 配本 9月 入れ替え 3月 回収
読書活動推進イベント	子ども読書の日・子どもの日イベント			4月～5月
高齢者の読書推進	高齢者施設へ出向いての読み聞かせ及び図書資料の貸出推進			随時 職員
夜間開館	竈神社祭典時に開館時間の延長			9月
手づくり絵本巡回展	手づくり絵本の展示	4月18～21日	利用者全般	
蔵書点検	図書の整理	6月16日～25日		休館
手づくり絵本講座	牛乳パックのカラクリ絵本	5月31日	利用者全般	職員・ボランティア
七夕の夕べ	七夕飾り・七夕人形	7月～8月上旬	利用者全般	
英語のお話会	英語によるおはなし会	7月中旬	利用者全般	ボランティア
夕涼みおはなし会	屋外の蚊帳の中での話し	8月上旬	利用者全般	職員・ボランティア
四季のおはなし会	民話のかたり等	随時	利用者全般	ボランティア
B o o K B o o K 2014	お話会を中心としたイベント	10月下旬	利用者全般	ボランティア
AR絵本の読み聞かせ	世界初のAR絵本の読み聞かせ	10月下旬	利用者全般	ボランティア
図書館バースデー月間	ブックカバー&しおり作り	10月	利用者全般	職員
ハロウィンイベント	ハロウィン小物作成	10月	利用者全般	職員
ボイストレーニング	ボイストレーニング・朗読指導	11月・2月	利用者全般	ボランティア講師
絵手紙講座	絵手紙の書き方教室	11月中旬	利用者全般	講師依頼
クリスマスイベント	Xmasリース作り	11月下旬	利用者全般	職員
	紙芝居・Xmasコンサート他	12月中旬	利用者全般	職員・ボランティア
お正月イベント	ミニ門松&おうぎ作り	12月中旬	利用者全般	職員・ボランティア
	民話かるた大会	1月中旬	利用者全般	職員・もんぺの会
節分豆まき会	お話会・豆まき	2月上旬	利用者全般	職員・ボランティア
リサイクル市	リサイクル本の配布	5月・1月・3月	利用者全般	
読み聞かせ講習会	パネルシアター作成講習会	8月下旬	利用者全般	講師依頼
大活字本紹介	高齢者学級や高齢者施設に出向き読み聞かせと大活字本を紹介し、来館促進する。			
新刊本お勧め本紹介	新刊本の中で図書館が特に薦める資料を紹介			
所蔵本お勧め本紹介	館内所蔵の中で職員が特に進める資料の紹介			

(5) 平成26年度 子どもの読書活動推進計画

事業	内容	対象・回数
① 乳児から未就学児親子に対する絵本とのふれあい		
ブックスタート	保健センターの健診時を利用し、読みきかせボランティアの協力により絵本の読みきかせ、相談、読書の楽しさと大切さを知っていただく啓発活動を行う。	4ヶ月児と2歳児親子 (月1回ずつ)
親子読書の推進・啓発	○年齢に応じた絵本リスト紹介 ○児童図書 of 充実 ○親子折り紙教室・ブックトーク・絵本の読み聞かせの開催	乳幼児から保護者まで (通年)
おはなしの会	○乳幼児から未就学児を対象としたおはなし会の開催 おいでえほんのおへや	乳幼児から保護者まで
くまの子文庫 《園児の選書力》 《親子読書の推進》	○園文庫の配本と巡回 ○各施設との意見交換及び状況確認	市内の3幼稚園、8保育園、子育て支援センター、中央保健センター(巡回は年2回)
② 児童・生徒の読書活動の推進		
おはなし会等 *おはなしの森 *子ども朗読道場	○図書館と連携したボランティアによる読みきかせや語り ○小学生を対象とした朗読練習	市民全般(毎月) 小学生(毎月)
図書館利用の促進	○児童向け図書案内及び新刊コーナーの充実等 ○季節にちなんだ行事の開催(子ども読書の日、折り紙教室、七夕、夏休み特集、クリスマス、正月、節分、春休み特集等) ○読みきかせや交流の場の提供 ○学校司書との連絡会の開催 ○図書館見学、職場体験の受け入れ	児童・生徒 年2回
図書館協議会の促進	○学校図書館司書、司書教諭も含め市図書館との連絡(図書館運営・蔵書・選書などの意見交換) ○読みきかせボランティアを導入した「朝の読みきかせ」の推進・協力 ○小中学生へ「朝読書」の推進・協力	小中学校、図書館 市民代表(協議会委員)
中高生への読書推進 《読書に対する意欲の向上》	○ヤングアダルトコーナーの充実 ○読書推進の啓発	中・高生
③ 市民による子どもへの読書活動の推進		
ボランティア養成講座及び活動ボランティアとの連携	○読みきかせボランティアの養成と拡大 ○読みきかせボランティア養成講座 ○活動サークルとの連絡会、支援、協力	市民全般 登録ボランティア
イベントの開催 *Book Book 2014	○ボランティア連絡会による活動発表会及び情報交換会	会員及び市民全般
公民館図書室の充実と連携	○公民館蔵書の配置 ○公民館図書室の実情の把握、改善 ○公民館活動との連携 ○子ども会育成会等との連携	地区公民館 地域市民
障がい者サービスの充実 *手づくり絵本*かつこう	○「手づくり絵本」展示会場の提供等 ○テープ図書の作成	障がいを持つ子ども
④ 広報活動		
	○広報、新聞、有線で新着図書紹介やイベント案内 ○図書館カレンダーに行事案内を掲載し配布 ○図書館ホームページの活用 ○各種の催しを、市内幼稚園、保育園、小学校にチラシ配布	市民全般

(6) 蔵書構成

(平成26年3月31日現在)

分 類		蔵書冊数	構 成 比	分 類		蔵書冊数	構 成 比
一 般 図 書	N 郷土資料	6,436 冊	4.9 %	児 童 図 書		31,902 冊	24.3 %
	0 総 記	4,209	3.2		紙 芝 居	996	—
	1 哲 学	3,911	3.0	合 計	131,117	100.0	
	2 歴史・地理	9,032	6.9	園 文 庫	3,845 点	—	
	3 社会科学	13,356	10.2	雑 誌	4,286	—	
	4 自然科学	9,323	7.1	視 聴 覚 資 料			
	5 工業・工学	6,985	5.3	C D	1,669 点	—	
	6 産 業	3,477	2.7	ビ デ オ	1,590	—	
	7 芸 術	10,287	7.8	D V D	580	—	
	8 語 学	1,708	1.3	テ ー プ 図 書	1,768 本	—	
	9 文 学	29,903	22.8	総 合 計	144,855	—	
	小 計	98,627	—				
		文 庫	4,935	—			
	大 活 字 本	1,708	—				
	参 考 図 書	300	—				
	新 書	11,588	—				
	点 字 図 書	588	—				

(7) 利用状況

ア 分類別貸出冊数

(平成25年度)

分類		児童	一般	合計	構成比
一般 図書	0 総記	125	823	948 冊	1.11 %
	1 哲学	212	2,259	2,471	2.90
	2 歴史・地理	396	4,181	4,577	5.37
	3 社会科学	862	4,167	5,029	5.90
	4 自然科学	504	3,847	4,351	5.10
	5 工業・工学	1,460	12,626	14,086	16.52
	6 産業	436	2,908	3,344	3.92
	7 芸術	1,262	5,185	6,447	7.56
	8 語学	55	768	823	0.97
	9 文学	1,761	27,806	29,567	34.69
	E 絵本	23	41	64	0.08
	B 文庫	550	6,624	7,174	8.42
	D 大活字本	79	1,783	1,862	2.18
	R 参考図書	4	4	8	0.01
	S 新書	276	4,214	4,490	5.27
	小計		8,005	77,236	85,241
児童 図書	0 総記	184	235	419	0.83
	1 哲学	86	136	222	0.44
	2 歴史・地理	280	405	685	1.35
	3 社会科学	194	287	481	0.95
	4 自然科学	874	1,414	2,288	4.51
	5 工業・工学	447	527	974	1.92
	6 産業	196	263	459	0.91
	7 芸術	773	1,013	1,786	3.52
	8 語学	65	75	140	0.28
	9 文学	4,618	6,231	10,849	21.40
	E 絵本	9,855	21,104	30,959	61.06
	K 紙芝居	408	923	1,331	2.62
	D 大活字本	0	9	9	0.02
S 新書	9	94	103	0.20	
小計		17,989	32,716	50,705	100.00
郷土資料		83	542	625	—
雑誌		638	5,044	5,682	—
視聴覚資料					
	C D	124	2,222	2,346 点	—
	ビ デ オ	237	882	1,119	—
	D V D	1,100	3,436	4,536	—
	テープ 図書	0	102	102	—
合計		28,176	122,180	150,356	—

イ 月別貸出数と登録者数

(平成25年度)

月	開館日数	貸出数	一日平均	学習室利用者数	一日平均	登録者数
4	24	12,172	507 冊	237	10 人	33
5	23	12,174	529	375	16	43
6	19	11,966	630	284	15	47
7	25	12,207	488	351	14	54
8	26	14,573	561	811	31	65
9	24	13,404	559	470	20	52
10	25	12,952	518	396	16	40
11	25	13,902	556	469	19	45
12	23	12,491	543	289	13	32
1	21	13,468	641	347	17	40
2	23	12,468	542	434	19	33
3	25	13,397	536	203	8	38
計	283	155,174	550	4,666	16	522

※貸出数は学習室利用を含む

7 山岳博物館

地域の総合博物館という基本的な性格をもち、観光施設として山岳及び地域の自然を紹介し、教養・文化創造・憩いの場を提供するとともに、資料の収集・保管、展示、調査研究、教育普及活動を進める。

(1) 施設

名称 市立大町山岳博物館
所在地 大町市大町8056-1
電話 0261-22-0211 F A X 0261-21-2133
敷地面積 39,875.92㎡
建物構造 鉄筋コンクリート地下1階地上3階
床面積 1階：1,224.9㎡ 2階：686.1㎡ 3階：116.8㎡ 地階：159.2㎡
付属施設 山岳図書資料館・付属園（本館裏）

(2) 資料

ア 収蔵資料

人文科学系資料		自然科学資料			
区分	数量	区分	数量	区分	数量
山 岳	7,330	菌類（液浸標本）	129	哺乳類（剥製等標本）	237
山岳・美術寄託	527	蘚苔類（乾燥標本）	674	鳥類（剥製標本）	651
歴 史	49	維管束植物（液浸標本）	7	昆虫（標本ドイツ箱）	166
民 俗	928	維管束植物（さく葉標本）	約6,000	昆虫（未標本作製）	約1,000
美 術	290	魚類（液浸標本）	62	昆虫（液浸標本）	27
考 古	158	両性爬虫類（液浸標本等）	72	その他液浸標本	103
図書・A V	28,455	貝・甲殻類（液浸標本）	13	図書・A V	5,680
計	37,737	地 質	2,490	計	約17,009

イ 飼育動物・栽培植物

種 名	雄	雌	不明	計	種 名	雄	雌	不明	計
ホンドタヌキ*	1			1	カルガモ*			1	1
ホンドキツネ*	1			1	マガモ*	1			1
ハクビシン*	2	1		3	モズ*		1		1
ニホンカモシカ*	2	5		7	トビ*			8	8
					チョウゲンボウ*	1	1		2
					ニホンキジ*	2	1		3
					キジバト*			2	2
					オオコノハズク*			1	1
					フクロウ*			1	1
計	6	6		12	計	4	3	13	20

*保護動物を含む

傷病鳥獣保護受け入れ 哺乳類2種3個体、鳥類5種6個体（そのうち死亡6個体、放鳥獣3個体）
栽培植物19種

(3) 平成26年度事業計画

ア 企画展・特別展

名 称	期 間
企画展「動物写生画展」	6月21日～7月6日
企画展「日本山岳画協会 大町展」	7月19日～11月24日

イ 主な教育普及事業

名 称	期 間
ふぞくえんまつり	4月26日～5月6日
さんぱくこども夏期だいがく	8月7・8日
茶臼山動物園でライチョウを観察してみよう！	5月11日
大峰山地の自然なぞ解きトレッキングツアー	7月21日
古道 塩の道を歩く - 大町宿 -	10月13日
大人のための観察会 - 冬のライチョウを見に行こう！ -	3月8日

ウ 主な調査研究事業

- ① 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪（氷河）学術調査
- ② 高山植物の生活史研究
- ③ 山岳風景面に関する調査
- ④ 爺ヶ岳におけるライチョウの生息域内の山岳気象観測

エ 主な動物飼育事業

- ① ニホンカモシカなどの継続飼育
- ② 傷病鳥獣の救護

(4) 平成25年度実施事業

ア 企画展・特別展

名 称	期 間	観覧者
企画展「動物写生画展」	6月23日～7月8日	—
特別展「黒部ダム・関電トンネル写真展」	10月27日～12月28日	3,147人

イ 移動展示

名 称	期 間	場 所
第9回安曇野アートライン美術館展	11月23日～12月25日	国営アルプスあづみの公園

ウ 常設展示

展示資料点数1,054点（自然科学系508点、人文科学系546点）

エ 教育普及

名 称	期 間	参加者
付属園まつり		
どうぶつ写生大会	4月27日～29日	60人
どうぶつ観察ツアー	5月3日～6日	129人
ふぞくえんスタンプラリー		346人
さんぱくこども夏期だいがく	8月1日・2日	48人
山岳博物館友の会との共催事業		
古道 塩の道を歩く - 佐野坂峠越え 白馬から大町へ -	6月16日	14人
親子でライチョウ観察ツアー	8月4日	22人
糸魚川世界ジオパーク探検ツアー	10月14日	43人
さんぱく座談会 - もうすぐリニューアルオープン！ 地域の博物館 山博について語り合いませんか？ -	3月9日	31人
学校との連携・実習の受入（16校・38回）	4月～3月	919人
出張講座・観察会など（39回）	4月～3月	243人
資料の貸出し（7件）	4月～3月	41点
山岳図書資料館利用		
利用者数	4月～3月	73人
資料貸出数（7件）		38点
山岳博物館友の会活動支援（会員数）	4月～3月	305人
ライチョウ会議支援	11月3・4日山梨大会	370人

『山と博物館』の発行 毎月1回1,000部発行、定期購読者数459人

『情報シート』販売 195部

『総合案内書』（展示解説書）販売 142部

『企画展解説書』販売 136部

オ 資料収集

化石資料、山岳書籍、山岳資料等794点を寄贈により受け入れ。

購入、製作により化石、剥製標本、山岳資料を17点収集。

カ 調査研究

コア・サイエンス・ティーチャー養成拠点事業
長野県版レッドリスト改訂調査
爺ヶ岳におけるライチョウ生息域内の山岳気象観測



古道 塩の道を歩く-佐野坂峠越え-で説明を聞く参加者



おおまびょんが見守る中、動物の写生をする子供たち

(5) 利用状況

ア 入館者

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
26	489人	291人		100人	21人		77人	
27	5,147	2,425		1,022	186		1,514	
28	13,092	8,922		2,229	725		1,216	
29	11,424	7,779		1,831	625		1,189	
30	10,885	6,831		1,664	1,445		945	
31	4,930	2,148		888	1,036		858	
32	5,298	1,934		658	826		1,880	
33	7,897	2,979		1,032	1,469		2,417	
34	7,113	2,972		626	1,727		1,788	
35	8,599	3,635		878	1,943		2,143	
36	10,163	4,181		1,329	2,132		2,521	
37	14,243	5,313		1,633	4,549		2,748	
38	15,893	6,394		1,854	4,727		2,918	
39	26,242	10,464		1,658	12,600		1,520	
40	25,560	14,214		1,696	8,050		1,600	
41	26,680	10,399		1,711	13,070		1,500	
42	25,900	12,891		1,649	8,301		3,059	
43	41,538	18,458		2,071	17,769		3,240	
44	32,967	16,273		2,100	10,845		3,749	
45	30,929	13,405		1,941	11,623		3,960	
46	39,326	18,414		3,001	14,718		3,193	
47	40,670	17,500		3,025	13,268		6,877	
48	58,373	25,809		4,178	22,612		5,774	
49	62,254	28,702		4,277	23,432		5,843	
50	67,692	32,345		4,896	23,616		6,835	
51	70,603	32,111		5,142	25,150		8,200	
52	54,700	26,155		4,311	18,907		5,327	
53	64,129	26,346		4,158	24,903		8,722	
54	63,943	27,769		4,485	25,089		6,600	
55	57,038	25,743		4,414	19,909		6,972	
56	65,132	31,697		7,558	16,182		9,695	
57	70,215	31,894	809	6,400	10,391	5,827	6,929	7,965
58	86,413	33,590	988	6,632	15,885	7,992	12,303	9,026
59	82,384	30,335	816	5,905	12,969	9,172	15,070	8,117
60	99,866	36,686	1,142	8,025	22,782	8,559	15,902	6,770
61	86,678	34,797	1,086	6,109	16,001	8,107	16,069	4,509
62	86,238	33,132	918	5,581	18,751	7,065	17,186	3,605
63	84,925	36,116	841	5,932	14,947	6,085	14,735	6,269
元	80,744	41,018	1,199	6,450	13,191	4,650	10,527	3,709
2	82,798	43,444	1,108	6,752	16,486	3,045	7,119	4,844
3	86,477	47,004	1,276	7,313	13,817	4,212	8,278	4,577
4	73,824	42,197	725	5,719	13,068	1,687	7,015	3,413
5	75,766	45,182	809	5,807	12,249	2,807	5,325	3,587
6	64,939	38,354	933	4,809	10,561	1,932	4,974	3,376
7	63,860	37,356	981	4,650	9,493	1,840	4,164	5,376
8	53,984	36,002	869	4,189	6,601	1,905	2,244	2,174
9	47,562	31,119	626	3,417	7,626	1,245	2,100	1,429
10	42,440	28,219	637	3,105	6,023	764	2,006	1,686
11	34,618	24,220	482	2,200	4,766	561	1,183	1,206

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
12	34,059 人	23,082 人	501 人	2,273 人	5,344 人	648 人	1,024 人	1,187 人
13	35,013	24,064	439	2,163	3,389	671	1,577	2,710
14	28,399	20,527	472	1,744	2,518	675	808	1,655
15	28,322	19,693	535	2,152	2,184	785	1,082	1,891
16	21,551	14,664	376	1,073	2,875	602	644	1,317
17	19,265	12,065	213	630	3,138	692	928	1,599
18	23,363	14,056	135	996	3,120	545	1,836	2,675
19	17,572	10,991	120	742	2,401	407	1,037	1,874
20	18,515	11,532	130	803	2,766	381	578	2,325
21	17,942	11,269	100	704	3,055	61	1,098	1,655
22	15,147	9,578	103	594	2,665	466	467	1,274
23	21,020	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	16,172	9,827	114	640	2,335	498	587	2,171
25	12,162	7,550	97	522	2,008	142	353	1,490

8 民俗資料館

民俗資料館は、社地区に残された文化財をはじめ、仁科文化や、社地区に関係ある資料を中心に展示し、文化向上に寄与するとともに、地域のコミュニティーセンターとしての機能を持つものとする。

(1) 施設

名 称	大町市民俗資料館
所 在 地	大町市社 3945-2
電 話	0261-22-0378
床 面 積	891 m ²
開 設	昭和 60 年 4 月 1 日
開 館	月曜日（祝日の場合は翌日）を除く日 冬期（12 月から 3 月まで）は、土曜日・日曜日・祝日、年末年始を除く日
時 間	午前 8 時 30 分～午後 5 時

(2) 展示室

ア 特別展示室

考古資料として、当資料館裏山に広がる山寺廃寺跡から出土した長野県宝の四耳壺・青白磁水注・写経石等を展示。当時の中国から輸入した陶器などがお墓の骨壺に使われていて、大きな寺があったことを物語っている。

また、民俗資料として、明治時代のひな人形・五月人形・七夕人形等を展示し、歴史資料として、地区内の歴史的建造物を写真パネルで紹介している。

イ 小展示室

江戸から昭和 30 年代に入るまで、社地区の主要産業として地域経済を支えてきた、松崎紙および宮本紙の資料（昭和 50 年市指定文化財＜民俗資料＞に指定）を展示。

釜・簀^す・すき舟^{まき}・馬鋏などの紙すき用具のほか、紙すきの模様を説明した写真などを交え、歴史・工程両面から紹介している。

ウ 企画展示室

旧社小学校に所蔵されていた、明治から現在に至るまでの教科書資料を中心に、市内の学校の移り変わりを年表にまとめている。

(3) 利用状況

入館者状況

年 度	総 数
62	1,859 人
63	1,856
元	2,169
2	1,992
3	2,064
4	1,723
5	1,284
6	1,434
7	1,048
8	1,104
9	845
10	1,139
11	676
12	690
13	634
14	492
15	427
16	253
17	534
18	227
19	367
20	355
21	468
22	527
23	623
24	681
25	588

9 文化会館

大町市の将来像－「美しく豊かな自然 文化の風薫る きらり輝くおおまち」の実現に向けて、文化都市の創造と心豊かなまちづくり・ひとづくりを推進する拠点文化施設として、市民要望に応じた計画的な施設の改善を図りながら、優れた舞台芸術の鑑賞機会を充実させるとともに、市民の自主的な文化活動を支援し、地域文化の振興を図ります。

1 芸術文化活動の支援

市民の芸術文化活動の発表の場として、市民芸術祭を開催します。
また、自立して、団体独自で発表会等を実施する活動を積極的に支援します。

2 芸術文化に触れる機会の充実

劇団四季ミュージカルを実施し、市内高校生以下の児童・生徒が、低料金で鑑賞できるようにするほか、市民ニーズに沿ったコンサートなどを開催します。
また、舞台芸術を身近で感じられるように、学校・施設等での演奏会を実施します。

3 芸術文化団体の育成・支援

大町市芸術文化協会への加盟促進を図りつつ、市内芸術文化団体のそれぞれの活動への支援を通して育成し、自主的な芸術文化活動を促進します。
大町市少年少女合唱団の団員の加入促進、集団活動を通じた子どもたちの人間形成を図るなどの活動の支援を通して、地域の子どもの育成を図ります。

4 市民参加と協働による特色ある文化の創設

市民参加による、地域に根ざした特色ある芸術文化活動を支援し、協働で事業を実施します。

5 文化施設の整備

開館して28年を迎えた施設の計画的な改修に努め、市民芸術活動の拠点となる施設の整備と充実を図ります。

(1) 施設

名 称	大町市文化会館
ホールの愛称	エコーホール
所 在 地	大町市大町1601-2
電 話	0261-22-9988 F A X 0261-22-9849
設備概要	大町公民館、文化会館棟 大ホール1,144席（母子席、車椅子席あり）、リハーサル室、練習室3室、楽屋4室、展示室 サン・アルプス大町棟 大会議室（200人）、研修室（75人）、小会議室（25人）、和室研修室（20人）、中会議室（50人）
施設延べ面積	6,478.03㎡
開 設	昭和61年5月28日

(2) 平成26年度事業計画

事業名	期 日	主な出演者等
ベンチャーズ 結成55th コンサート(共催)	7月21日	ベンチャーズ
劇団若獅子「蛍火 殺陣 春夏秋冬」	8月9日	劇団若獅子 仁科亜季子
TOMOMI KAHARA CONCERT TOUR2014	9月14日	華原朋美
芸術文化ふれあい拡充事業	11月6日～8日	小谷口直子・塩見亮
2013市民芸術祭日本舞踊・市民芸能ステージ	11月2日	日本舞踊・歌謡舞踊・カラオケ・太極拳・詩吟ほか
2012市民芸術祭 Sky Blue コンサート	11月16日	器楽演奏・合唱
2012市民芸術祭 Dance! 2013	11月23日	モダンバレエ・ジャズダンス・モダンダンス・フラダンスほか
大町市少年少女合唱団定期演奏会	12月14日	大町市少年少女合唱団
大町市芸術文化協会「はばたきの集い」	3月15日	大町市芸術文化協会加盟団体
おおまちファミリーコンサート	2月28日	坂田おさむ・坂田めぐみ・いとうまゆ
劇団四季 ふたりのロッテ	3月22日	劇団四季

(3) 平成25年度実施事業

事業名	期 日	主な出演者等
NHK「BS日本のうた」	7月4日	小沢亜貴子・ジェロ・島津亜矢ほか
七夕寄席	7月7日	林家木久扇・三遊亭小遊三・おぼんこぼん ほか
芸術文化ふれあい拡充事業	8月22日～24日	小谷口直子・塩見亮
平原綾香コンサート	9月5日	平原綾香
劇団四季「こころの劇場」はだかの王様	10月10日	劇団四季
2013市民芸術祭日本舞踊・市民芸能ステージ	11月3日	日本舞踊・歌謡舞踊・カラオケ・太極拳・詩吟ほか
2012市民芸術祭 Sky Blue コンサート	11月10日	器楽演奏・合唱
2012市民芸術祭 Dance! 2013	11月23日	モダンバレエ・ジャズダンス・モダンダンス・フラダンスほか
ゴスペルおおまち2013	12月7日	VOJA・県内外クワイア
大町市少年少女合唱団定期演奏会	12月22日	大町市少年少女合唱団
大町市芸術文化協会「はばたきの集い」	3月9日	大町市芸術文化協会加盟団体
劇団四季 桃次郎の冒険	3月23日	劇団四季
和楽器オーケストラ	3月29日	和楽器オーケストラ むつのを

(4) エコーホール利用状況

(平成25年度)

利用件数 115件
 利用者数 37,542人
 ホールオープンからの延べ利用者数 1,132,053人

(5) サン・アルプス大町利用状況

(平成25年度)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
件数	37	45	54	33	40	36	40	42	34	28	37
利用者人員	1,201	1,910	2,717	540	1,343	1,103	5,251	1,369	1,115	586	2,026
開館日数	25	22	26	25	27	21	26	24	23	23	23

月別	3	計
件数	41	467
利用者人員	1,053	20,214
開館日数	24	289

10 女性未来館ピュア

女性労働者および勤労者家庭の女性などを対象に職業生活ならびに家庭生活に必要な相
指導、講習等を行う。また、レクリエーション等余暇活動の場と機会を提供し、女性の福
増進を総合的に進める。

(1) 施設

名 称	大町市女性未来館ピュア
所 在 地	大町市平10352-1
電 話	0261-22-0694
建 物	鉄骨耐火被覆構造 平屋建て 床面積 614.46㎡
各 室	第1講習室、第2講習室、茶室、料理講習室、音楽室、 軽運動室、図書室、託児室、相談室、談話室、事務室
開 設	昭和59年4月1日
開 館	開館時間 午前8時30分～午後9時30分

(2) 平成25年度実施事業

	名 称	実施月	回数	受講者数・延人数
講 座 の 開 設	ピュアに輝く女性講座	4～2月	10回	36人・延304人
	福祉住環境コーディネーター2級取得講座	10～11月	5回	5人・延25人
	福祉住環境コーディネーター3級取得講座	5～6月	5回	9人・延45人
	こくごの時間	5～2月	10回	14人・延101人
	手づくり絵本講座	8～10月	5回	8人・延26人
	保育サポーター養成講座	8～10月	5回	13人・延53人
	SANNBAの会・産後ママのエクササイズ	4～9月	6回	14人・延45人
	SANNBAの会プログラム・春～夏	4～9月	6回	31人・延140人
	SANNBAの会プログラム・冬	12～3月	4回	23人・延96人
	お正月の生け花講座	12月	1回	10人
	落語教室	6～7月	5回	8人・延29人
	煎茶講座（方円流）	8～12月	5回	9人・延42人
	木目込み人形講座	11～12月	4回	11人・延35人
マカロン作り（親子主体）	2月	2回	31人	
そ の 他	運営委員会	11・3月	2回	11人
	利用者の会清掃（春・秋）	6・11月	2回	129人
	第26回仁科の里ピュアフェスタ	11月	1回	400人
	サークル1日体験	随時	5サークル7回	約50人
	ピュアコンサート	11月	1回	200人

(3) 施設利用状況（平公民館との合計）

ア 利用者数

利用者の区分 利用方法	総 数	女子労働者	勤 労 者 家庭主婦等	その他	備 考
総 数	25,768	5,411	18,038	2,319	
個 別 利 用	6,442	1,352	4,510	580	
グループ活動等 による団体利用	15,461	3,247	10,823	1,391	
そ の 他	3,865	812	2,705	348	

イ 年齢階層別利用者数

総 数	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
25,768	1,804	3,092	3,607	17,265



気軽に普段着 きもの着付け講座



手書きメッセージカード講座



ワイルドにくんせい作り



SANBAの会プログラム

毎日続ける、女性のためのエクササイズ

1 1 大町市文化財センター

(1) 施設

名 称	大町市文化財センター
所 在 地	大町市大町 4700 番地
電 話	0261-23-4760
施 設	鉄骨 2 階建て、1 階総面積 460.68 m ² 、2 階総面積 247.98 m ² 、 総床面積 738.66 m ² 1 階…展示室 219 m ² のほか事務室、研究室、保存作業室、収蔵庫。 2 階…学習室 94 m ² のほか資料室、整理作業室、収蔵庫（貴重品庫）。 学習室は、市民に開放し、講座などをおこない、資料室は市民の方々の知 りたい郷土の歴史等、情報資料の提供をする。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時 休館日 毎週日曜日、国民の祝日、年末年始

おもな収蔵品

市内各地の遺跡出土品（常盤大崎遺跡、平一津遺跡、平上原遺跡など）
加藤朝鳥（文筆家）資料＜加藤寿々子寄贈品＞
市所蔵・寄託古文書
市所蔵絵画 など

1 2 国重要文化財旧中村家住宅

(1) 施設

名 称	国重要文化財旧中村家住宅
所 在 地	大町市美麻 17668
電 話	0261-29-2580
施 設	主屋（おもや）…木造平屋茅葺、総床面積 298 m ² 土蔵…木造二階建茅葺、総床面積 159 m ² 、展示施設、収蔵庫 管理棟…木造平屋建トタン葺、総床面積 33.924 m ² 、事務室、トイレ 国重要文化財の民家を公開。土蔵には、旧中村家及び美麻に関する歴 史的資料を展示・公開。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで） 休館日 毎週月曜日・火曜日（月曜日・火曜日が休日の場合は翌日 及び翌々日）、12 月 1 日～3 月 31 日

13 社会教育施設一覧表

名称	所在地 電話番号	建築面積 (㎡)	休館日 開館時間	利用できる施設・設備	使用料・入館料 併設施設
大町公民館	大町1601-2 0261-22-9988	681.67	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	第1会議室(14人) 第2会議室(25人) 学習室(24人) 視聴覚室(25人) 料理実習室(20人) 実習室(24人) 児童室(和室:15人) 講習室(和室:10人)	使用料金表による ◇文化会館 ◇勤労者福祉施設
	文化会館 サンアール ブス大町	6,478.03	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 大ホール 9:00~22:00 大ホール以外 8:30~21:30	ホール(1,172席) 楽屋(4室/33㎡~82㎡) 練習室(3室/15㎡~38㎡) リハール室(94㎡) ほか 展示室(90㎡) 研修室(75人) 大会議室(200人) 研修室(25人) 中会議室(50人) 小会議室(25人) 和室研修室(20人) 軽食喫茶室(40人)	使用料金表による ◇大町公民館 ◇スケートボードパーク
平公民館	平10352-1 0261-22-0694	996.63	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	講堂(300人) 実習室(16人) 会議室(15人) 視聴覚室(30人) 学習室(30人)	使用料金表による ◇女性未来館ピュア
女性未来館ピュア	平10352-1 0261-22-0694	614.46	火曜・祝日の翌日 ・年末年始 10:00~21:30	軽運動室(104㎡) 音楽室(20人) 講習室(2室/60人) 料理講習室(25人) 相談室・託児室・図書室・茶室	使用料金表による ◇平公民館
常盤公民館	常盤3601-18 0261-22-0321	1,264.70	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	学習室3室 研修室2室 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂	使用料金表による
社公民館	社3945-2 0261-22-0378	891.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	大研修室(300人) 研修室(50人) 会議室(15人) 展示室(4室)	使用料金表による ◇民俗資料館
民俗資料館	社3945-2 0261-22-0378		月曜・年末年始 8:30~17:00	作業室(20人) 資料室(20人)	使用料金表による ◇社公民館
大町公民館分室	大町1058-13 0261-22-0352	1,226.02	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	会議室(15人) 講堂(130人) 研修室2室(50人) 学習室4室(90人) 視聴覚室(20人) 栄養指導室(30人)	使用料金表による
蔵の音楽室	大町2542-1 0261-22-0420	79.30	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	1 F 演奏室 2 F 倉庫	施設利用料 1時間200円 冷暖房使用量 1時間100円
図書館	大町4710-6	1,726.94	月曜・最終の火曜日 ・祝日(一部開館) ・年末年始 3月~11月9:30~19:00 ~18:00 12月~2月9:30~18:00 (土・日) ~17:00	一般閲覧コーナー、児童コーナー プラウジングコーナー、AVコーナー 地域資料室 視聴覚室(兼学習室50人)	
文化財センター	大町4700 0261-23-4760	738.66	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~17:00	展示室(1室) 学習室(40人) 資料室(1室) 整理作業室(2室)	無料
山岳博物館	大町8056-1 0261-22-0211	2,683.95	月曜・年末年始 但し7月・8月は無休 9:00~17:00	エントランスホール・展示室(5室) 講堂(100人) ミュージアムカフェ・ショップ 付属園(付属動物園) 山岳図書資料館	大人 400円 高校生 300円 小・中学生 200円 ◆30名以上の団体 大人 350円 高校生 250円 小・中学生 150円
勤労青少年ホーム	常盤5638-18 0261-22-7658	796.22	年末年始 9:00~21:00	軽運動室(20人) 調理実習室(30人) 談話室(20人) 音楽室(20人) 図書室(20人) 講習室(2室) 集会室(50人) ほか	無料(登録別)
同和教育集会所	常盤3601-18 0261-23-2001	131.98	必要に応じ随時開館	学習室(20人) 会議室(20人) 図書室(7人)	無料 使用申し込み 生涯学習課人権教育担当
ギャラリー・ いーずら	大町3300-1 0261-22-0420	120.00	水曜日 10:00~18:00	展示室(2室)	展示室(大)7,000円(小)3,000円 ◇いーずら特産館、3F遊企画ホール
八坂公民館	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室)	使用料金表による ◇コミュニティーセンター・アキツ
コミュニティー センター・アキツ	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室)	使用料金表による ◇八坂公民館
美麻公民館	美麻11810-1 0261-29-2311	545.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	小会議室(6人) 中会議室(24人) 講堂(108人) 読書ストリート(1,400冊)	使用料金表による ◇美麻支所
旧中村家住宅	美麻17668-1 0261-29-2580	480.00	月曜・火曜 12月~3月 9:00~17:00	主屋、土蔵(見学・展示) (国重要文化財指定施設)	大人 300円、子ども 150円 一般団体 200円、小人団体 100円

IV 社 会 体 育



1 社会体育

社会体育基本方針

市民の皆さんが健康でいきいきとした生活を送るために、スポーツ活動は大変重要な役割があります。

現代の私たちは、高度な経済成長により「便利さ」を手に入れたものの、運動不足や精神的ストレス、一人暮らしなど、健康を維持するためには、必ずしも良い環境にない状況であり、更に少子高齢社会の進行により医療や介護費用が増加する中で、効果的な対策を効ずる必要があります。

幼児期から青少年期における運動能力の低下や、成人は運動習慣がなくなるなどの傾向が見られ、日常生活の中にスポーツ活動を効果的に取り入れながら、心と身体の健全な発達を図り、生活習慣病等を予防し、いきいきと健康な生活リズムを確立していくことが、これらの問題を改善し、今日の社会にとって、重要な役割を果たしていくものです。

様々なスポーツの体験や、身近で気軽にスポーツを楽しめる環境を整えるとともに、スポーツによる健康、体力づくりに向けた意識の啓発などにより「生涯スポーツ」を推進します。

(1) 平成26年度重点目標

- ア 市民を対象に「健康づくり」「体力づくり」「仲間づくり」のスポーツ施策の展開
 - (ア) 各種スポーツ大会の開催及びスポーツ教室の開催
 - (イ) スポーツ推進委員や地区公民館と連携したスポーツ教室の充実
(各種年代層に応じたスポーツ教室の開催)
- イ スポーツ少年団と連携し、青少年のスポーツ活動と健全育成の推進
- ウ 体育協会などスポーツ競技団体の育成支援と連携及び「大町スポーツクラブ」の活動支援
- エ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進
- オ 体育施設利用者の利用マナー向上推進、利用者ニーズの把握
 - (ア) 利用調整会議・合宿調整会議の開催、施設利用実態調査の実施
- カ 安全で楽しく利用しやすい体育施設の整備充実と保守管理の徹底
 - (ア) 施設の状況に応じた計画的な維持管理改修
- キ 各種スポーツ大会の誘致、合宿利用の推進
- ク 各種スポーツ指導者の育成

(2) 事業計画

ア 各種スポーツ大会等の開催（主催大会）

開催月	大会名
7月	・市民スポーツ祭（夏季）
8月	・少年少女球技大会 ・木崎湖カップカヌー大会 ・復興支援サッカー大会
9月	・大北縦断駅伝大会の協力 ・大北スポーツ競技会
10月	・大町アルプスマラソン
10月	・B&G会長杯争奪少年武道大会
1月	・市民スケート大会
2月	・市民スキー大会

イ 各種スポーツ教室の開催

年代別対象教室	教室名
幼児期	・運動あそび教室（年長児クラス）
児童・青少年期	・親子ふれあいスポーツ教室 ・小学生スキー教室 ・少年海洋教室 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」
成年期	・ママさんフリータイム広場（夏季） ・カヌー体験教室 ・親子対象スポーツ教室 ・スキー、スノーボード教室
実年期	（運動の習慣づけのための教室） ・気軽に取り組めるニュースポーツ教室 ・健康づくりサークルなど ・ヨガ・ピラティス教室

ウ 姉妹都市スポーツ交流の開催

体育協会等と連携し立川市、氷見市、島田市とのスポーツ交流の派遣など

エ 体育協会等スポーツ団体との連携

(ア) 体育協会事業全般にわたる支援

(イ) 「大町スポーツクラブ」への支援

(ウ) スポーツ少年団への支援、指導者の育成

オ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進

(ア) 学校授業、PTA及び地域のスポーツレクリエーション活動の受け入れと指導協力（海洋センターを利用したカヌー・ヨット体験活動、冬季の運動公園を利用した歩くスキー体験活動、歩くスキーの貸し出し、ニュースポーツ用品の貸し出しなど）

(イ) 中学校部活動への支援（指導者の発掘、確保など）

カ 体育施設利用調整会議の開催

(ア) 体育施設の有効利用と利用者のニーズの把握

(イ) 大会行事等主催団体の利用調整（年1回）

- (ウ) スポーツ合宿等のための市内旅館、民宿利用調整（年1回）
- (エ) スポーツ活動通年利用団体の利用調整（年2回）

キ 体育施設の整備充実、保守管理

- (ア) 運動公園及び市内体育施設の保守管理、清掃の徹底
- (イ) 体育施設管理員及び学校施設開放と連携のとれた保守管理の実施
- (ウ) 多目的芝生広場散水整備修繕工事
- (エ) 運動公園野球場内野整備修繕工事
- (オ) B&G海洋センター艇庫スロープ改修修繕工事
- (カ) 八坂山村広場ゲートボール場明り取り窓改修修繕工事
- (キ) 運動公園陸上競技場スタンド前補修工事

ク 各種スポーツ大会の後援及び支援協力

- (ア) 第11回信州大町大会（ミニテニス）
- (イ) 全国選抜少年サッカー大町大会
- (ウ) 北信越高等学校駅伝競走大会など

ケ 各種スポーツ指導者の育成

コ その他の施策

- (ア) 総合体育館の有効活用の推進
 - ① トレーニングルーム利用講習会の開催（毎月2回）
 - ② スポーツ情報コーナーの活用推進
 - ③ 大町市公共施設予約システムの導入、運用
- (イ) 北アルプス北部地区山岳遭難対策協会との連携
 - ① 遭難防止夏山常駐隊活動への協力
 - ② 人命救助用ヘリポートの管理（消防防災課や警察等関係機関との調整）

(3) 体育施設
(社会体育施設)

NO	名	称	位 置	開設年	面 積	利 用 競 技 種 目
1	西 公 園	運 動 場	大町市大町4687	S 42年	12,198.02㎡	野球(2面)・ソフトボール(2面)・ゲートボール(2面) スケートリンク(1面)・ナイター照明
2		体 育 館	〃	S 42年	966.24㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(3面)・空手道 バスケットボール(1面)・剣道
3		陸上競技場		S 53年	21,755㎡	フィールド内(ゲートボール16面)・サッカー(1面)
4		メインスタンド棟		S 52年	1,097㎡	収容メインスタンド1,400人、芝スタンド4,000人
		サッカー場			12,401㎡	更衣室(2)・倉庫(3)・役員室(1)・事務室(1)・医務室(1)・便所ほか (1面)
		メインスタンド棟		S 52年	739㎡	収容メインスタンド743人、芝スタンド2,000人
5	運動公園	総合体育館		S 63年	4,863.01㎡	大アリーナ(1,627㎡)、小アリーナ(558㎡)、ランニングコース(170m)、 バレーボール(4面)、バドミントン(13面)、バスケットボール(3面)、卓球(20台)、 体力測定室ほか
6		マレットゴルフ場		S 57年	36ホール	ギヤラリー(固定席544)・収容人数2,500人
7		こども広場		S 62年	900㎡	北コース 18ホール(パー72) 南コース 18ホール(パー72)
8		弓道場		S 62年	609.22㎡	遠的(1面)・近的(1面)
9		多目的広場		S 62年	255.57㎡	射場129.6㎡、的場44.82㎡、6人立、更衣室81.15㎡
10		庭球場		S 62年	10,005㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(2面分)
		クレー		S 56年	2,815.74㎡	クレー(4面)・ナイター照明
		全天候		S 58年	2,908.8㎡	全天候(4面)・ナイター照明
		野球場		S 61年	12,677.232㎡	野球場(1面)
11		メインスタンド棟		S 61年	704.09㎡	収容人数 スタンド562人、内野階段スタンド352人、内野芝生スタンド1,070人、 外野スタンド2,616人、更衣室(2)・事務室(1)・本部席(1)・放送室(1)・便所ほか
12		屋内運動場		H 6年	987.13㎡	運動場(925.44㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(1面)・ミニサッカー(1面)
13		多目的芝生広場		H 25年	2,700㎡	ゲートボール(2面)・グラウンドゴルフ(1面)
14	平 野	球 場	平9539-3	S 35年	10,550㎡	野球(1面)
15	平 運	動 場	〃 9370-1	S 52年	12,071㎡	ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(ソフトボール1面分)
16	平 ゲ	ー ト ボ	〃 9365-1	S 57年	1,550㎡	ゲートボール(2面)
17	B & G 海 洋	体 育 館	〃 10352-2	S 54年	1,627.8㎡	第1体育館(747.3㎡)・バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3 面)・テニス(1面)・卓球(4台)、第2体育館(524.7㎡)・柔道(50畳)・空手道・剣道
18	セ ン タ ー	艇 庫	〃 9707-2	S 54年	450㎡	カヌー(27)・OPヨット(14)・12ftヨット(2)・カッター(2)・ボードセール(9)ほか
19		多目的広場	社3945-3	S 57年	11,279㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
20	常 盤	運 動 場	常盤3516-38	S 42年	9,845.41㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
21	や しろ 公 園	運 動 広 場	社8200	H 8年	5,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
22	八 坂	運 動 場	八坂8408	S 50年	11,000㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・ナイター照明
23	八 坂	テ ニ ス コ ー ト	〃 8408	S 50年	1,636㎡	人工芝(2面)・ナイター照明
24	八 坂	ト レ ニ ン グ セ ン タ ー	〃 11642	S 58年	1,703㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(2面)・バドミントン(4面)・卓球室
25	八 坂	山 村 広 場	〃 14850-120	S 60年	6,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
26	八 坂	ゲ ー ト ボ ー ル 場	〃 14850-120	H 5年	1,467㎡	屋内ゲートボール(1面)
27	八 坂	マ レ ッ ト ゴ ル フ 場	〃 8411-2	H 5年	9,600㎡	18ホール
28	美 麻	運 動 場	美麻14239	S 48年	6,492㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・各種スポーツ
29	美 麻	丸 山 運 動 場	〃 13707	H 4年	28,873㎡	ネットなし：野球(2面)・ソフトボール(2面)・サッカー・ラグビー(1面)
30	美 麻	テ ニ ス コ ー ト	〃 14250-1	H 3年	5,857㎡	人工芝(6面)
31	大	塩	〃 3366	S 62年	1,171㎡	屋外(1面)
32	美 麻	ゲ ー ト	〃 8410	H 5年	1,411㎡	屋内(1面)
33	ボ ー ル 場	二 重	〃 9596-1	H 4年	1,478㎡	屋外(1面)
34	千	見	〃 28751-1	S 57年	2,531㎡	屋外(2面)・ナイター照明
35	美 麻	ト レ ニ ン グ セ ン タ ー	〃 11690-1	S 56年	650㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(1面)・バドミントン(3面)

(学校施設)

名	称	位 置	面 積	利 用 競 技 種 目
1	大 町 東 小 学 校	運 動 場	12,067㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)
2	大 町 西 小 学 校	体 育 館	1,002㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)・バドミントン(2面)
3	大 町 南 小 学 校	運 動 場	13,169㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
4	大 町 北 小 学 校	体 育 館	1,486㎡	バレーボール(2面)・剣道・空手道
5	大 町 南 小 学 校	運 動 場	16,275㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・テニス(1面)
6	大 町 北 小 学 校	体 育 館	1,247㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
7	大 町 北 小 学 校	運 動 場	10,215㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
8	八 坂 小 学 校	体 育 館	982㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)
9	八 坂 小 学 校	運 動 場	8,190㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
10	美 麻 小 中 学 校	体 育 館	1,027㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
11	第 一 中 学 校	運 動 場	12,878㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
12	仁 科 台 中 学 校	体 育 館	1,227㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
13	八 坂 中 学 校	運 動 場	12,455㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
14	八 坂 中 学 校	体 育 館	4,073㎡	バレーボール(4面)・バスケットボール(3面)・卓球(10台)
15	八 坂 中 学 校	運 動 場	14,198㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
16	八 坂 中 学 校	体 育 館	1,487㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)
17	八 坂 中 学 校	運 動 場	9,388㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
18	八 坂 中 学 校	体 育 館	1,198㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(4面)

※東小体育館では、バスケットボールとバレーボールは女子と中学生以下の男子に限り使用できる。

(4) 体育施設の利用状況

(人)

施設名	平成23年度	平成24年度	平成25年度
大アリーナ	30,636	28,998	34,531
小アリーナ	15,501	14,931	16,719
トレーニングルーム	2,615	2,793	2,926
陸上競技場	16,023	16,002	10,337
サッカー場	9,223	1,602	8,988
クレー庭球場	4,922	4,261	4,999
全天候庭球場	15,819	15,074	22,291
野球場	4,723	4,167	6,790
マレットゴルフ場	15,075	14,399	13,986
弓道場	1,771	1,948	2,895
多目的広場	14,785	14,715	13,658
屋内運動場	21,625	18,371	17,055
多目的芝生広場	—	—	360
会議室	1,285	865	1,079
B & G 第一体育室	10,121	11,507	5,051
B & G 第二体育室	3,948	4,155	518
B & G 多目的広場	3,940	3,968	1,909
社公園運動広場	6,495	6,387	7,025
西公園体育館	17,483	16,768	13,158
西公園運動場	9,442	10,500	7,794
平野球場	2,651	4,408	3,797
平運動場	11,892	10,310	7,307
常盤運動場	8,853	9,830	4,766
東小体育館	8,391	7,510	8,585
西小大アリーナ	14,249	13,590	15,430
西小小アリーナ	3,411	3,823	1,917
南小体育館	12,199	9,927	4,792
北小体育館	4,198	4,965	2,739
一中大アリーナ	9,434	9,351	9,326
一中小アリーナ	2,789	1,808	1,834
仁中体育館	8,287	7,650	7,904
仁中柔剣道室	1,541	860	669
東小グラウンド	1,102	1,415	921
西小グラウンド	294	944	566
南小グラウンド	1,140	1,310	580
北小グラウンド	2,611	8,015	4,615
一中グラウンド	80	60	0
仁中グラウンド	300	680	460
B & G 艇庫	1,063	1,542	95
八坂運動場	1,048	690	511
八坂テニスコート	10	0	52
八坂マレットゴルフ場	131	30	0
八坂トレーニングセンター	2,390	3,904	5,002
八坂山村広場	121	18	12
八坂ゲートボール場	1,902	1,849	1,290
八坂小学校グラウンド	470	500	337
八坂小学校体育館	502	890	543
八坂中学校グラウンド	0	318	12
八坂中学校体育館	0	420	0

(人)

施設名	平成23年度	平成24年度	平成25年度
美麻運動場	425	325	803
美麻丸山公園運動場	80	160	670
美麻テニスコート	1,753	1,685	1,745
美麻トレーニングセンター	1,894	1,622	2,308
大塩屋外ゲートボール場	210	360	540
二重屋外ゲートボール場	0	0	0
二重屋内ゲートボール場	240	320	1,259
千見屋外ゲートボール場	271	300	575
美麻小中学校校庭	1,156	678	460
美麻小中学校体育館	448	509	208
合計	312,968	303,987	284,699

(5) スポーツ大会等開催状況

(平成 25 年度)

スポーツ大会等名	実施日	実施場所・内容	参加者数
平成 25 年度 市民スポーツ祭 夏季大会 (体協共催)	6 月 30 日 7 月 7 日	開会式 運動公園陸上競技場 市内体育施設 16 か所	1,500 人
平成 25 年度 少年少女球技大会	8 月 4 日	開会式 運動公園総合体育館 野球 3 チーム 男子ソフトバレー 15 チーム 女子ソフトバレー 13 チーム	193 人
おおまびよんカップ 女子サッカー大会 ～福島県復興支援～	8 月 10 日 ～11 日	会場 運動公園サッカー場・ 陸上競技場・多目的広場 参加 12 チーム (福島県から 2 チーム招待) (主催 おおまびよんカップ女子 サッカー大会実行委員会)	240 人
第 63 回 大町市民登山	8 月 24 日 ～25 日	針ノ木岳～蓮華岳	14 人
第 12 回 大北スポーツ競技会	9 月 29 日	開会式 運動公園陸上競技場 市内体育施設 11 か所、10 競技	1,337 人
第 30 回大町 アルプスマラソン	10 月 20 日	開会式 運動公園陸上競技場 24 種目 (主催 アルプスマラソン実行委員会)	4,427 人
第 35 回 B & G 少年武道大会	10 月 13 日 11 月 2 日	会場 B & G 体育館ほか 柔道 26 人 剣道 24 人	50 人
平成 25 年度 市民スケート大会 (天候不良により中 止)	平成 26 年 1 月 26 日	会場 西公園スケート場 分館対抗によるスケート競技 (競技主管 大町市スケートクラブ)	48 人 (申し込み数)
平成 25 年度 市民スキー大会	平成 26 年 2 月 23 日	会場 爺ガ岳スキー場 分館対抗によるアルペン大回転競技 (競技主管 大町市スキークラブ)	133 人
第 2 回 ワンバウンドふらば ーるバレー大会	平成 26 年 3 月 16 日	会場 西公園体育館 参加 6 チーム (主管 大町市スポーツ推進委員会)	50 人

(6) スポーツ教室の開催状況

(平成 25 年度)

教室名	実施期間 (回数)	実施場所・内容	参加者数
健康づくり サークル	4月28日 ～3月9日 (全23回)	会場 運動公園、文化会館ほか 内容 ウォーキングほか 指導者 スポーツ推進委員	16人
ママさん フリータイム広場	6月14日 ～7月12日 (全5回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 キンボールほか 託児所による子ども預かり(28人) 指導者 スポーツ推進委員	30人
運動遊び教室A (年長児クラス) 午後3時20分～	5月27日 ～10月7日 (全15回)	会場 総合体育館、陸上競技場 内容 フロアリズム運動 指導者 スポーツ推進委員ほか	25人
運動遊び教室B (年長児クラス) 午後4時25分～	5月27日 ～10月7日 (全15回)	会場 総合体育館、陸上競技場 内容 フロアリズム運動 指導者 スポーツ推進委員ほか	38人
ピラティス 体験教室	9月27日 ～10月11日 (全3回)	会場 総合体育館小アリーナ 内容 ピラティス 指導者 松丸あかね	44人
親子ふれあい スポーツ教室	11月1日 ～12月20日 (全8回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 ニュースポーツほか 指導者 スポーツ推進委員	64人
小学生スキー教室	1月23日 2月1日 (全2回)	会場 爺ガ岳スキー場 内容 小学生対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員	59人
スキー・スノボ・ク ロスカントリー教 室 with ママさん フリータイム広場	1月27日 ～2月12日 (全3回)	会場 爺ガ岳スキー場 内容 母親対象スキー教室 託児所による子ども預かり(16人) 指導者 スポーツ推進委員	14人
ワンバウンドふら ばーるバレー教室	2月27日 ～3月13日 (全3回)	会場 西公園体育館 内容 ワンバウンドふらばーるバレー 指導者 スポーツ推進委員	26人
海洋性スポーツ 体験教室	6月4日～ 9月14日 (全26回)	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌーの基礎、体力づくり ロープワーク等	681人

2 勤労青少年ホーム

市内に居住もしくは勤務する、主として30歳以下の勤労青少年を対象にした福祉施設で、サークル等の余暇活動の場として利用を進め、勤労意欲の増進および利用者間の交流を図る。

(1) 施設

名 称	大町市勤労青少年ホーム
所 在 地	大町市常盤 5638-18
電 話	0261-22-7658
構 造	鉄筋コンクリート一部2階建 床面積 796.22㎡
各 室	第1講習室、第2講習室、第1集会室、第2集会室、音楽室、 図書室、料理実習室、娯楽談話室、相談室、軽運動室、 管理人室、事務室
開 設	昭和50年5月8日
開 館	開館時間 午前9時～午後9時 休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

(2) 平成25年度利用状況

施 設 名	利用者数(人)
1 階 会 議 室	949
第 1 ・ 2 集 会 室	1,250
第 1 講 習 室	2
第 2 講 習 室	0
図 書 室	10
音 楽 室	181
軽 運 動 室	1,681
ロ ビ ー	15
計	4,088

V 関係委員名簿



1 社会教育委員

(任期 平成28.3.31)

氏 名	所 属
山 下 邦 彦	学識経験者
一本木 佐知子	学識経験者
塩 原 雅 由	学校教育関係者 (市内校長会)
赤 羽 清 子	社会教育関係者 (大町市女性団体連絡協議会)
島 田 剛 志	社会教育関係者 (大町市体育協会)
久保田 良 夫	社会教育関係者 (大町市PTA連合会)
柳 澤 英 幸	家庭教育関係者 (大町市子ども会育成連絡協議会)
伊 藤 稔	学識経験者
遠 藤 博 仁	学識経験者
大日方 三 郎	公募委員

2 大町公民館運営審議会委員

(任期 平成27.3.31)

選出区分等	氏 名	所 属
学 校 教 育 関 係 者	梅 牧 力	大町西小学校長
社 会 教 育 関 係 者	江 端 富 男	大町市芸術文化協会
〃	北 澤 米 子	大町市女性団体連絡協議会
家庭教育の向上に資する活動を行うもの	堀 田 博 文	大町市老人クラブ連合会
〃	西 澤 智	大町地区公民館分館長会
〃	伊 藤 達 哉	大町地区子ども会育成協議会
学 識 経 験 者	松 坂 満	大町公民館利用者
〃	遠 藤 敦 子	大町公民館利用者
公 募 市 民	柳 澤 英 幸	
〃	仙 波 美代子	

3 平公民館運営審議会委員

(任期 平成27. 3. 31)

選出区分等	氏 名	所 属
学 校 長	徳 原 嗣 久	大町北小学校長
社会教育関係者	海 川 明 文	平地区子ども会育成協議会代表
〃	宮 田 節史郎	平地区連合自治会代表
〃	長 嶋 勇 次	食育インストラクター
家庭教育関係者	橋 本 とく子	大町北小学校PTA代表
学 識 経 験 者	石 原 明	J A大北平支所長
公 募	宮 永 玉 子	

4 常盤公民館運営審議会委員

(任期 平成27. 3. 31)

選出区分等	氏 名	所 属
学校教育関係者	手 塚 善 雄	大町南小学校長
社会教育関係者	勝 野 善 文	常盤公民館分館長会長
〃	中 山 功	常盤地区社会福祉協議会会長
〃	清 水 眞 弥	常盤地区子ども会育成協議会会長
学 識 経 験 者	中 島 節 子	常盤公民館利用者
〃	武 田 真由巳	常盤公民館利用者
公 募 委 員	勝 野 久 美	公募委員

5 社公民館運営審議会委員

(任期 平成27. 3. 31)

選出区分等	氏 名	所 属
学校教育関係者	鈴 木 桂 子	大町東小学校長
社会教育関係者	原 忠 廣	社地区民生児童委員協議会会長
〃	降 幡 今朝俱	社地区分館長会会長
〃	佐 藤 武 夫	社地区社会福祉協議会会長
学 識 経 験 者	中 條 敦 史	J A大北社支所次長
公 募 委 員	一 志 裕	公募委員
家庭教育関係者	清 水 みゆき	公民館利用者代表

6 美麻公民館運営審議会委員

(任期 平成27.3.31)

選出区分等	氏名	所属
学 校 長	塩 原 雅 由	美麻小中学校校長
関 係 団 体	川 上 和 英	J A大北美麻支所長
〃	中 島 満	元美麻公民館分館元役員
〃	小 林 浩 典	元美麻公民館分館元役員
学 識 経 験 者	合 津 康 子	女性代表
〃	伊 藤 稔	社会教育委員
公 募 委 員	酒 井 孝 芳	

7 八坂公民館運営審議会委員

(任期 平成27.3.31)

選出区分等	氏名	所属
学 校 長	伊 藤 浩 光	八坂小学校長
〃	小 口 伸	八坂中学校長
関 係 団 体	中 村 和 正	八坂小学校PTA
〃	久保田 良 夫	八坂中学校PTA
〃	吉 澤 かおり	育てる会指導員
学 識 経 験 者	降 旗 剛	八坂地域づくり協議会
公 募 委 員	大 厩 正 一	

8 図書館協議会委員

(任期 平成27.3.31)

選出区分等	氏名	所属
学 校 代 表	手 塚 善 雄	大町南小学校長
〃	長 澤 由 枝	大町南小学校
一 般 公 募	荒 山 里 利	一般公募
学 識 経 験 者	服 部 雅 江	大町市家庭児童相談員
〃	竹 内 千代子	大町市主任児童委員
社会教育関係者	松 坂 恵 子	読書ボランティア関係
〃	中 村 祐 子	読書ボランティア関係

9 山岳博物館協議会委員

(任期 平成27. 3. 31)

選出区分等	氏名	所属
学校関係者および	矢口 修	大町市立仁科台中学校
社会教育関係者	宮澤 洋介	大町山岳博物館友の会
〃	松原 繁 (平成26. 3. 31まで)	大町山の会
〃	岡田 啓興 (平成26. 4. 1から)	
〃	横川 仁	大町山岳会
〃	鈴木 啓助	信州大学山岳科学総合研究所
家庭教育関係者	今滝 一登美	大町市女性団体連絡協議会
〃	山内 香代子	山の子村
学識経験者	佐藤 悟	ぐるったネットワーク
〃	宮崎 亮 (平成26. 7. 16まで)	大町市観光協会
〃	藤沢 秀	旅行作家

10 文化会館運営委員会委員

(任期 平成27. 3. 31)

選出区分等	氏名	所属
有識者・専門家	小林 美恵	大町市少年少女合唱団指導者
市民の文化団体	青木 健二	大町流鏝馬太鼓保存会 副演奏委員長
からの選出	仁科 宰知代	八坂芸術文化連絡協会副会長
文化・教育・福祉 商工・観光の各団 体より推薦	江端 富男	大町市芸術文化協会会長
	小口 伸	大町市校長会長
	奥村 剛	大町市社会福祉協議会会長
	伊藤 松子	大町商工会議所女性会理事
公募市民	川上 袈裟賜	大町市観光協会理事
	金原 民江	
	伊藤 敏子	

11 女性未来館ピュア運営委員会委員

(任期 平成26. 7. 31)

氏名	選出区分等
山崎 孝子	サークル代表
清水 美和子	大町青色申告会女性部長
久保井 トモ子	利用者の会会長
小林 正二	利用者の会副会長
中村 貴代子	利用者の会副会長
六川 直利	長野県中信労政事務所長

1 2 文化財保護審議会委員

(任期 平成27. 2. 24)

役職名	氏 名	選 出 区 分 等
会 長	荒 井 和比古	仁科路研究会会長
副 会 長	倉 科 和 夫	元市立大町山岳博物館長
委 員	桐 原 健	松本市文化財保護審議会委員
〃	小 坂 共 栄	山岳博物館専門員・理学博士
〃	後 藤 芳 孝	松本城管理事務所研究専門員
〃	福 澤 昭 司	日本民俗学会会員
〃	佐 藤 利 幸	信州大学理学部教授

1 3 青少年問題協議会委員

(任期 平成28. 5. 31)

役職名	氏 名	選 出 区 分 等
会 長	牛 越 徹	大町市長
副 会 長	荒 井 今 朝 一	大町市教育長
委 員	松 島 吉 子	大町市議会議員
〃	神 社 正 幸	大町市議会議員
〃	水 井 武 文	大町警察署 生活安全課長
〃	竹 内 善 彦	北安曇地方事務所 地域政策課長
〃	手 塚 善 雄	市内小学校長会代表 (南小学校長)
〃	三 ツ 井 仁	市内中学校長会代表 (第一中学校長)
〃	麻 田 康 彦	市内高等学校長代表 (大町北高等学校長)
〃	松 澤 秀 美	大町市連合自治会代表
〃	栗 林 純 一	大町市PTA連合会代表 (仁科台中学校PTA会長)
〃	北 澤 愛 子	大町市女性団体連絡協議会長
〃	奥 村 剛	大町市社会福祉協議会長
〃	北 原 和 好	大町市民生児童委員協議会長
〃	清 水 憲一郎	大町少年警察ボランティア協会代表
〃	中 島 登美雄	大町市子ども会育成連絡協議会長
〃	北 村 喜 男	大町市青少年補導委員協議会長
〃	宮 本 桂 子	保護司会代表

14 就学相談委員会委員

(任期 平成27.3.31)

役職名	氏名	選出区分等
委員長	梅 牧 力	大町市立大町西小学校校長
副委員長	太 谷 優 子	大町市民生児童委員協議会 主任児童委員
委員	南 勇 樹	市立大町総合病院 診療部長兼小児科部長
〃	佐 藤 日 和	大町市民生部市民課 主任保健師
〃	下 村 真紀子	大北圏域障害者総合支援センター 臨床発達心理士
〃	西 沢 弥恵子	りんどう幼稚園長
〃	中 島 恵理子	大町市立かえで保育園長
〃	新 井 志津代	大町市福祉事務所 保健師
〃	服 部 雅 江	大町市福祉事務所 家庭相談員
〃	日 下 佳 與	大町市立大町東小学校教諭
〃	西 澤 良 恵	大町市立大町西小学校教諭
〃	米 窪 由 紀	大町市立大町西小学校教諭
〃	竹 内 奈緒子	大町市立大町南小学校教諭
〃	柏 原 さとみ	大町市立大町南小学校教諭
〃	山 岡 勝 則	大町市立大町北小学校教諭
〃	渡 邊 いずみ	大町市立大町北小学校教諭
〃	西 山 行 信	大町市立八坂小学校教諭
〃	西 澤 さつき	大町市立美麻小中学校教諭
〃	普 明 秀 幸	大町市立第一中学校教諭
〃	栗 林 章 善	大町市立仁科台中学校教諭
〃	常 盤 貞 夫	長野県安曇養護学校教諭

15 スポーツ推進審議会委員

(任期 平成27.3.31)

氏名	選出区分等
北 村 喜 男	元(財)長野県バレーボール協会 副会長
石 原 学	大町市体育協会 会長
中 島 登美雄	大町市体育協会 理事長
平 林 操	大町市体育協会加盟団体 (ゲートボール協会)
一 岡 玲 子	大町市体育協会加盟団体 (バレーボール協会)
矢 口 修	市内校長会 (仁科台中学校)
菅 沢 豊	スポーツ推進委員 会長
荒 井 一 久	スポーツ少年団 本部長
吉 田 勝 光	学識経験者
甘 利 道 子	公募

16 スポーツ推進委員

(任期 平成27. 3. 31)

氏 名	選 出 区 分 等
川 上 和 英	常盤地区 (バレーボール)
降 旗 克 己	常盤地区 (バドミントン)
藤 卷 雅 幸	常盤地区 (バレーボール)
鮎 貝 悟	社地区 (野球)
西 澤 英 吉	平地区 (スキー)
西 澤 久 佳	平地区 (スキー)
菅 沢 豊	常盤地区 (陸上・野球)
西 沢 奈美子	大町地区 (バドミントン)
田 中 良 都	社地区 (ソフトボール)
永 田 亜佳理	平地区 (海洋・スキー)
切久保 富 美	美麻地区 (スキー)
北 澤 久 男	八坂地区 (スポーツ愛好者)
江 津 貞 夫	美麻地区 (スポーツ愛好者)
川 原 幸 子	常盤地区 (サッカー)
太 田 陽 子	大町地区 (インストラクター)
太 田 恵	常盤地区 (ソフトボール)
藤 堂 剛	平地区 (スキー)
仁 科 香 苗	大町地区 (陸上)
笠 間 裕 子	社地区 (ソフトボール)

17 大町市解放子ども会運営委員会委員構成（休会）

選 出 区 分 等
子ども会員在籍校校長
" 教頭
" 人権教育担当教員
" P T A会長
市内小中学校校長代表
部落解放同盟長野県連合会大町市協議会長
" 書記長
" 保護者代表
大町市教育委員会 教育長
" 教育次長
" 生涯学習課長
" 人権教育担当係長
" 社会教育指導員

18 同和教育集会所運営委員

（任期 平成28.3.31）

区 分	所 属	氏 名
関係地区自治会	下 一 自 治 会 長	丸 山 隆 士
推 進 の 会	会 代 表	小 林 仁
	会 女 性 部 代 表	小 林 いそ江
識 見 を 有 す る 者	南 小 学 校 校 長	手 塚 善 雄
	南 小 P T A 会 長	平 出 一 男
	常 盤 公 民 館 館 長	菅 沢 一 彦

19 人権教育推進協議会

(任期 平成27.3.31)

役職名	氏名	選出区分等
会長	鎌倉久	大町市連合自治会（社地区連合自治会）
副会長	小林仁	部落解放同盟長野県連合会大町市協議会
〃	富田和子	大町市民生児童委員協議会
幹事	宇田房子	大町市人権擁護委員連絡会
〃	鷺澤徳司	大町地区老人クラブ連合会
委員	横澤大行	大町地区連合自治会
〃	西澤久雄	平地区連合自治会
〃	勝野善文	常盤地区連合自治会
〃	降籬剛	八坂地区連合自治会
〃	高橋正勝	美麻地区連合自治会
〃	奥村剛	大町市社会福祉協議会
〃	廣瀬誠	大町市民生児童委員協議会
〃	太田淳子	大町市女性団体連絡協議会
〃	興国和美	大町市女性団体連絡協議会
〃	佐藤弘文	平地区老人クラブ連合会
〃	佐々木敬次	常盤地区老人クラブ連合会
〃	遠藤徹雄	社地区老人クラブ連合会
〃	勝野一由	八坂地区老人クラブ連合会
〃	大厩眞一	美麻地区老人クラブ連合会
〃	高橋真由美	大町公民館
〃	郷津任史	平公民館
〃	菅沢一彦	常盤公民館
〃	百瀬泰慶	社公民館
〃	北澤徳重	八坂公民館
〃	北沢孝一	美麻公民館
幹事	澤口千央美	教育委員会生涯学習課
〃	北澤佳伸	生涯学習課人権教育担当
〃	中山晴隆	生涯学習課社会教育指導員

20 学校人権教育研究会委員

(任期 平成27.3.31)

役職名	氏 名	選 出 区 分 等
委員長	伊 藤 浩 光	八坂小学校校長
委員	高 橋 沙矢香	大町東小学校教諭
〃	小 川 瑠 夏	大町西小学校教諭
〃	臼 井 久美子	大町南小学校教諭
〃	三 澤 聖 子	大町北小学校教諭
〃	小 林 達 月	八坂小学校教諭
〃	梨子田 稔 子	美麻小中学校教諭
〃	吉 沢 俊 一	第一中学校教諭
〃	吉 澤 正	仁科台中学校教諭
〃	松 山 美 佳	八坂中学校教諭
〃	川 上 淨 明	大町北高等学校教諭
〃	大 西 浩	大町高等学校教諭
〃	梶 川 康 子	こまくさ幼稚園園長
〃	若 林 きみ子	たけのこ保育園園長

2 1 企業人権教育推進協議会役員

(任期 平成27. 3. 31)

役職名	氏 名	選 出 区 分 等
会 長	相 模 一 男	(株) 相模組
副 会 長	山 本 政 昭	富士電機パワーセミコンダクタ (株) 大町工場
〃	持 田 陽 一	(株) 関電アメニックスくろよん観光事業部
理 事	石 原 幹 司	昭和電工株式会社大町事業所
〃	間 瀬 敏 彦	(株) 八十二銀行大町支店
〃	青 山 彰 吾	関西電力 (株) 黒四管理事務所
〃	相 模 一 男	(株) 相模組
〃	青 島 貴 哉	(株) グランビスタ ホテル&リゾート 黒部観光ホテル
〃	山 本 政 昭	富士電機パワーセミコンダクタ (株) 大町工場
〃	持 田 陽 一	(株) 関電アメニックスくろよん観光事業部
〃	武 田 充 生	巴産業 (株)
〃	山 田 高 司	大北農業協同組合
〃	吉 澤 邦 彦	中部電力 (株) 安曇野営業所大町サービスステーション
〃	岡 田 和 明	東京電力 (株) 高瀬川総合制御所
〃	鷺 澤 恒 夫	大町商工会議所
〃	澤 口 千央美	大町市教育委員会生涯学習課
幹 事	勝 野 達 人	(株) 長野銀行 大町支店
〃	轟 哲 好	郵便局 (株) 大町郵便局
事 務 局	北 澤 佳 伸	教育委員会生涯学習課人権教育担当
〃	中 山 晴 隆	教育委員会生涯学習課社会教育指導員

22 生涯学習のまちづくり推進本部委員会役員

(任期 平成27. 3. 31)

氏 名	選 出 区 分 等
眞 嶋 強 志	市議会議員
竹 内 彰	連合自治会
西 澤 智	大町地区公民館分館長会
田 中 五 郎	平地区公民館分館長会
清 水 章	常盤地区公民館分館長会
降 幡 今朝俱	社地区公民館分館長会
松 井 一 美	八坂地区公民館分館長会
北 村 敬 一	美麻地区公民館分館長会
布 施 知 子	教育委員
倉 科 和 夫	社会教育委員
塩 原 雅 由	市内校長会
大日方 三 郎	芸術文化協会
鳥 屋 秀 幸	体育協会
竹 迫 亮 平	P T A連絡協議会
海 川 明 文	子ども会育成連絡協議会
続 麻 純 生	青年会議所
清 水 章	男女共同参画審議会
北 澤 愛 子	女性団体連絡協議会
降 籬 令	老人クラブ連合会
奥 村 剛	社会福祉協議会
花 澤 雅 樹	大北農業協同組合
今 溝 三千子	商工会議所
宮 崎 亮	観光協会
勝 野 稔	総務部長
鳥 屋 寿 和	民生部長兼福祉事務所長
降 籬 孝	産業観光部長
西 澤 義 文	建設水道部長
宮 脇 哲 子	議会事務局長
西 澤 正 敏	総合病院事務長
宮 坂 佳 宏	北ア広域連合所長
橋 井 弘 治	教育次長

23 美術振興専門委員会委員

(任期 平成28.3.31)

役職等	氏名	選出区分等
委員長	丸山隆士	写真
副委員長	奥原美智子	絵画
委員	荒井泰三	絵画
〃	高橋正雄	木彫
〃	渡邊充子	染色・刺繍
〃	小田時男	工芸家具
〃	松本武子	創作人形
〃	杉原信幸	インスタレーション

24 八坂・美麻山村留学推進協議会役員

(任期 平成27.3.31)

役職名	氏名	機関・団体名	選出区分等
会長	諏訪義十	受入農家	八坂代表
副会長	酒井孝芳	受入農家	美麻代表
委員	竹本明信	行政	八坂支所長
〃	細井忠	行政	美麻支所長
〃	松島吉子	議会	八坂地区議会議員
〃	和田俊彦	議会	美麻地区議会議員
〃	荒井今朝一	教育委員会	教育長
〃	勝野太彦	教育委員会	学校教育課長
〃	澤口千央美	教育委員会	生涯学習課長
〃	南澤靖	民生児童委員会	八坂地区会長
〃	飯沢要	民生児童委員会	美麻地区会長
〃	北澤徳重	公民館	八坂公民館長
〃	北沢孝一	公民館	美麻公民館長
〃	吉田千秋	小学校	八坂小学校長
〃	塩原雅由	小中学校	美麻小中学校長
〃	小口伸	中学校	八坂中学校長
〃	北澤尚泰	小学校PTA	八坂小会長
〃	小林敏文	小中学校PTA	美麻小中会長
〃	鬼窪重幸	中学校PTA	八坂中会長
〃	青木厚志	育てる会	事務局長
〃	野高健司	育てる会	指導員
顧問	藤井一男		教育委員長
〃	青木孝安		育てる会理事長
幹事	北澤徳重		八坂教育担当
〃	中村和正		〃
〃	北沢孝一		美麻教育担当
〃	小林茂敏		〃

平成26年度 教 育 要 覧

平成27年3月発行

発 行 大町市教育委員会

TEL 0261-22-0420

FAX 0261-23-7001
